

**令和 6 年度一般廃棄物処理実態等調査
資料編（アンケート調査結果）**

**令和 7 年 3 月
仙台市**

目次

第1章 市政モニター調査(資源物とごみに関するアンケート)	1
1. 実施概要	1
1.1 調査の概要	1
1.2 回収率	2
2. 調査結果	3
2.1 回答者の属性	3
2.2 資源物とごみの排出状況	4
2.3 仙台市のごみ収集ルールに関する意見	18
2.4 ごみ・資源物収集に関する意見(自由回答)	28
第2章 市民アンケート	39
1. 実施概要	39
1.1 調査の概要	39
1.2 回答率	39
2. 調査結果	40
2.1 回答者の属性	40
2.2 ごみと資源物の出し方などについて	45
2.3 ごみの減量・3R・循環経済の取り組み等について	70
2.4 食品ロス・生ごみについて	77
2.5 プラスチックについて	89
2.6 紙類について	93
2.7 衣類・布類について	102
2.8 更なるごみ減量・3Rの推進について	105
2.9 自由回答	116
3. 【参考】調査票と結果概要	120
第3章 事業者アンケート	141
1. 実施概要	141
1.1 調査の概要	141
1.2 回答率	141
2. 調査結果	142
2.1 回答排出業者の属性	142
2.2 ごみの排出について(産業廃棄物を除く)	145
2.3 ごみの減量・リサイクルの取り組み等について	162

2.4 食品廃棄物・食品ロスについて	184
2.5 プラスチックについて	193
2.6 紙類について	194
2.7 布類・衣類について	206
2.8 循環経済の実現に向けた取り組みについて	207
2.9 自由回答	210
3. 【参考】調査票と結果概要	212

第1章 市政モニター調査（資源物とごみに関するアンケート）

1. 実施概要

1.1 調査の概要

市政モニター制度は、仙台市の市政に関するアンケートを実施し、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する制度である。

市政モニターは、公務員や公職に就いている者を除く仙台市内に居住する満18歳以上の者が公募による応募者の中から選ばれ委嘱を受けており、令和6年度は399名が登録されている。本調査では、同制度を活用し、資源物とごみ排出の状況について調査を行った。

（1）調査の目的

仙台市では、一般廃棄物処理に係る基本的な方向性を定める「仙台市一般廃棄物処理基本計画」を令和3年3月に策定した。本調査では、同計画の策定から5年を経過した時点で行われる中間見直しに向けた情報の収集を目的とし、ごみの排出状況、ごみの減量・リサイクル・現状での課題及び市民の意向等を把握するため実施した。

（2）調査項目

「家庭ごみの排出状況」、「食品ロスの排出状況」、「プラスチック資源の排出・分別状況」、「店頭回収の利用状況」、「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類の排出頻度」、「小型充電式電池（リチウムイオン電池等）の排出方法」、「紙類の排出状況」、「せん定枝のリサイクル事業の認知度・利用意向」、「布類の排出方法」、「仙台市のごみ収集ルールに関する意見」などについて調査を行った。

（3）調査対象地区及び調査期間

調査対象地区は仙台市内各区とし、令和6年9月26日（木）～10月11日（金）を調査期間とした。

（4）集計結果の留意事項

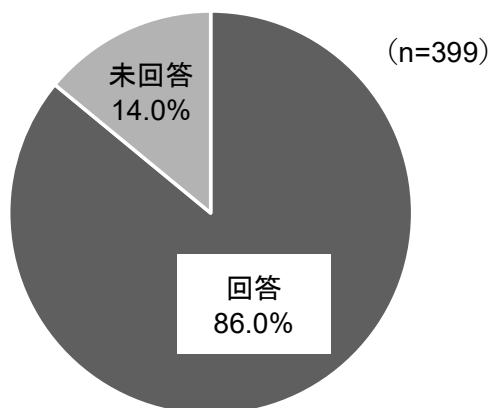
調査結果の留意点は以下の通り。

- ・端数処理の関係から、割合の合計が100%とならないことがある。
- ・複数の選択肢を選択する問の割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者で除したものとなっている。
- ・自由回答については、主なものを掲載している。原則、回答通りに記載しているが、誤字・脱字等に関して、原文の表現を一部加工している。

1.2 回収率

399 人の市政モニターに対して調査票を送付、回答数は 343 件、回収率は 86.0%であった（343 件のうち、インターネットでの回答が 226 件、郵送形式での回答が 117 件であった）。

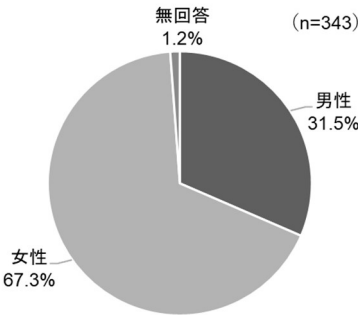
図表 1 市政モニターアンケート 回収率



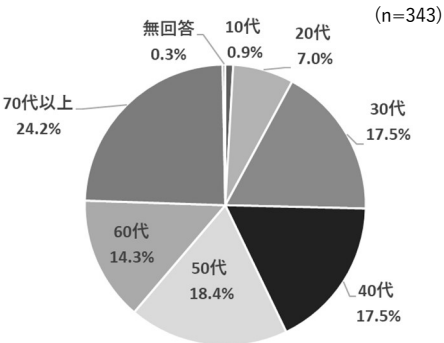
2. 調査結果

2.1 回答者の属性

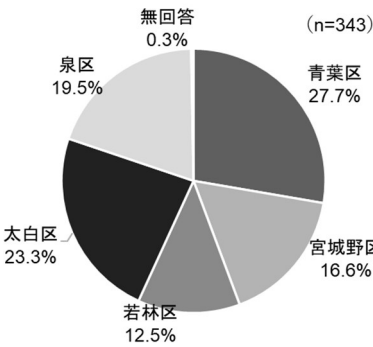
図表 2 性別



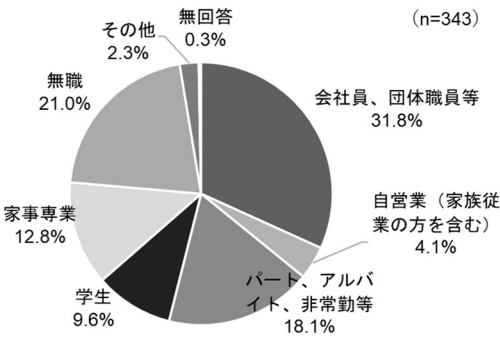
図表 3 年齢



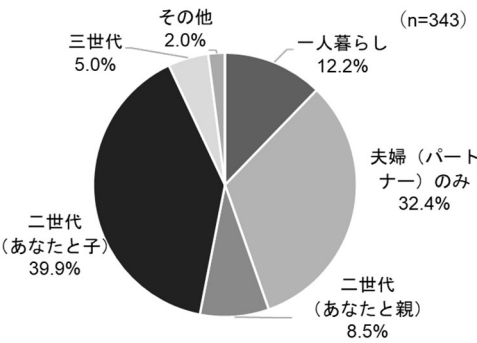
図表 4 居住区



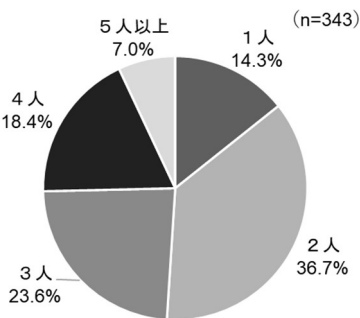
図表 5 職業



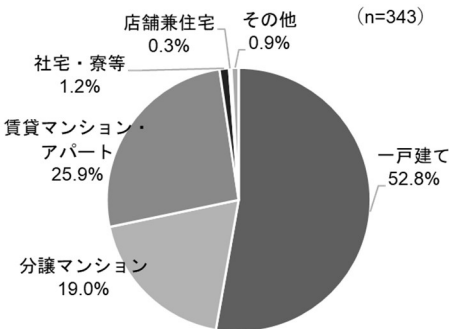
図表 6 世帯構成



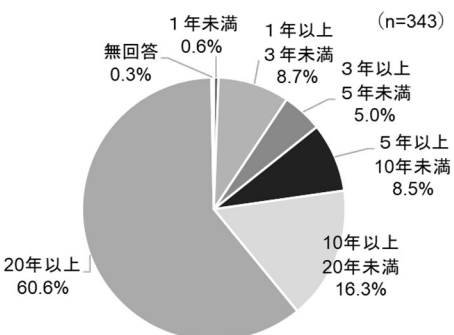
図表 7 同居人数(回答者含む)



図表 8 居住形態



図表 9 居住期間



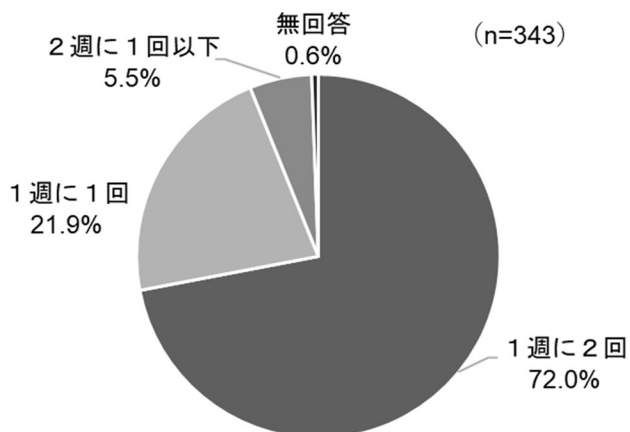
2.2 資源物とごみの排出状況

2.2.1 家庭ごみの排出状況

(1) 家庭ごみの排出頻度

家庭ごみの排出頻度について、「1週に2回」との回答が最も多く72.0%（247件）、次いで「1週に1回」が21.9%（75件）、「2週に1回以下」が5.5%（19件）であった。

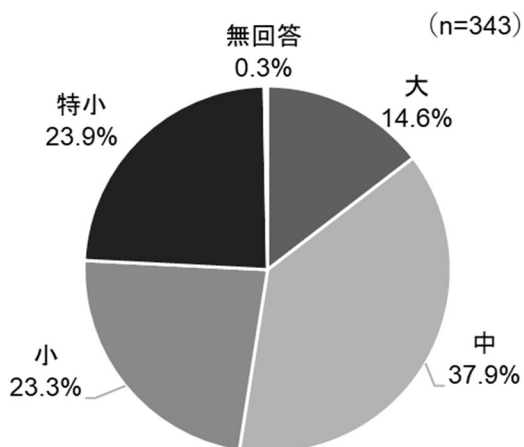
図表 10 家庭ごみの排出頻度



(2) 家庭ごみの指定袋の大きさ（最も使用するもの）

大・中・小・特小の種類に分かれている家庭ごみ指定袋のうち、最も使用する指定袋の大きさについて、「中」との回答が最も多く37.9%（130件）、次いで「特小」が23.9%（82件）、「小」が23.3%（80件）、「大」が14.6%（50件）であった。

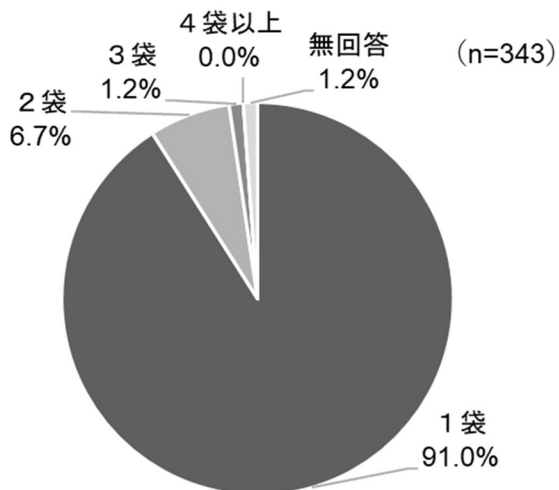
図表 11 家庭ごみ排出時に使用する指定袋の大きさ(最も使用するもの)



(3) 家庭ごみの指定袋の数量（1回あたり）

家庭ごみの排出1回あたりの指定袋の数量について、「1袋」との回答が最も多く91.0%（312件）、次いで「2袋」が6.7%（23件）、「3袋」が1.2%（4件）であった。「4袋以上」との回答はなかった。

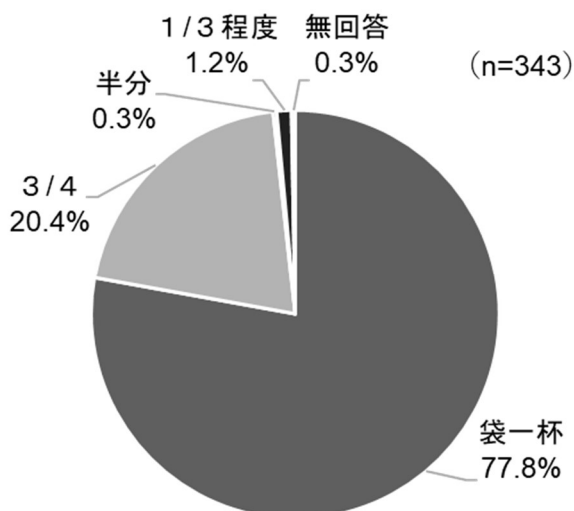
図表 12 家庭ごみ排出時に使用する指定袋の数量(1回あたり)



(4) 家庭ごみの量の目安

家庭ごみの排出時に指定袋に入れる量の目安について、「袋一杯」との回答が最も多く77.8%（267件）、次いで「3/4」が20.4%（70件）、「1/3程度」が1.2%（4件）、「半分」が0.3%（1件）であった。

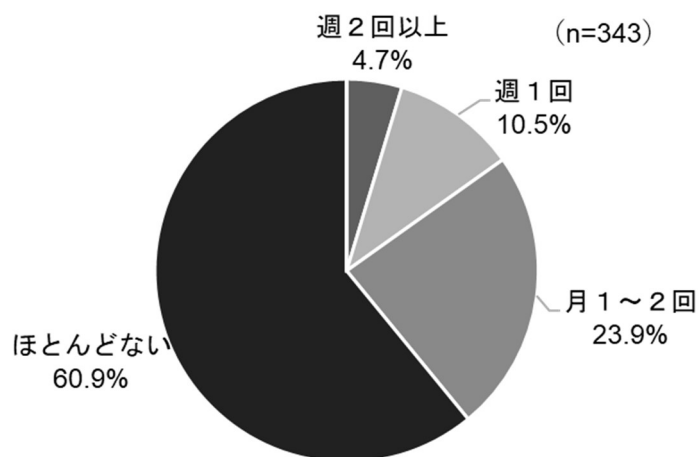
図表 13 家庭ごみ排出時に指定袋に入れる量の目安



2.2.2 食品ロスの排出状況

食品ロスを排出する頻度について、「ほとんどない」との回答が最も多く 60.9% (209 件)、次いで「月 1～2 回」が 23.9% (82 件)、「週 1 回」が 10.5% (36 件)、「週 2 回以上」が 4.7% (16 件)であった。

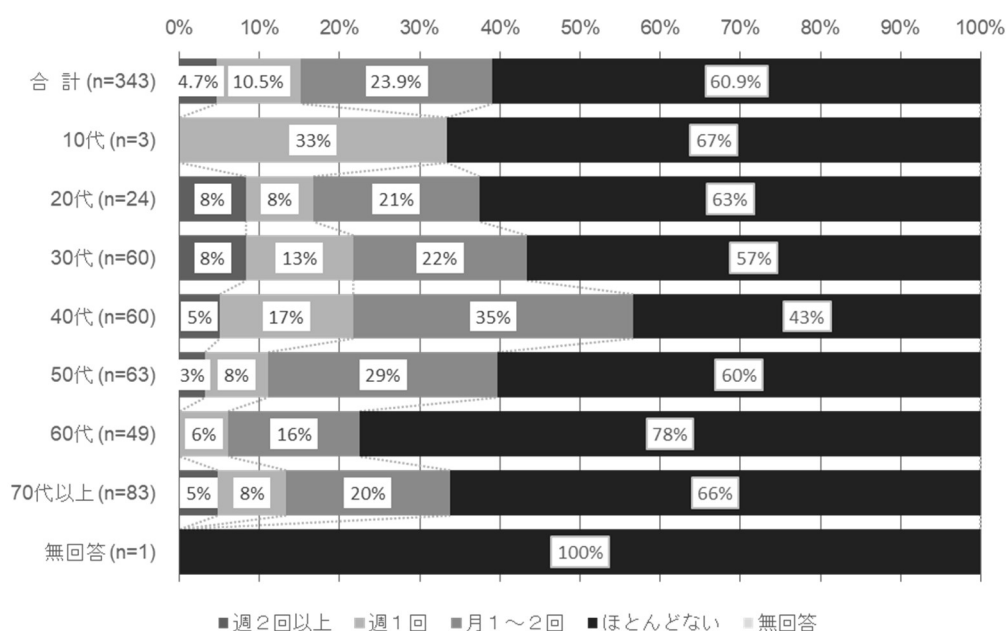
図表 14 食品ロスの排出状況



年齢層別に食品ロスの排出頻度をみると、「週 2 回以上」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「20 代」と「30 代」であり、いずれも 8%となった。

また、頻度に関わらず食品ロスの排出があると回答した人（「週 2 回以上」、「週 1 回」、「月 1～2 回」の合計）の占める割合が大きいのは、「40 代」で 57%（それぞれ 5%、17%、35%）、続いて「30 代」で 43%（それぞれ 8%、13%、22%）となった。

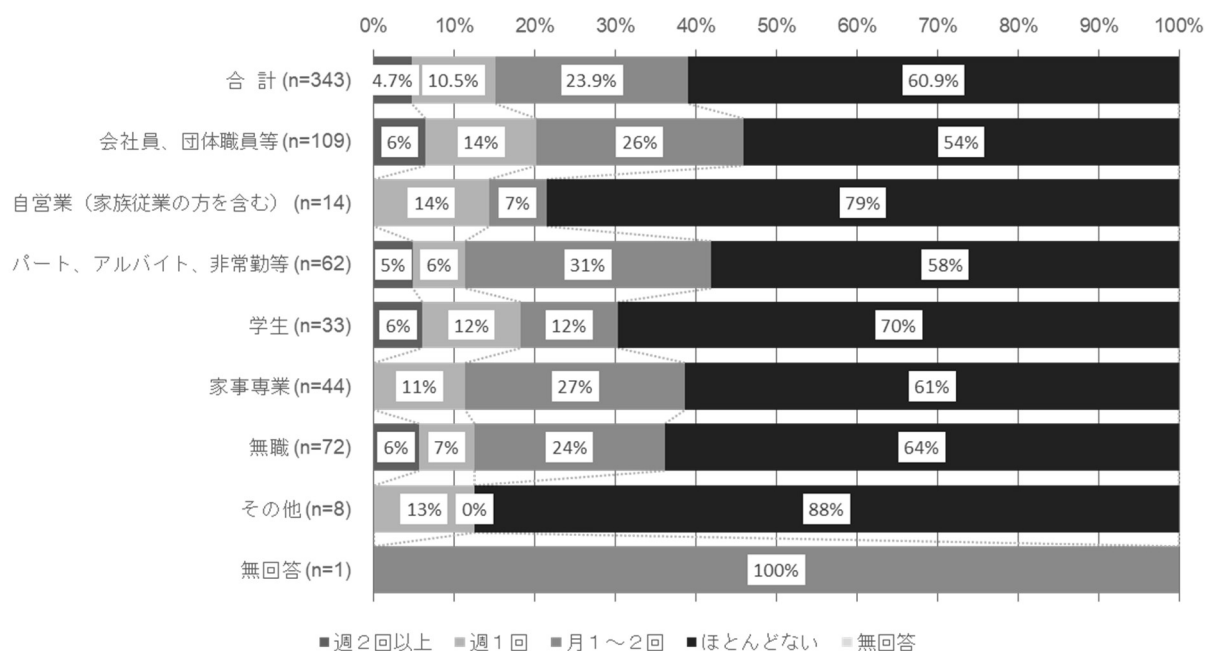
図表 15 食品ロスの発生頻度(年齢別)



職業別に食品ロスの排出頻度をみると、「週2回以上」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「会社員、団体職員等」、「学生」、「無職」であり、いずれも6%であった。

また、頻度に関わらず食品ロスの排出があると回答した人（「週2回以上」、「週1回」、「月1～2回」の合計）占める割合が大きいのは、「会社員、団体職員等」で46%（それぞれ6%、14%、26%）、続いて「パート・アルバイト・非常勤」で42%（それぞれ5%、6%、31%）となった。

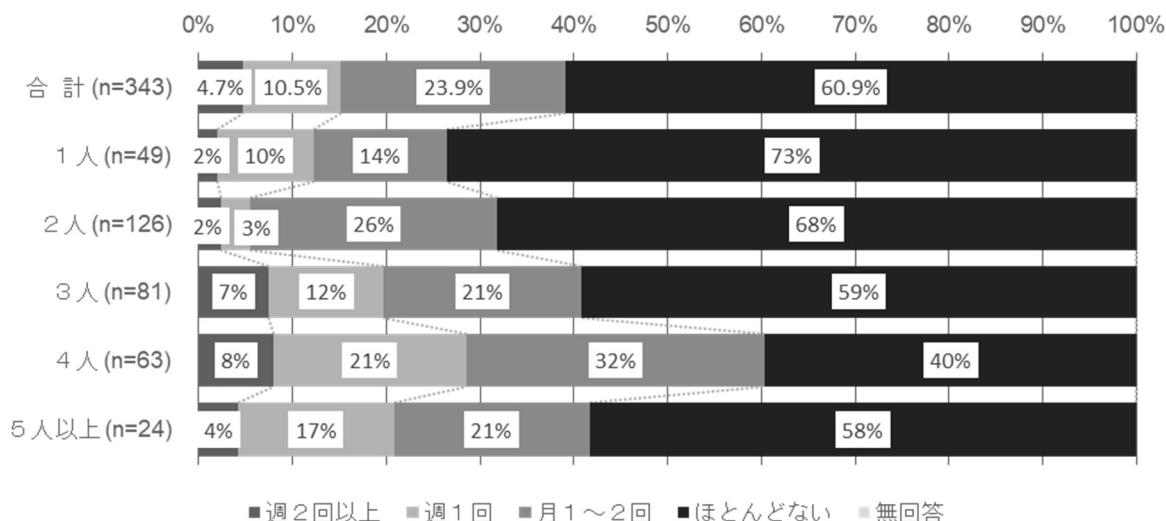
図表 16 食品ロスの発生頻度(職業別)



同居人数別に食品ロスの排出頻度をみると、「週2回以上」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「4人」で8%、続いて「3人」で7%だった。

また、頻度に関わらず食品ロスの排出があると回答した人（「週2回以上」、「週1回」、「月1～2回」の合計）の占める割合が大きいのは、「4人」で61%（それぞれ8%、21%、32%）、続いて「5人以上」で42%（それぞれ4%、17%、21%）となった。

図表 17 食品ロスの発生頻度(同居人数別)

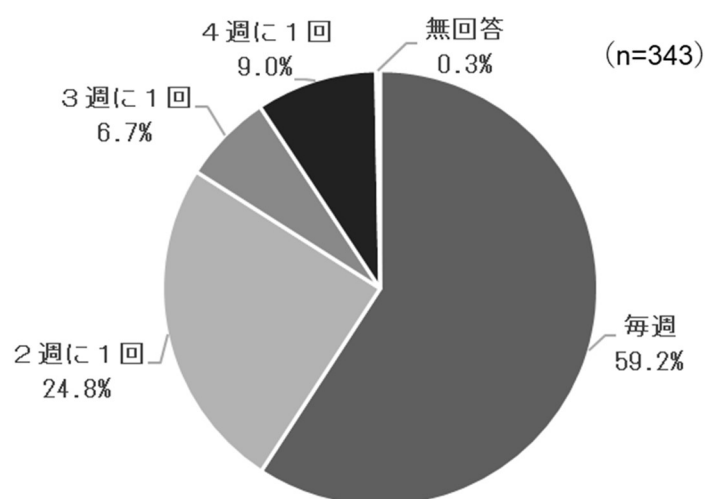


2.2.3 プラスチック資源の排出状況

(1) プラスチック資源の排出頻度

プラスチック資源の排出頻度について、「毎週」との回答が最も多く 59.2% (203 件)、次いで「2週に1回」が 24.8% (85 件)、「4週に1回」が 9.0% (31 件)、「3週に1回」が 6.7% (23 件) であった。

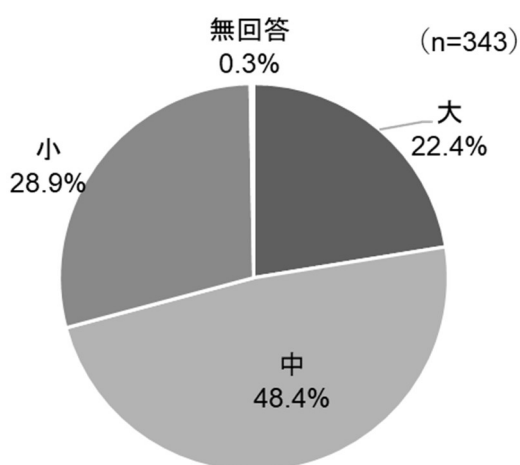
図表 18 プラスチック資源の排出頻度



(2) プラスチック資源の指定袋の大きさ（最も使用するもの）

大・中・小の種類に分かれているプラスチック資源指定袋のうち、最も使用する指定袋の大きさについて、「中」との回答が最も多く 48.4% (166 件)、次いで「小」が 28.9% (99 件)、「大」が 22.4% (77 件) であった。

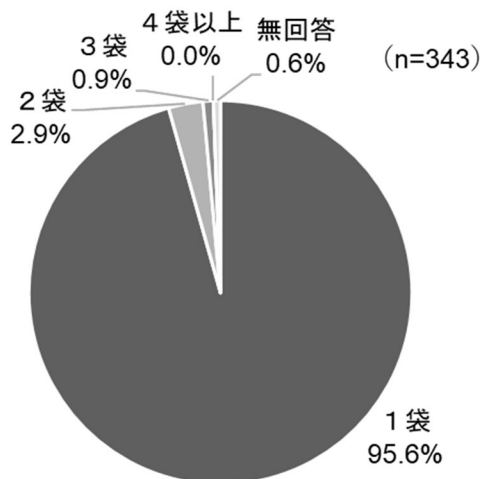
図表 19 プラスチック資源排出時に使用する指定袋の大きさ(最も使用するもの)



(3) プラスチック資源の指定袋の数量（1回あたり）

プラスチック資源の排出1回あたりの指定袋の数量について、「1袋」との回答が最も多く95.6%（328件）、次いで「2袋」が2.9%（10件）、「3袋」が0.9%（3件）であった。「4袋以上」との回答はなかった。

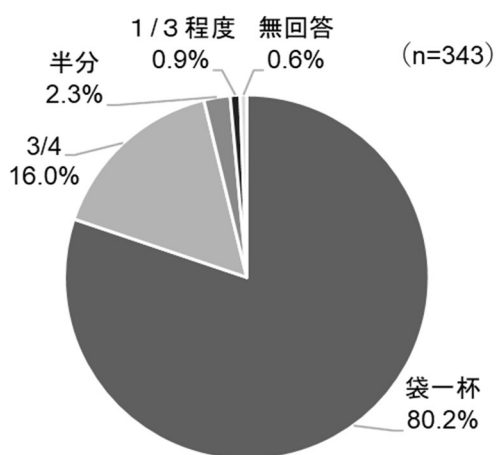
図表 20 プラスチック資源排出時に使用する指定袋の数量(1回あたり)



(4) プラスチック資源の量の目安

プラスチック資源の排出時に指定袋に入れる量の目安について、「袋一杯」との回答が最も多く80.2%（275件）、次いで「3/4」が16.0%（55件）、「半分」が2.3%（8件）、「1/3程度」が0.9%（3件）であった。

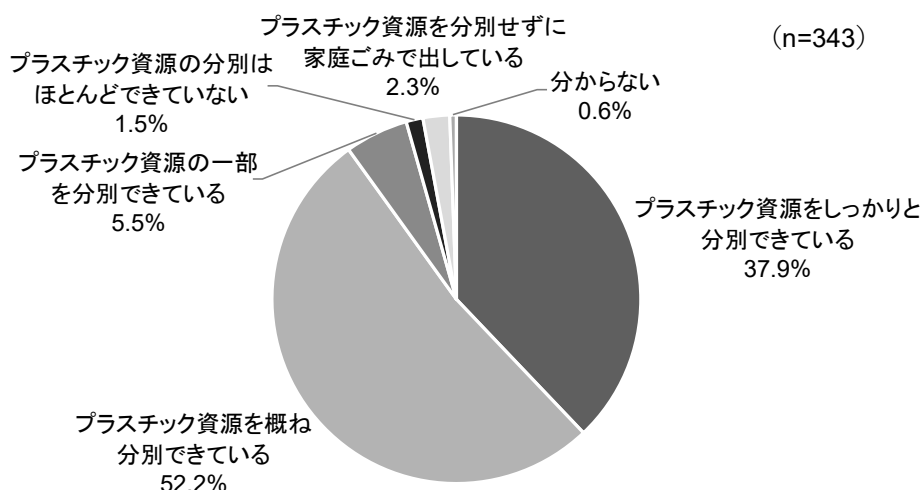
図表 21 プラスチック資源排出時に指定袋に入れる量の目安



2.2.4 プラスチック資源の分別状況

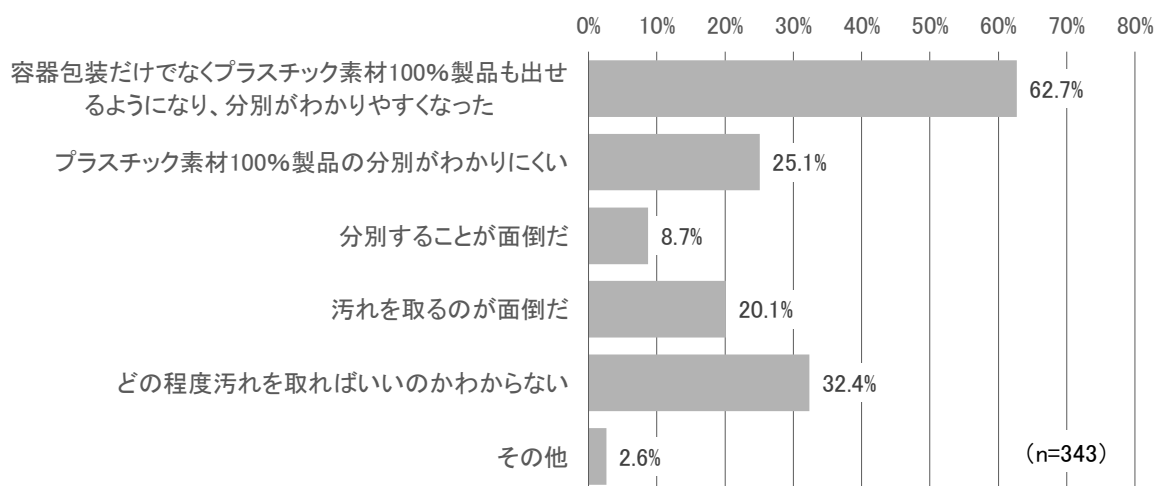
プラスチック資源の対象となる「プラスチック製容器包装」と「プラスチック素材 100%製品」の分別状況について、「プラスチック資源を概ね分別できている」との回答が最も多く 52.2% (179 件)、次いで「プラスチック資源をしっかりと分別できている」が 37.9% (130 件)、「プラスチック資源の一部を分別できている」が 5.5% (19 件)、「プラスチック資源を分別せずに家庭ごみで出している」が 2.3% (8 件)、「プラスチック資源を分別はほとんどできていない」が 1.5% (5 件)、「プラスチック資源の分別はほとんどできていない」が 1.5% (5 件)、「分からない」が 0.6% (2 件)、「分からない」が 0.6% (2 件) であった。

図表 22 プラスチック資源の分別状況



また、分別する上で感じていることについて、「容器包装だけでなくプラスチック素材 100%製品も出せるようになり、分別がわかりやすくなった」との回答が最も多く 62.7% (215 件)、次いで「どの程度汚れを取ればいいのかわからない」が 32.4% (111 件)、「プラスチック素材 100%製品の分別がわかりにくい」が 25.1% (86 件)、「汚れを取るのが面倒だ」が 20.1% (69 件)、「分別することが面倒だ」が 8.7% (30 件) であった。【複数回答可】

図表 23 プラスチック資源を分別する上で感じていること



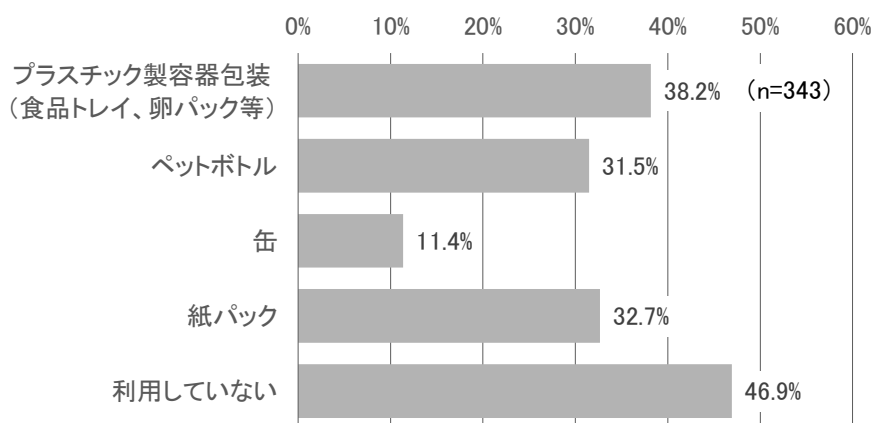
○「その他」の内容

- ごみ袋代が嵩むので家庭ごみと一緒に出している。(青葉区 30 代女性)
- 地方自治体ではなく、国全体で統一しなければ良くならない問題。転勤や異動などで別の自治体に行った場合ルールが異なり、それがもとで国民全員の意識も嫌だな、面倒だな、わかりにくいな、となってしまう。(青葉区 50 代女性)
- 汚れは軽くすすぐだけと載っていますが、実際に分別後に汚れているものは再利用に回さず捨てているとも聞きました。なのでひどく汚れている油の容器などは、捨てた方が実は作業する人が助かるのかなと捨てることもあります。分別はしっかりやっていきたいタイプなので子どもに伝える面からも本当のところを知りたいです。(青葉区 50 代女性)
- リサイクルは良いことというイメージがありますが、分別してもしなくても、自然への負荷は変わらないという意見もありますので、程々で十分だと思います。(太白区 40 代男性)
- プラスチック素材 100%製品を入れていいのを知らなかった。(太白区 50 代女性)
- プラスチック 100%素材は、大人は分かっているけど子どもには難しい場面がある。分別に関する教育が行き届かない時もあり、家庭ごみとして出してしまうこともある。(泉区 30 代女性)
- 実は汚れのひどいのは家庭ごみで出している。プラは可能な限り洗ってきれいにして出しています。月に一度も出さないため残渣がくさると嫌なので。(泉区 60 代女性)

2.2.5 店頭回収の利用状況

日常的にスーパー等の店頭回収を利用して出している品目について、「利用していない」との回答が最も多く 46.9% (161 件) であり、「プラスチック製容器包装 (食品トレイ、卵パック等)」が 38.2% (131 件)、「紙パック」が 32.7% (112 件)、「ペットボトル」が 31.5% (108 件)、「缶」が 11.4% (39 件) であった。【複数回答可】

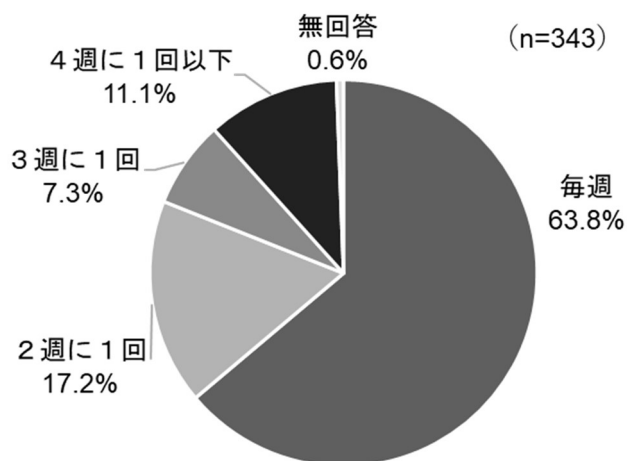
図表 24 店頭回収の利用状況



2.2.6 缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類の排出頻度

缶・びん・ペットボトル、廃乾電池の排出頻度について、「毎週」との回答が最も多く 63.8% (219 件)、次いで「2週に1回」が 17.2% (59 件)、「4週に1回以下」が 11.1% (38 件)、「3週に1回」が 7.3% (25 件) が 7.3% (25 件) であった。

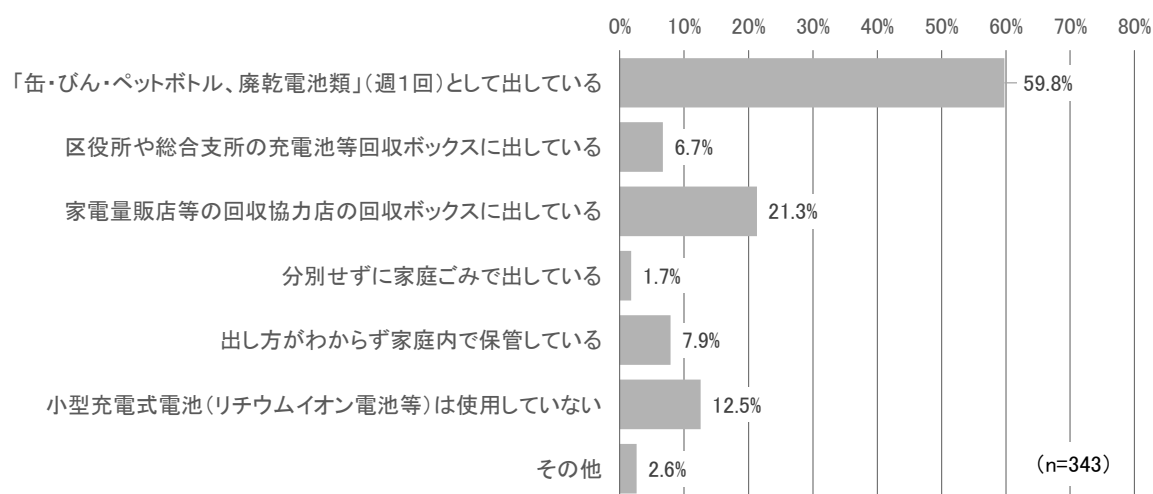
図表 25 缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類の排出頻度



2.2.7 小型充電式電池（リチウムイオン電池等）の排出方法

小型充電式電池（リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、ニカド電池）や、電池が本体から容易に取り外せないもの（スマートフォン、モバイルバッテリー、加熱式たばこ、電動歯ブラシ等）の排出方法について、「「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」（週1回）として出している」との回答が最も多く 59.8%（205 件）、次いで「家電量販店等の回収協力店の回収ボックスに出している」が 21.3%（73 件）、「小型充電式電池（リチウムイオン電池等）は使用していない」が 12.5%（43 件）、「出し方がわからず家庭内で保管している」が 7.9%（27 件）、「区役所や総合支所の充電電池等回収ボックスに出している」が 6.7%（23 件）、「分別せずに家庭ごみで出している」が 1.7%（6 件）であった。【複数回答可】

図表 26 小型充電式電池(リチウムイオン電池等)の排出方法



○「その他」の内容

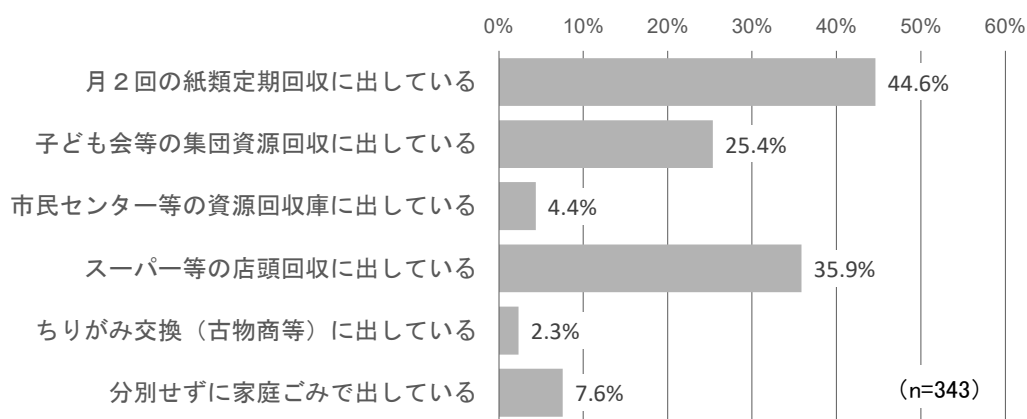
- 缶びんの日に出せると知りませんでした。これから出したいと思います。(青葉区 50 代女性)
- 使用はしているが、まだ出した事がない。(宮城野区 40 代男性)
- わからない人が多いので電池は「一斉出せない」にしてしまった方が良いんじゃないか...と思うことも。私もわからないので専門店に持っていきます。(泉区 60 代女性)

2.2.8 紙類の排出状況

(1) 紙類の排出方法

紙類の排出方法について、「月2回の紙類定期回収に出している」との回答が最も多く 44.6% (153 件)、次いで「スーパー等の店頭回収に出している」が 35.9% (123 件)、「子ども会等の集団資源回収に出している」が 25.4% (87 件)、「分別せずに家庭ごみで出している」が 7.6% (26 件)、「市民センター等の資源回収庫に出している」が 4.4% (15 件)、「ちりがみ交換（古物商等）に出している」が 2.3% (8 件) であった。【複数回答可】

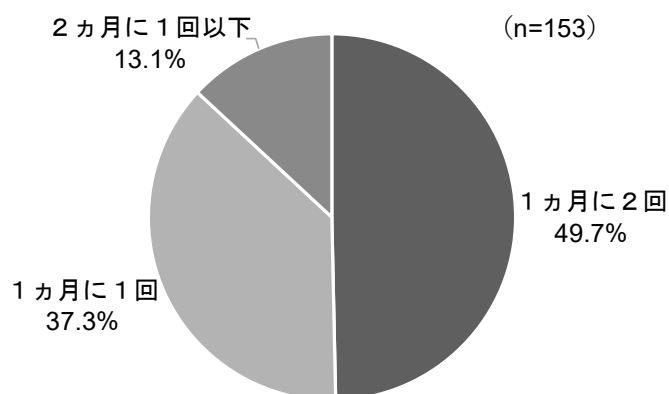
図表 27 紙類の排出方法



(2) 紙類定期回収への排出頻度

紙類の排出方法において「月2回の紙類定期回収に出している」との回答者（153 件）における排出頻度について、「1ヵ月に2回」との回答が最も多く 49.7% (76 件)、次いで「1ヵ月に1回」が 37.3% (57 件)、「2ヵ月に1回以下」が 13.1% (20 件) であった。

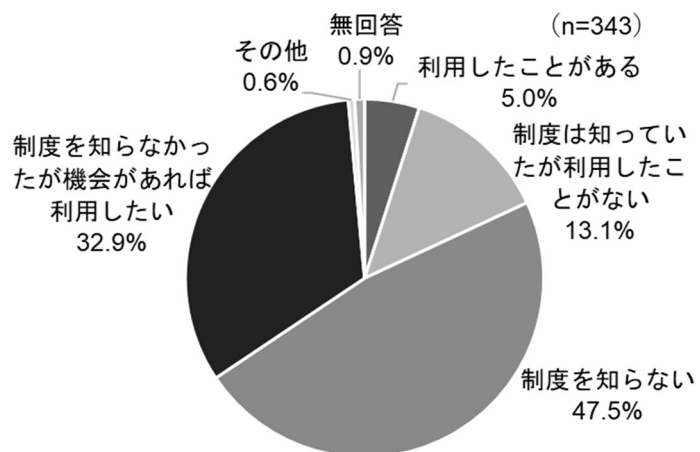
図表 28 紙類定期回収への排出頻度



(3) 紙容器拠点回収の認知度・利用意向

ヨーグルト容器などのコーティング加工（防水加工等）された紙容器を区役所や市民センターの資源回収庫で拠点回収し、リサイクルする取り組みについての認知度・利用意向について、「制度を知らない」との回答が最も多く 47.5%（163 件）、次いで「制度を知らなかったが機会があれば利用したい」が 32.9%（113 件）、「制度は知っていたが利用したことがない」が 13.1%（45 件）、「利用したことがある」が 5.0%（17 件）であった。

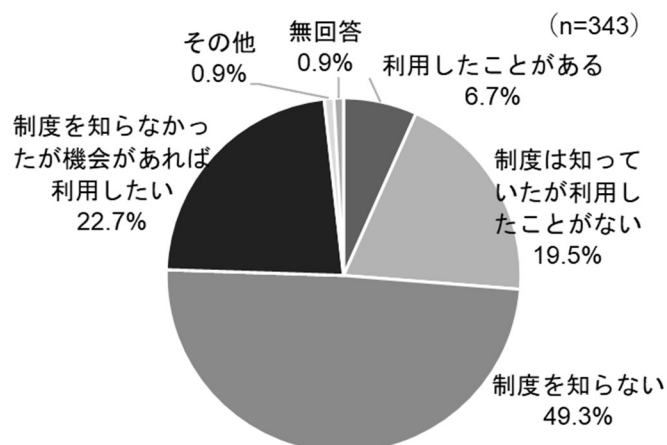
図表 29 紙容器拠点回収の認知度・利用意向



2.2.9 せん定枝のリサイクル事業の認知度・利用意向

家庭から出たせん定枝を無料で戸別収集または自己搬入により、たい肥の原料や原料チップ等へリサイクルする事業（要申し込み）の認知度・利用意向について、「制度を知らない」との回答が最も多く 49.3%（169 件）、次いで「制度を知らなかったが機会があれば利用したい」が 22.7%（78 件）、「制度は知っていたが利用したことがない」が 19.5%（67 件）、「利用したことがある」が 6.7%（23 件）であった。

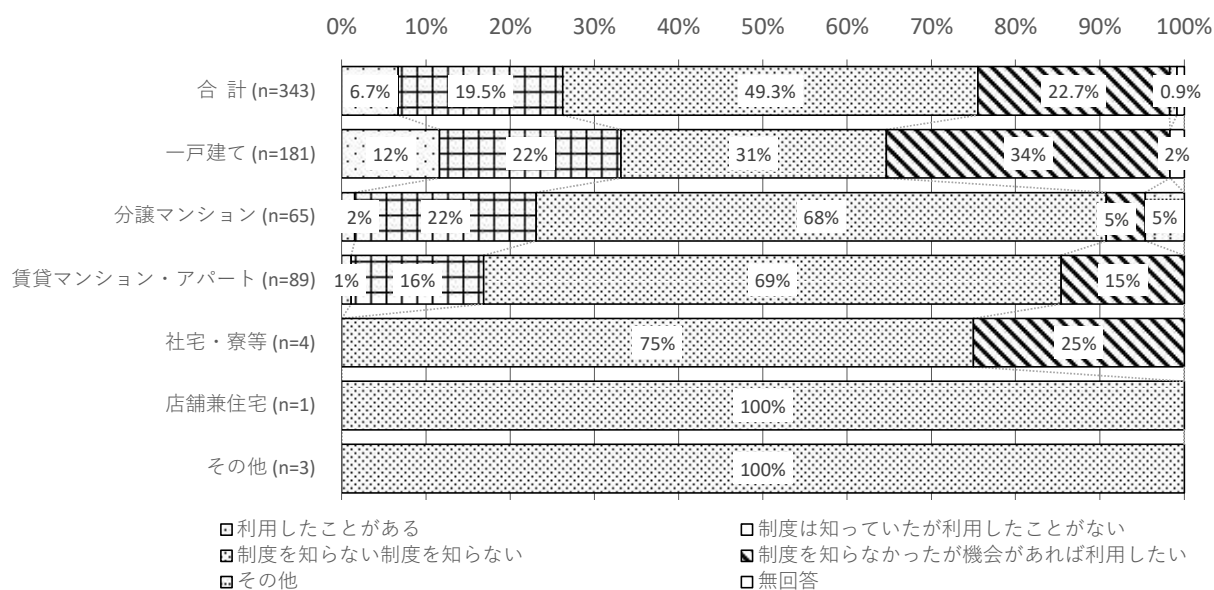
図表 30 せん定枝のリサイクル事業の認知度・利用意向



居住形態別にせん定枝リサイクル事業の認知度をみると、利用が確認された割合が最も大きくなるのが、「一戸建て」で 12%であった。「分譲マンション」で 2%、「賃貸マンション・アパート」で 1%だった。

また、「制度を知らなかったが機会があれば利用したい」と回答した人の占める割合が大きいのは、「一戸建て」で 34%であった。

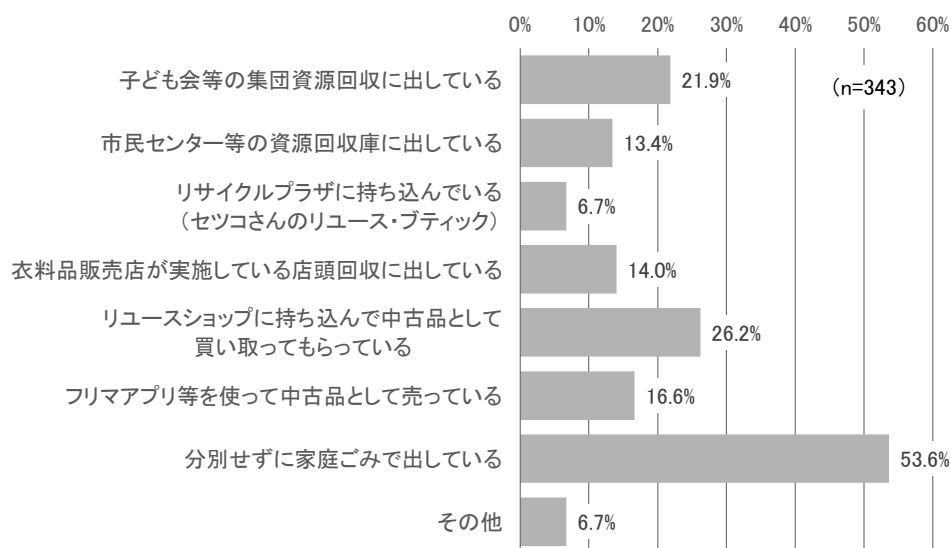
図表 31 せん定枝リサイクル事業の認知度、利用意向（居住形態別）



2.2.10 布類の排出方法

布類の排出方法について、「分別せずに家庭ごみで出している」との回答が最も多く 53.6% (184 件)、次いで「リユースショップに持ち込んで中古品として買い取ってもらっている」が 26.2% (90 件)、「子ども会等の集団資源回収に出している」が 21.9% (75 件)、「フリマアプリ等を使って中古品として売っている」が 16.6% (57 件)、「衣料品販売店が実施している店頭回収に出している」が 14.0% (48 件)、「市民センター等の資源回収庫に出している」が 13.4% (46 件)、「リサイクルプラザに持ち込んでいる (セツコさんのリユース・ブティック)」が 6.7% (23 件) であった。【複数回答可】

図表 32 布類の排出方法



○「その他」の内容

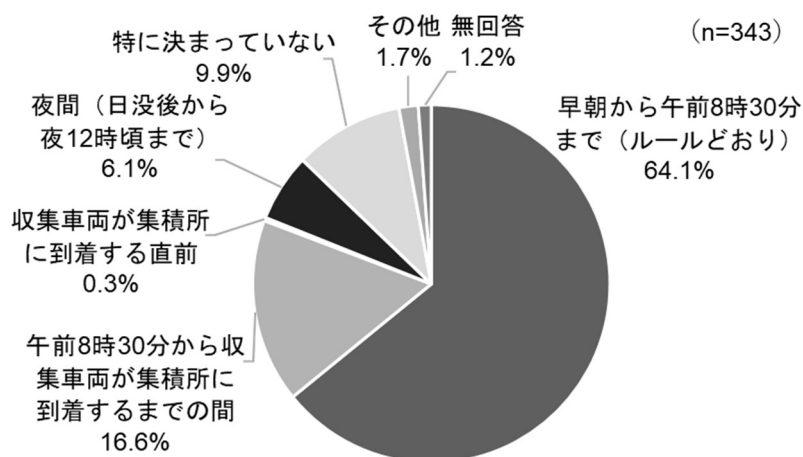
- 国際支援を行う NPO 法人に送料負担で寄付している。(青葉区 50 代男性)
- 最終的には家庭ごみに出すが、家の中でウエスとして使うなど、十分に使い倒してから捨てています。(若林区 50 代女性)

2.3 仙台市のごみ収集ルールに関する意見

2.3.1 集積所にごみを出す時間帯

家庭ごみ等を集積所に出している時間帯について、「早朝から午前 8 時 30 分まで（ルールどおり）」との回答が最も多く 64.1%（220 件）、次いで「午前 8 時 30 分から収集車両が集積所に到着するまでの間」が 16.6%（57 件）、「特に決まっていない」が 9.9%（34 件）、「夜間（日没後から夜 12 時頃まで）」が 6.1%（21 件）、「収集車両が集積所に到着する直前」が 0.3%（1 件）であった。

図表 33 集積所にごみを出す時間帯



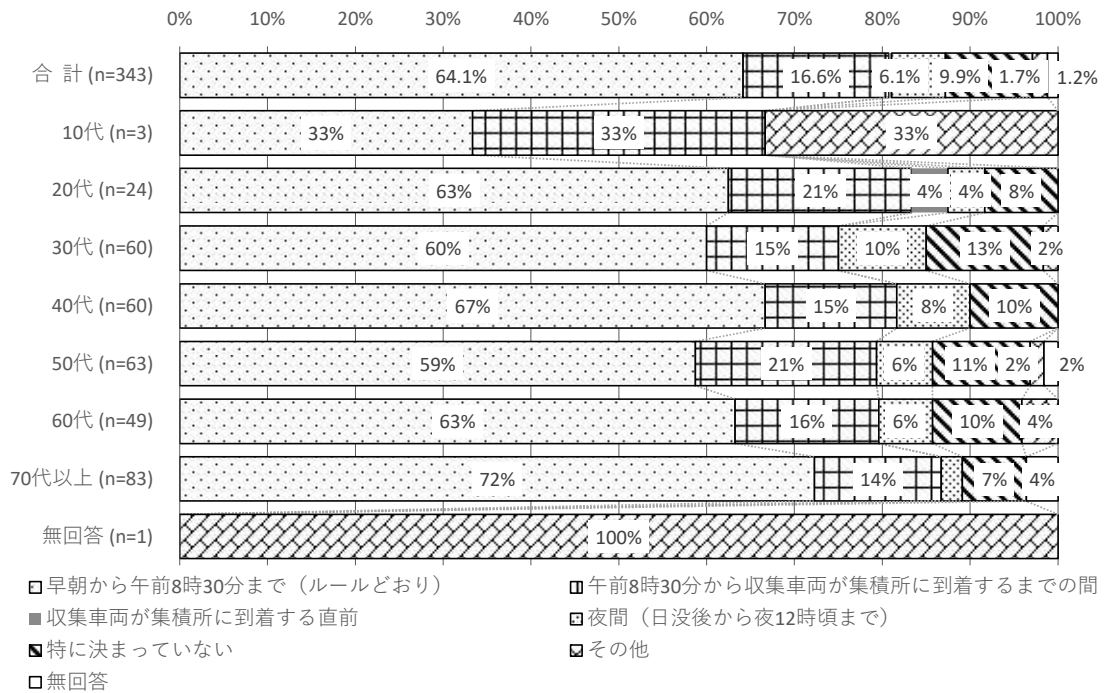
○「その他」の内容

- 自分が出していないのでわからない。（青葉区 10 代女性）
- 前日（青葉区 30 代男性）
- 仕事で朝が早い時は前日の夜間に、時間にゆとりがある時は朝 8:30 までに、マンションの集積所に出す。（太白区 60 代女性）

年齢別に集積所にごみを出す時間帯をみると、「早朝から午前 8 時 30 分まで（ルールどおり）」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「70 代以上」で 72%、続いて「40 代以上」で 67%となった。

また、「夜間（日没後から夜 12 時頃まで）」、「特に決まっていない」のいずれかに回答した人の占める割合が大きいのは、「30 代」で 23%（それぞれ 10%、13%）、続いて「50 代」で 17%（それぞれ 6%、11%）となった。

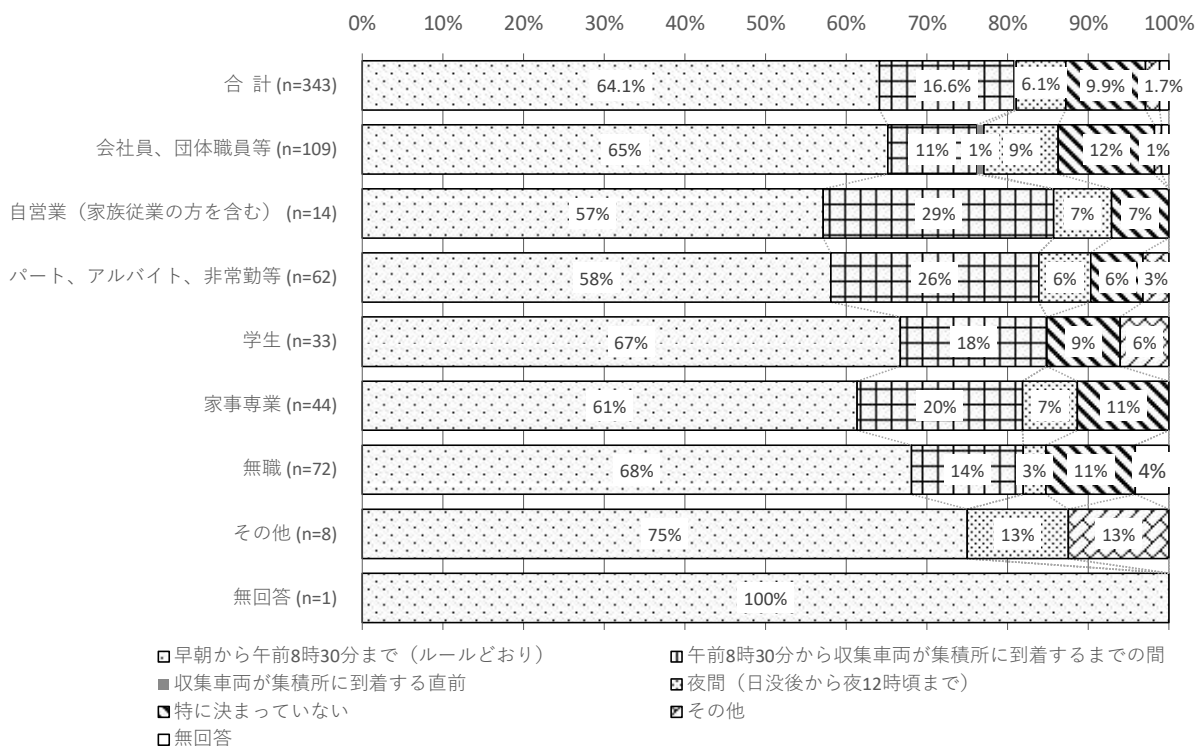
図表 34 集積所にごみを出す時間帯(年齢別)



職業別に集積所にごみを出す時間帯をみると、回答数の少ない「その他」、「無回答」の属性を除くと、「早朝から午前8時30分まで (ルールどおり)」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「無職」で68%となり、続いて「学生」で67%となった。

また、「夜間 (日没後から夜12時頃まで)」、「特に決まっていない」のいずれかに回答した人の占める割合が大きいのは、「会社員、団体職員等」で21% (それぞれ9%、12%)、続いて「家事専業」で18% (それぞれ7%、11%) であった。

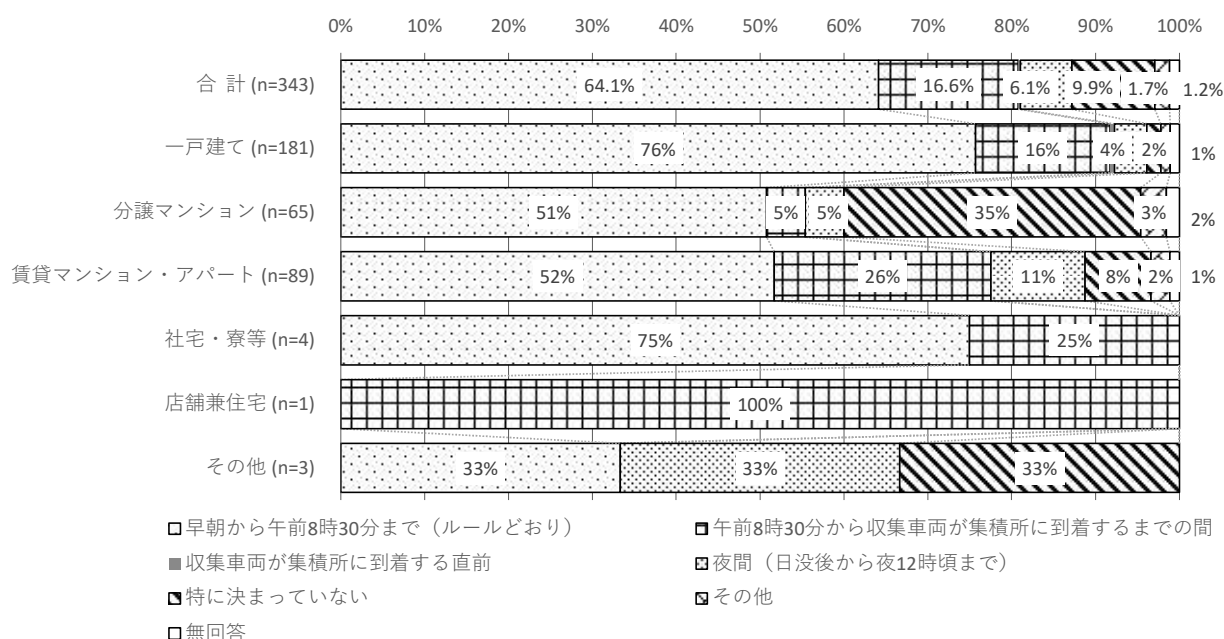
図表 35 集積所にごみを出す時間帯(職業別)



居住形態別に集積所にごみを出す時間帯をみると、回答数の少ない「社宅・寮等」、「店舗兼住宅」、「その他」の属性を除くと、「早朝から午前8時30分まで（ルールどおり）」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「一戸建て」で76%となった。

また、「夜間（日没後から夜12時頃まで）」、「特に決まっていない」のいずれかに回答した人の占める割合が大きいのは、「分譲マンション」で40%（それぞれ5%、35%）、続いて「賃貸マンション・アパート」で19%（それぞれ11%、8%）となった。

図表 36 集積所にごみを出す時間帯(居住形態別)

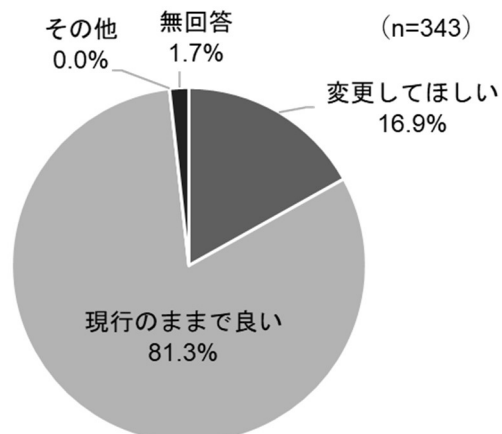


2.3.2 現行のごみ出し及び収集時間帯の変更の必要性等について

(1) 現行のごみ出し及び収集時間帯の変更の必要性

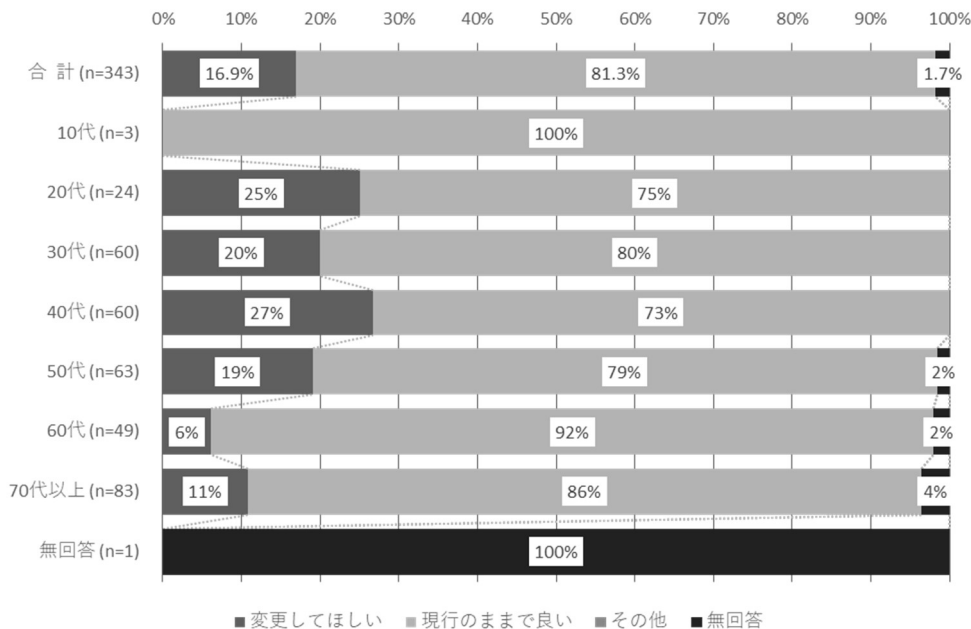
仙台市が指定している集積所へのごみ出しと収集時間帯を変更する必要性について、「現行のままで良い」との81.3%（279件）、「変更してほしい」が16.9%（58件）であった。

図表 37 現行のごみ出し及び収集時間帯の変更の必要性



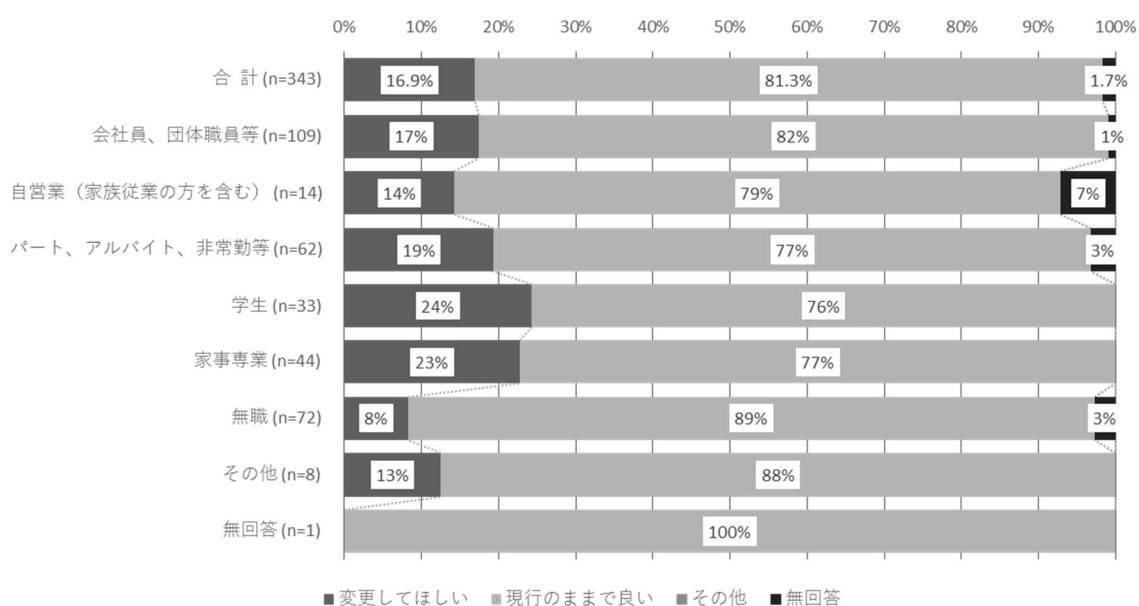
年齢別に仙台市が指定している集積所へのごみ出しと収集時間帯を変更する必要性についてみると、「変更してほしい」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「40代」で27%、続いて「20代」で25%、「30代」で20%、「50代」で19%となった。

図表 38 現行のごみ出し及び収集時間帯の変更の必要性(年齢別)



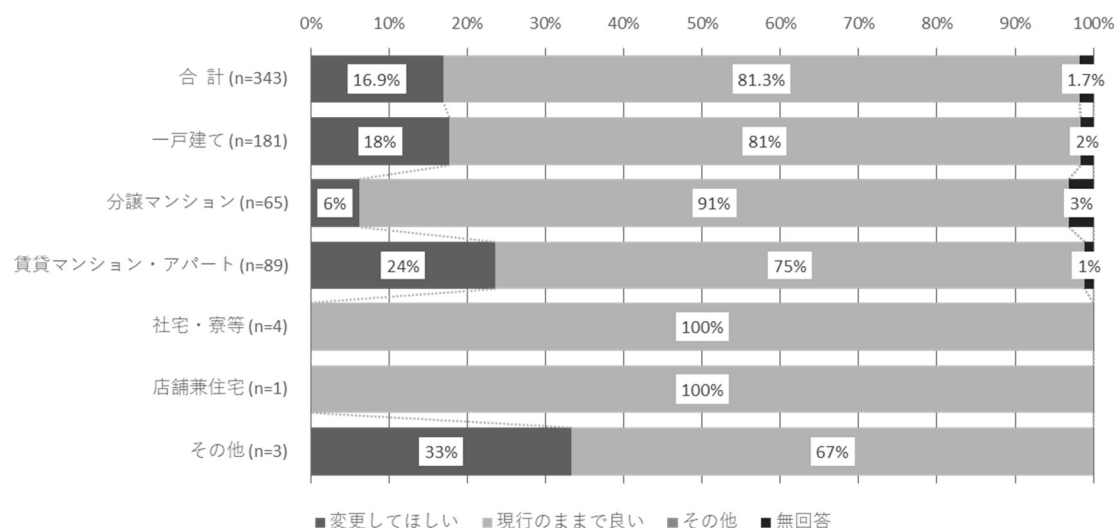
職業別に仙台市が指定している集積所へのごみ出しと収集時間帯を変更する必要性についてみると、「変更してほしい」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「学生」で24%、続いて「家事専業」で23%、「パート、アルバイト、非常勤等」で19%となった。

図表 39 現行のごみ出し及び収集時間帯の変更の必要性(職業別)



居住形態別に仙台市が指定している集積所へのごみ出しと収集時間帯を変更する必要性について、回答数の少ない「社宅・寮等」「店舗兼住宅」「その他」の属性を除くと、「変更してほしい」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「賃貸マンション・アパート」で24%、続いて「一戸建て」で18%となった。

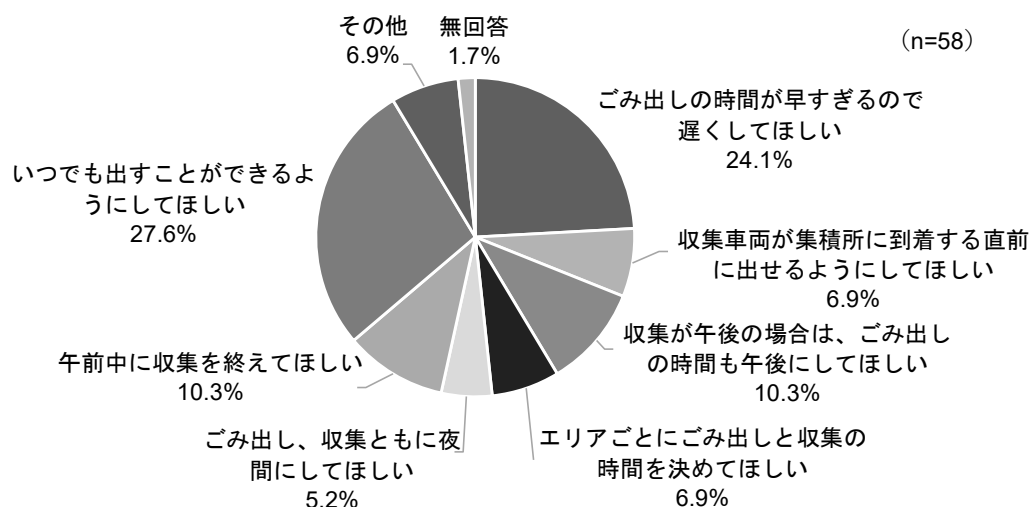
図表 40 現行のごみ出し及び収集時間帯の変更の必要性(居住形態別)



(2) 変更してほしい具体的な内容・その理由

現行のごみ出し及び収集の時間帯について「変更してほしい」との回答者（58 件）に対して、「どのように変更してほしいか」について回答を求めたところ、「いつでも出すことができるようにしてほしい」との回答が最も多く 27.6%（16 件）、次いで「ごみ出しの時間が早すぎるので遅くしてほしい」が 24.1%（14 件）、「収集が午後の場合は、ごみ出しの時間も午後にしてほしい」と「午前中に収集を終えてほしい」がそれぞれ 10.3%（6 件）、「収集車両が集積所に到着する直前に出せるようにしてほしい」と「エリアごとにごみ出しと収集の時間を決めてほしい」がそれぞれ 6.9%（4 件）、「ごみ出し、収集ともに夜間にしてほしい」が 5.2%（3 件）であった。

図表 41 現行のごみ出し及び収集の時間帯の変更に関する具体的な内容



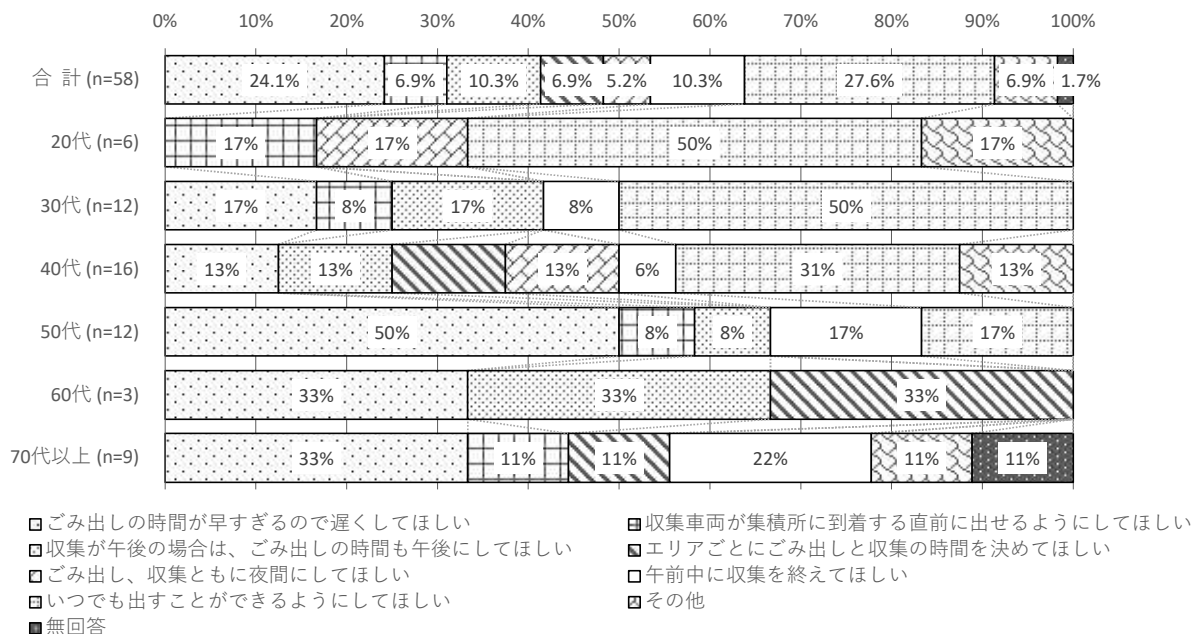
○「その他」の内容

- ごみ出しは早朝から収集車両が集積所に到着するまでの間がよい。（太白区 40 代女性）
- 早くして欲しい。マナーを守らず前日からごみを出した人のごみを猫やカラスが袋を破いて散らす。家がごみの集積所前なので広がったよそのうちのごみを片付けている。その時のごみ袋は自前です。名前の入った書類や使用済みのコロナの検査キット、血まみれの生理用ナプキン、介護オムツまで集めるのは心が折れます。（太白区 40 代女性）
- 前日の夜にも出せるようにしてほしい。（泉区 20 代女性）

現行のごみ出し及び収集の時間帯を「変更してほしい」と回答した合計 58 件のうち、その変更内容で最も多かったのが「いつでも出すことができるようにしてほしい」との回答であった。

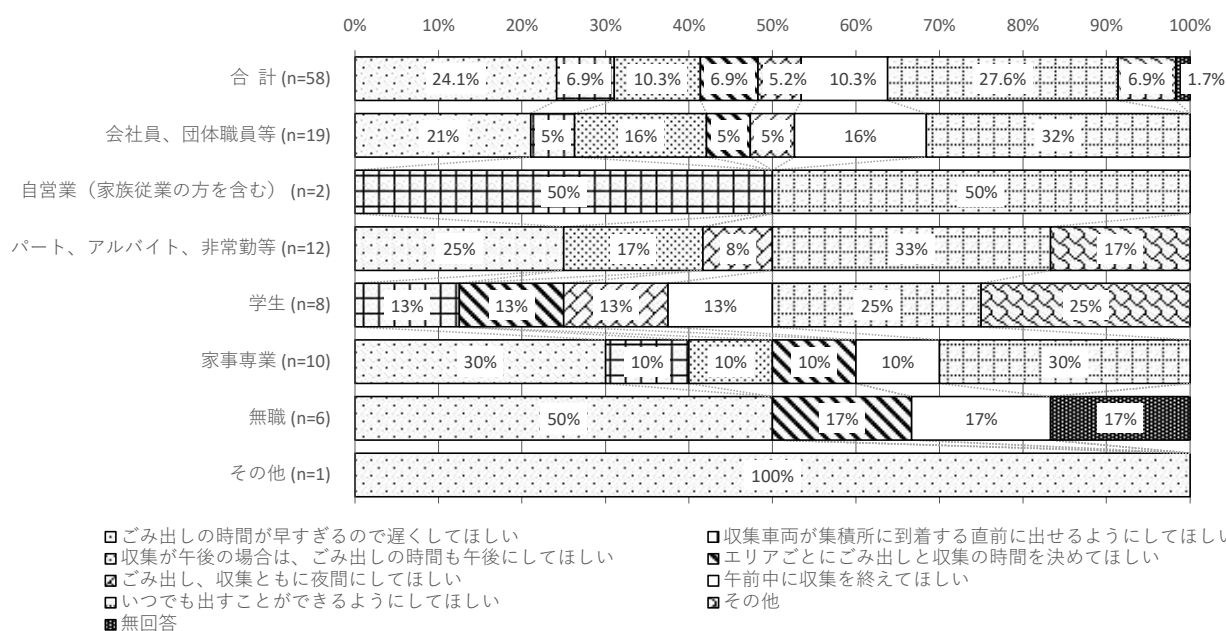
年齢別に「いつでも出すことができるようにしてほしい」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「20代」と「30代」でいずれも 50%、続いて「40代」で 31%となった。

図表 42 現行のごみ出し及び収集の時間帯の変更に関する具体的な内容(年齢別)



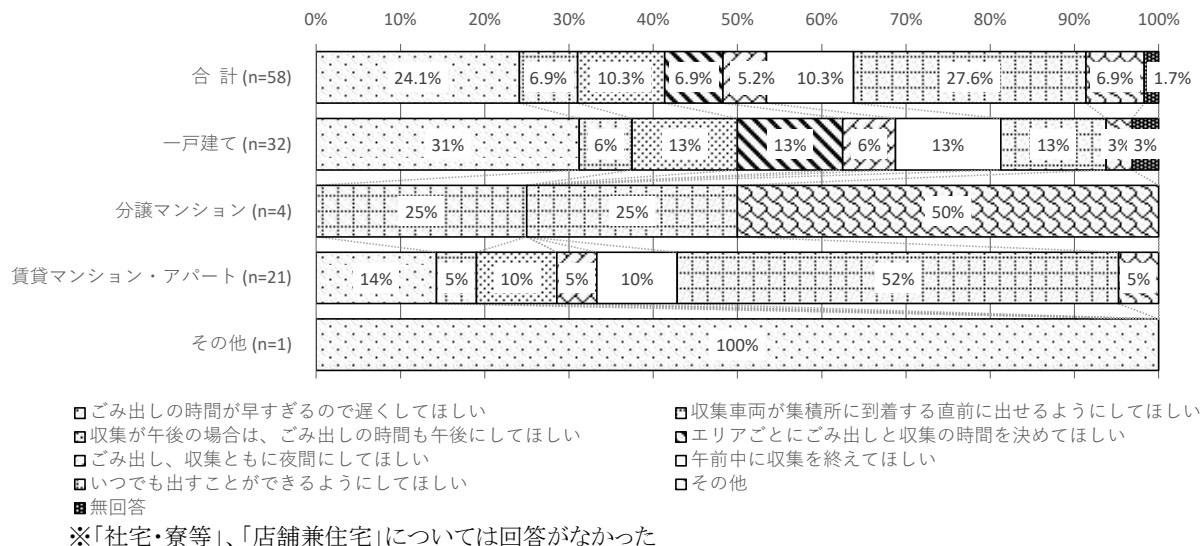
職業別に「いつでも出すことができるようにしてほしい」と回答した人の割合をみると、回答数の少ない「自営業」、「その他」の属性を除くと、「パート、アルバイト、非常勤等」で 33%、「会社員、団体職員等」で 32%、「家事専業」で 30%となった。

図表 43 現行のごみ出し及び収集の時間帯の変更に関する具体的な内容(職業別)



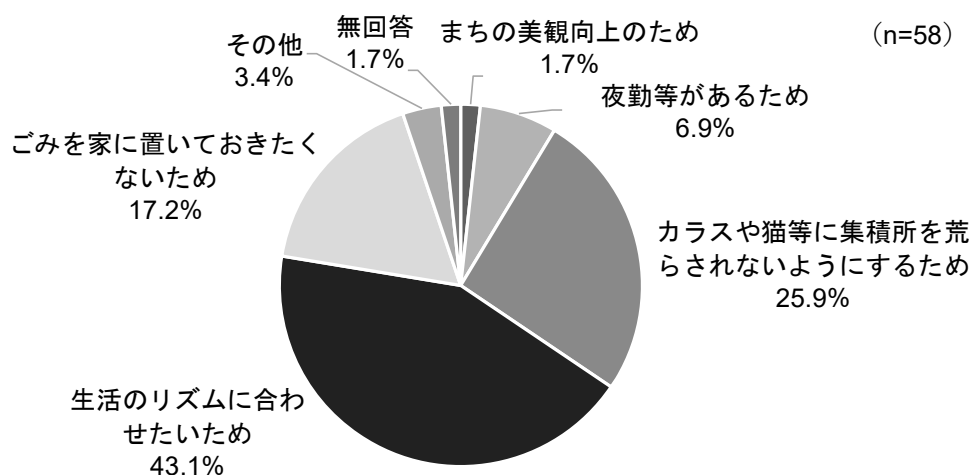
居住形態別に「いつでも出すことができるようにしてほしい」と回答した人の割合をみると、回答数の少ない「その他」の属性を除くと、「賃貸マンション・アパート」で52%、続いて「分譲マンション」で25%となった。

図表 44 現行のごみ出し及び収集の時間帯の変更に関する具体的な内容(居住形態別)



また、現行のごみ出し及び収集の時間帯を「変更してほしい」理由について、「生活のリズムに合わせたいため」との回答が最も多く43.1%（25件）、次いで「カラスや猫等に集積所を荒らされないようにするため」が25.9%（15件）、「ごみを家に置いておきたくないため」が17.2%（10件）、「夜勤等があるため」が6.9%（4件）、「まちの美観向上のため」が1.7%（1件）であった。

図表 45 現行のごみ出し及び収集の時間帯の変更要望を選択した理由



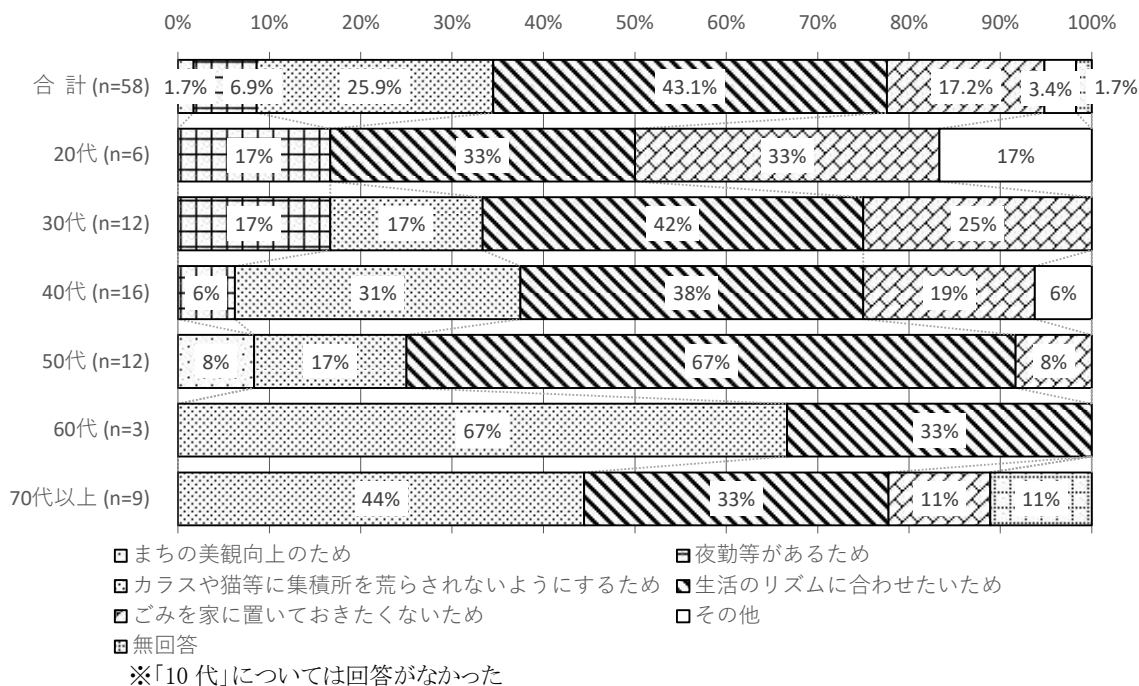
「その他」の内容

- 小さい子を一人で見ながらごみ出しのために外に出るときに、タイミングを合わせるのが難しいため。（若林区 40 代女性）
- 景観向上、交通量への影響削減、夜型の生活リズムの方が増えていること。（泉区 20 代男性）

現行のごみ出し及び収集の時間帯を「変更してほしい」と回答した合計 58 件のうち、その変更してほしい理由で最も多かったのが、「生活のリズムに合わせたいため」との回答であった。

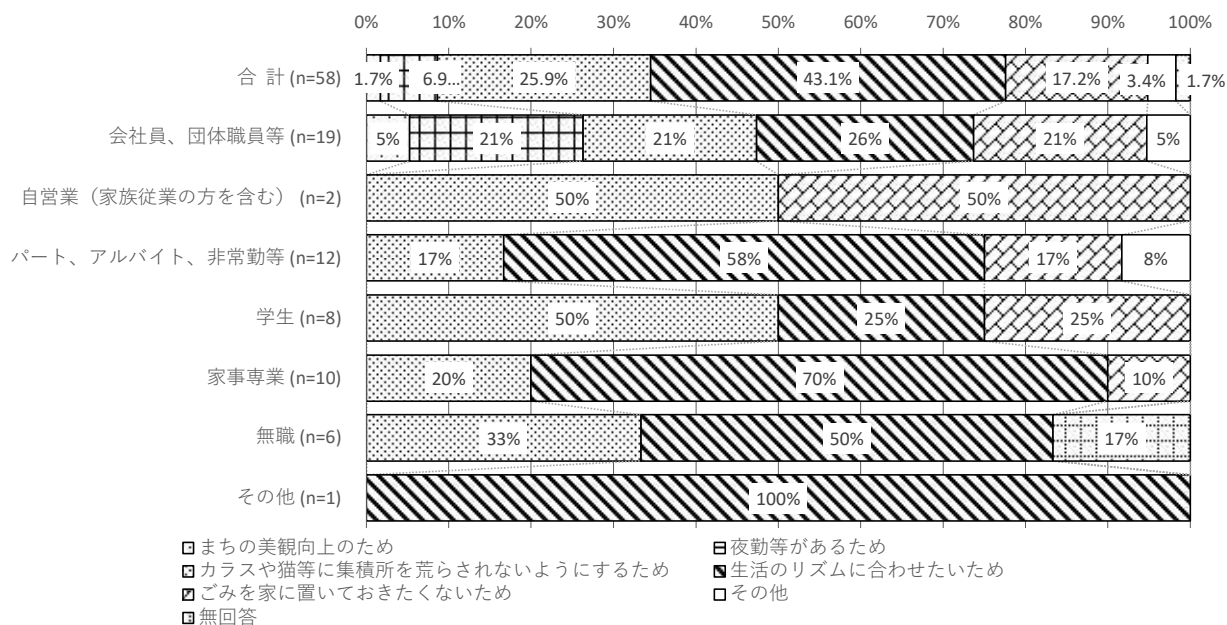
年齢別に、「生活のリズムに合わせたいため」と回答した人の占める割合が最も大きくなるのが、「50代」で67%、続いて「30代」で42%であった。

図表 46 現行のごみ出し及び収集の時間帯の変更を求める理由(年齢別)



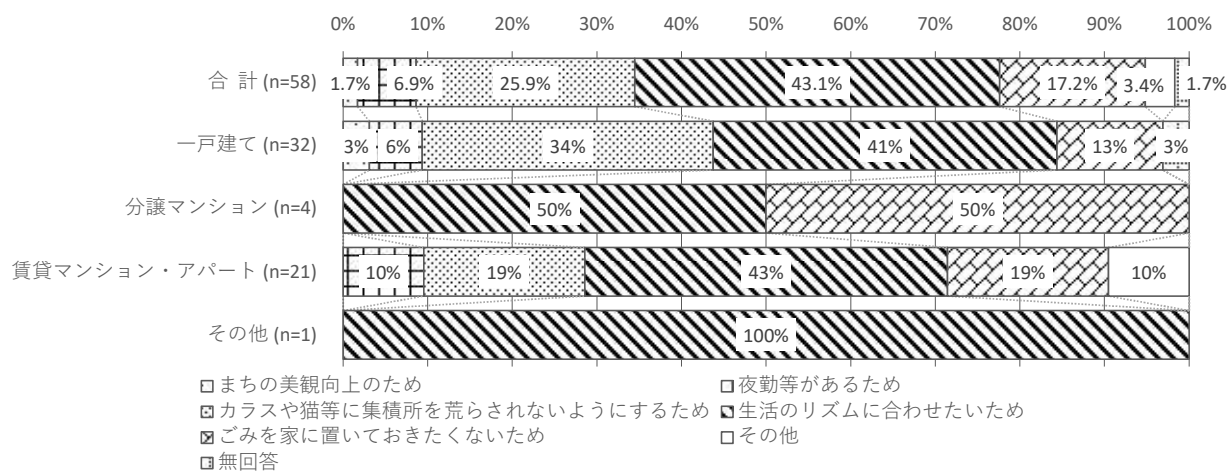
職業別に「生活のリズムに合わせたいため」と回答した人の割合をみると、回答数の少ない「自営業（家族従業の方を含む）」、「無職」、「その他」の属性を除くと、「家事専業」で70%、続いて「パート、アルバイト、非常勤等」で58%となった。

図表 47 現行のごみ出し及び収集の時間帯の変更に関する具体的な内容(職業別)



居住形態別に「生活のリズムに合わせたいため」と回答した人の割合をみると、回答数が少ない「分譲マンション」の属性を除くと、「賃貸マンション・アパート」では43%、「一戸建て」では41%であった。

図表 48 現行のごみ出し及び収集の時間帯の変更に関する具体的な内容(居住形態別)

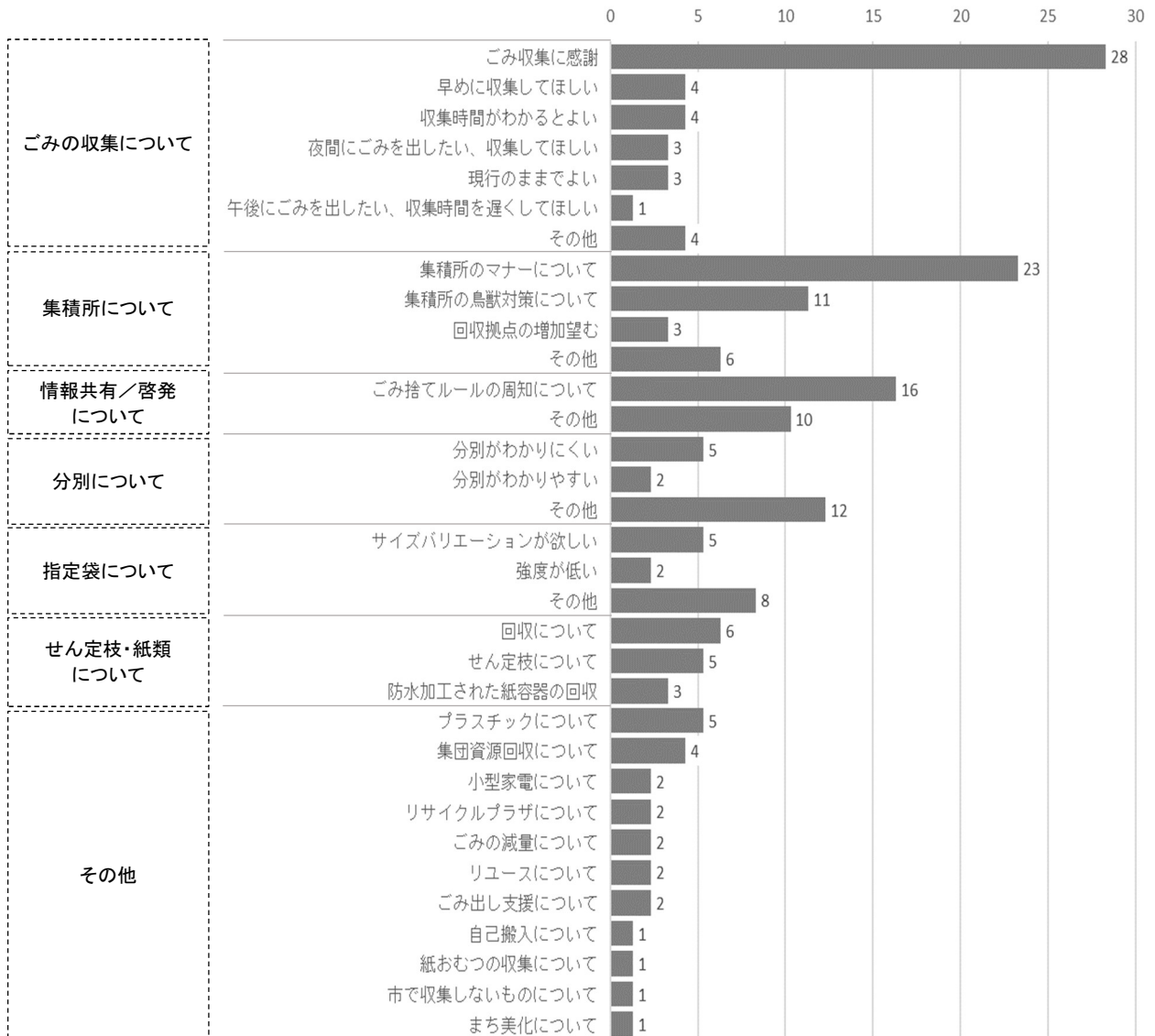


※「社宅・寮等」、「店舗兼住宅」については回答がなかった

2.4 ごみ・資源物収集に関する意見（自由回答）

ごみ・資源物収集に関する意見を自由回答形式で回答いただき、その内容を項目ごとに集計した。意見が多かった項目としては、「ごみの収集について」が 47 件、「集積所について」が 43 件、「情報共有／啓発について」が 26 件、「分別について」が 19 件、「指定袋について」が 15 件、「せん定枝・紙類について」が 14 件と続いた。

図表 49 ごみ・資源物収集に関する意見(自由回答の集計、件数)



「ごみ・資源物収集に関する意見(自由回答)」の回答例

【ごみの収集について】

＜ごみ収集に感謝＞

- 祭日や年末年始やお盆など、世の中がお休みの時も収集していただき、有難いなと思っています。(青葉区 40 代女性)
- 毎日、街中で清掃車がいっぱい動いているのを見ます。ありがたいと思います。ほとんどの車両が丁寧に回収しています。(青葉区 70 代以上男性)
- 以前、カラスが集積所を荒らし道路にごみが散乱している状況を運転しながら目撃しまし

た。直後、収集に来た方が散乱しているごみまで拾って道路をきれいにしてくれていました。集積所がたくさんあり、時間に追われているのに本当に感謝です。(宮城野区 40 代女性)

- 毎回、業者の方がきちんと回収して頂き感謝しています。ごみ等を出す時に迷惑を掛けない様ルールを守り継続したいと思います。(若林区 60 代男性)
- ルールを守らない出し方も散見されるなか、また厳しい気候のなか、収集作業にあたられる方々にいつも感謝しています。(太白区 60 代女性)
- 天候にかかわらずの回収に感謝します。(泉区 60 代女性)
- きれいな街づくりの中で定期的なごみ回収をキチンとやって頂き業者の方々に心から感謝申し上げます。(泉区 70 代以上男性)

<早めに収集してほしい>

- マンションに住んでいるので家庭ごみの集積所へ出す時間を気にしないでいいのが楽である。地域によって収集車が来る時間が違うので一軒家近く等遅い時間の集積所の散乱を日中見てしまう時があるので早めに収集できないかお願いしたい。仙台市は分別やりサイクル事業がしっかりしていると思う。(宮城野区 50 代女性)
- 当町内会も世帯数が増えてきています。しかし集積所が小さくて山盛りになっていて、時々カラスが突っついて、中身のごみが付近に散乱しています。ごみが多いこともありますが、収集が午後になり、カラスに荒らされる時間がたっぷりあることも原因かもしれません。出来るだけ午前中の早い時間に収集に来てもらいたいと思います。(宮城野区 70 代以上男性)
- 午前中に収集を終えてほしい。(太白区 10 代女性)
- 家庭ごみの収集がいつも午後 3 時以降になっておりますが、夏場は悪臭がひどくて近隣の方に迷惑だと思います。また、午後になってから出す人も出て来ており、ルールが守られていません。カラスや猫が荒らしている事が多く不潔です。集積所のそうじ当番の週は何度か収集されたのかを確認に出かけております(面倒です)。午前中もしくは午後早くの収集であれば防げる問題だと考えます。(泉区 70 代以上女性)

<収集時間がわかるとよい>

- プラごみの収集は午後、びん・缶収集の時間が 9 時くらいだが、時々早い時があり、間に合わない時があります。(若林区 70 代以上女性)
- 基本的に 9 時までに出すとなっているが、収集時間がだいたいびん缶・ごみは 15 時以降であったりプラは 10 時過ぎであったりと、もうちょっとわかると助かります。(太白区 60 代男性)
- 曜日によってあるいは月によって収集の時間帯がだいぶ違うように感じますが、夏場などは特に何時間も放置された状態だと、においがしたりカラスにつつかれたり、片付けることも時々あります。(家のうしろにごみステーションがあるので) もし、エリアによって収集時間が決まっているならそれを一覧にして町内会へ配布し回覧してほしいです。(泉区 60 代女性)

<夜間にごみを出したい、収集してほしい>

- ごみ収集の方々にはいつもお世話になりありがとうございます。以前、住んでいた福岡県では夜間ごみ出し、ごみ収集でしたのでカラスによる被害が少なく、また引っ越しや旅行時のごみも夜の間に出せるので、街全体がとてもきれいでした。なかなか難しいと思いますが... 仙台もそうなれば良いと思います。(青葉区 40 代女性)
- 毎回収日ごとにほうき片手にカラスと闘っているおじいさんを見かけたことがあります。カラス害の多いところだけでも夜に回収もありかなとも思います。(たしか福岡方式) でも、収集車のスタッフさんは大変ですけれど。(青葉区 60 代女性)
- 現在、朝 8 時半までに出していますが寝坊してしまい持ち帰ることが何度かありました。また勤めている時は朝の忙しい時に出さずに家を出ることも多々ありました。種々の問題や理由があるでしょうが、そんな時いつも思うことは夜間に出すことができたならとよく思いました。(泉区 70 代以上女性)

<現行のままでよい>

- 収集時間は現行のままで良いと思います。(泉区 70 代以上女性)
- ごみの回収については、いつでも出せるようにしたり、出せる時間を広げることは、ごみ集積所近くの家や掃除当番に多大な負担をかけるため反対であり、そうするのであれば戸別回収にすべきだと思います。(泉区 30 代女性)

<午後にごみを出したい、収集時間を遅くしてほしい>

- 朝の 8 時半までは、特に夏は朝食やお弁当の片づけ分のごみを出したいと思うと、昼収集なので 9 時半くらいになってしまうことがあります。カラスの被害も多く収集時間を遅くするか午後出し OK もいいのかもしれない。(青葉区 50 代女性)

<その他>

- 難しいのは重々承知の上ですが、家庭ごみ等に関して、週 2 回から 3 回に増やしていただけると嬉しいです。特に夏場は子どものオムツのにおいが気になるため、夏季だけ隔週などでも良いので週 3 回ほど回収していただけると助かります。(青葉区 30 代女性)
- 家庭ごみ収集車の音楽「草競馬」やびん・缶収集車の「おさるのかごや」は子どもの頃からずっと聞いているのでこれからも変えてほしくないです。過去に 1 年半程だけ他自治体に住み、また仙台へ転居し久々にこれらの音楽を聞いた時に、とても懐かしく嬉しかったです。(若林区 40 代女性)
- プラスチックが残っているケースが多いが、残す基準を具体的に表示してほしい。(若林区 60 代男性)

【集積所について】

<集積所のマナーについて>

- 網の掛け方が甘い人がいてよくカラスに荒らされていて道路一体に広がっていることがあるので、網の掛け方に関するお知らせをもう少し呼びかけた方が良いと思う。(青葉区 10 代女性)
- 車で家の前までごみを持ってくる人を取り締まりたいが、どうすることもできず困っています。カラスがごみ箱を荒らすのが誰も掃除してくれず、ごみ箱が近い我が家がいつもやることになっている。ごみ箱に貼る注意書リーフレットなどがほしい。あまりにも出し方がひどい時は防犯カメラの補助金などの制度があれば良いと思います。(青葉区 40 代女性)
- いつもきれいに回収していただいてありがとうございます。とても助かっています。また町内会でも場所を提供してくださっている家庭に対しきれいに使い管理することを熱心に取り組んでいます。自分も丁寧にルールを守ろうと意識しています。また、丁寧に管理していても、町内外から明らかに持ち込まれ、ネットをかけないためカラスにつつかれている袋もあります。自分がごみ掃除当番の時だけでなく、見つけた時とても悲しくなります。収集場所のご家庭のにおいも大変だと思われまます(買い物明細がはみ出していて別の地域の方のようでした)。どうして防いだらよいか成功例なども何かで通知していただければ活かしたいと思います。何度も持ち込み、カラスの被害にあっていると犯罪ではないのでしょうかが残念です。隣の地区の人もおりますし、車で来る人もいます。自分の地区外に出すのはやめましょう！など啓蒙も必要ではないかと感じています。(青葉区 50 代女性)
- 時間が 8:30 に回収に来るので集合住宅内では前日に出す方がいてカラスに汚されている。このルールを守っていただく為に最近大家さんから文章が来ているがなおらない。これは住んでいる方のモラル的な事だが、ネットだけで囲うのでカラスが引っ張り出し穴をあけている。新しいところはコンテナにしている様だが、どの様にごみを出すか、仙台市では指定している出す場所のモデル的な事はないのでしょうか。(青葉区 60 代女性)
- 市の独自の基準で良いが、量、質、出し方の良否を地区、町会単位で評価し、ご褒美付きで顕彰してほしい。現在、町会の役員で町会のごみ箱の清掃、管理をしているが、ルール違反のシールが貼られた誰が出したかわからない袋が放置されることに手を焼いている。最終的には自腹で家庭ごみの袋に詰め替えて出すが、手間と金がかかり余計にかかる。24 時間監視録画カメラ設置など、対策を考えている。(青葉区 70 代以上男性)
- 住人は分別を確認してから出してほしい。特に独身でアパート暮らしの若い人、他の市町村

- からの転入者等。ガスレンジ、マットレス等を平気で捨てに来る。(青葉区 70 代以上女性)
- 近隣の住民ではない人が勝手にごみ捨て場を使用し、ルールを守らないことがあり非常に迷惑しています。(分別をしない、ネットの中に入れずカラス等が荒らして周辺を掃除しなければならない等。) また、ごみ捨て場は町内会で管理していますが町内会に入らない(会費を払わない) 人もごみを捨てるのが出来るのは不公平に感じます。何か対策を検討していただきたいです。(宮城野区 40 代女性)
 - 地域外の人が車で大量のごみを集積場に置いていたり曜日外のごみを置いていたりモラルの無い人が多くて困っている。収集の方は大変だと思います。(宮城野区 50 代男性)
 - 町内会でごみ集積所の清掃・管理は町内会の役員が実施しているが、ルールを守らない住民等が多く、対応等処理に困っています。収集業者は、ルールを守らない方のごみ等は、そのまま集積所に残しておくので、誰がこれを片付けるのか？これらの市の指導は全く無責任極まりない！！ルールを守らない方のごみは、市が責任を持って処置するのが管理者の責任ではないか？それを放棄して、町内会に片付けさせるのは、間違っています。そのうち、町内会は、これらを片付けることを全て放棄することになります！！ごみ収集の在り方を再検討していただきたい！！町内会への丸投げは止めてほしい。ルールを守らない人間(外国人を含む)は、注意しても効果が全くありません。逆に恨まれる状況になっています。もう、町内会の役員はやりたくありません！！(宮城野区 70 代以上男性)
 - 以前中山に住んでいたのだが、週 2 回夜勤 16:00~10:00 があり、ごみを出せないことが多くありました。明けでごみ集め 10:30 頃していなかったなので、ごみを出すと注意される事も多く、放火があった所なので注意される気持ちも分かるのですが、有料でいいのでスーパー等にごみを出せないかなと思っていました(車がなく、移動は公共交通機関だった)。かと思うと今住んでいる所はごみ出しのルールを守らない方(1 週間前に出す等)がおり、その方のせいで猫やカラスの被害があり、8:30 以降はごみ出し厳禁になっています。出したくても出せない方と出し方を守れない方の区別が外からはつきにくいので、全ての方が気持ちいいごみ出しはないのかもしれませんが、働き方に合わせたごみ出し方法があると思います。(若林区 30 代女性)
 - 最近ごみを収集日の前日に出す人が多くなっている。その時はどのように注意し守ってもらうようにしたらよいか。(若林区 60 代男性)
 - 近所に資源収集車両が入れないとの理由で、建築したアパートが当町内会の集積所へごみ出しをしているが、分別はせず回収日時も守らず苦勞しています。別の場所に集積所を作ってほしい。(太白区 60 代男性)
 - びん缶の日でないのに出している人がいる。(太白区 70 代以上女性)
 - 回収業務いつもご苦勞さまで。日本が世界に誇るべき業務とその対応だと感じています。資源回収場所に、平気で自転車や電気ストーブを山のように捨てていく家族がいると「その行動、自分の子どもや孫に見せられるか？」と言いたくなりますが、回収しないと溢れかえって、結局回収せざるを得ない状況が散見するのが悲しいです。監視カメラなどをつけて対策したほうが良いと思いますがいかがでしょうか。(泉区 50 代男性)
 - ごみ出しのルールを守らずに入れば良いと思っている方や、仙台市以外に住んでいる方が仙台市のごみ袋を買って集積所に捨てていく事があって、地域の方のごみ袋が集積所に入らず外に出ていてカラスに荒らされて迷惑している。(泉区 50 代男性)
 - 集積所のそばですが他の人は出す時間を守ってくれない方が多い。時々見慣れない車でごみポイ出しする人も見かける。(泉区 70 代以上女性)
 - 当町内会ですが、現状のままでいいと思います。カラス除け、掃除も常に当番者が見回り清潔にして利用しています。しかし、中には缶・びん・ペットボトル等を分別せず袋に入れたまま置き去りにしている方も見られます。特に夏場は集積箱が不足していることがありました(ペットボトル)。違反ごみもそのまま収集していますがその後の処理は？と思う事があります。(泉区 70 代以上女性)

<集積所の鳥獣対策について>

- ネットだと荒らされるので、収集ボックスや檻を設置してほしい。(青葉区 30 代女性)
- 早朝散歩時、決まった集積場がカラス等で荒らされている。市として具体的対策方法を提示してほしい。ちなみに私のところはコンテナでの集積のため全く被害を受けていない。(青

葉区 60 代男性)

- カラスなどによるごみ散乱防止策を周知・激励・指導してほしい。(青葉区 70 代以上女性)
- 集積所を要望したら増やしてもらえた。ハンサムネットでカラス被害が減った。(宮城野区 40 代女性)
- カラスによる家庭用ごみの散乱防止策について。家庭用ごみの収集日にカラスがあたり一面散らかしている箇所が散見されます。出来れば、隙間のある金属製などのごみ箱の設置を推奨してはどうか、併せて設置費用の一部補助についても検討してはどうか。(設置場所を確保できる場合に限られますが)(宮城野区 60 代男性)
- 集積所によっては集積物の保護が十分でないところも見受けられる。ネットだけでは鳥や猫に荒らされやすい。衛生上の観点から、改善すべき点があれば実施してほしい。(若林区 70 代以上男性)
- ごみ出しネットが壊れているので、隙間からカラスなどがごみをあさっている風景を見ます。集積所をネット以外で対応してほしい。(太白区 20 代女性)
- ごみの散乱がひどい所を目にする。町内会によって差がありすぎる。ネットだけでは無理だから市政の援助で扉付きのごみ捨て場を作れないものか。(太白区 50 代女性)
- ごみステーションの規定をネットのみ NG にしてほしい。ネットの隙間からカラスがつついていたりする。(泉区 30 代男性)
- ネットをかけるだけの集積所のため、頻繁にカラスや動物に荒らされる。ネットはすぐに穴が開くため防御効果がほぼない。(泉区 30 代女性)

<回収拠点の増加望む>

- 粗大ごみを出せる所を増やしてほしい。(宮城野区 30 代女性)
- 粗大ごみなどで食器を処分できずにいます。回収場所が富谷にしかないのは不便です。(太白区 50 代女性)
- いつでもごみを持っていけるステーションを多く作ってほしい。(泉区 50 代女性)

<その他>

- 町内会に加入していないとごみが出せないのはおかしい。(青葉区 40 代男性)
- ごみ出しに関し町内会未加入者の方々にごみ置き場の管理・清掃の費用を負担する制度を作ってほしいです。現在は、町内会会員のみの負担となっており不公平を強く感じます。(青葉区 70 代以上女性)
- 缶やペットボトルを捨てるために置いてある黄色の回収用かごが少なく早い者勝ちのようになっている。回収は月曜日の朝なのに日曜日の昼位にはいっぱいになってしまうため、早く出さざるを得ない状態になっている。世帯数も多いのでかごを増やしてほしい。(宮城野区 50 代女性)
- 今までと違う緑のごみネットに新しくなり、上から被せるものではなく、下から包み込むようにしてありますが、そこに食べものが飛び出してひっかかっていました。これの片付けは誰がやるのでしょうか。私の見たところではごみは数日そのまま取り除かれませんでした。(太白区 10 代女性)
- 市所有の遊歩道部分に設置されている町内のごみ集積所フレーム部分がだいぶ傷んできています。ごみ集積所のネットは市のほうで無償提供していただいているのですが、枠となっている金属製の集積所フレーム部分が相当傷んできています。この部分の修繕をどうすればいいのかの情報がありません。出来たら年 1 回位は市政だより等でごみ集積所の管理の仕方について周知していただければと思います。毎週使うものなので。(泉区 70 代以上男性)
- 集積所はシートを被せるタイプです。すぐボロボロになるし雪が降れば大変です。屋根付きのカッコ良い集積所にしてほしい。(泉区 70 代以上女性)

【情報共有／啓発について】

<ごみ捨てルールの周知について>

- 衣類のリサイクルについてもっと啓発普及があると良い。着られるものは海外に輸出されるなど、活用される道があることがわかれば、いい状態で出す人も増えるのではないかな。NPO 法人などにお金を払って出すようなことが、仙台市でもできると知れば利用する人が増える

と思う。小型バッテリーは缶びんと一緒に入れられるというのは知らない人が多いのではないか。マンションの収集場所の看板が更新されていないこともあって、缶びんしか入れられないと思っている人が多いのではないかと。発火などの事故もあるので、うまく周知徹底できると良いと思う。(青葉区 40 代女性)

- 仙台市に転居する人、してきた人へのお知らせを徹底してほしい(住民票の届け出等、ポスター〈地下鉄等〉広報など)。(青葉区 50 代男性)
- 仙台市のごみ分別はとても分かりやすく現行のままで良いと思います。ただ、会社の方と話すとき周知されていない部分もあるので引き続き周知されていくといいと思います。(青葉区 50 代女性)
- 外国人の方は捨て方(ルール)を知らないのではないかと思います。ごみ捨て場に外国語表示があってもいいのではないかと思います。(青葉区 50 代女性)
- リチウム電池の捨て方やプラ素材の捨て方など、新しいごみ収集の情報をきちんと知らない所もあったので、定期的にチラシなどで宣伝をして多くの人に周知してもらえるようにするといいいのではないかと思います。(宮城野区 40 代女性)
- マンションに住んでおり、決められた場所(BOX)にごみ袋を出す形ですが、たまに決められた曜日ではない時に出すご家庭もいるのでごみ出しのルールとしてもっと周知をする看板など取り付けた方がよいなと思った事があります。(宮城野区 50 代女性)
- ごみの分別についてまだ理解されていない人がいるように思う。ごみの分別に関して理解してもらうよう説明が必要だと思う。(宮城野区 70 代以上男性)
- ごみの分け方捨て方も年々少しずつ変わっていくので、継続的に周知してほしい。(若林区 50 代女性)
- 小型充電式電池や電動歯ブラシなどが出せるようになったとのことですが、私も知らなかったし知らない人がたくさんいました。もっとお知らせしてほしい。(若林区 60 代女性)
- ごみ出し時間と収集時間の差が大きいので、ごみ出し時間を過ぎても平気でごみを出す人がいる。収集が終わっていても出しているのを、改めてそういうことをしないよう地下鉄内やネット等で呼びかけてほしい。(太白区 30 代女性)
- 捨てるものを検索したら「○曜日、○○ごみ」と出るようなフォーマットがあると嬉しい。どうやって捨ててほしいか等も書いてあればその通り捨てられるので便利だと思う。(太白区 30 代女性)
- ごみのルールと特に捨てる時間を、町内会に入っていないアパートの人や様々な理由で抜けてしまった人への周知のポスターなどをごみ置場に貼ってほしいです。コミュニティから抜けている人々がルールを守れず、知らないのもあるでしょうが、夜中に出すことで困っています。野良猫、カラス、放火も怖いので周知してほしいです。(太白区 50 代女性)
- リチウム電池などの処分のやり方が分からなかったが、このアンケートで初めて知ったのもっと告知が必要かなと感じた。(太白区 50 代女性)
- 掃除担当を決めている町内会ですが、プラスチック収集の時に燃えるごみを入れて出す方がいて収集せずに置いていかれます。何か注意喚起できるポスターなど配布していただけないか。(太白区 70 代以上女性)
- 街路樹の落ち葉などを入れるために仙台市から配布されるピンク色で可愛い柄が書いてあるごみ袋があると思います。そちらに明らかに自宅の樹木の剪定、草むしりで出た枝などを入れたり、家庭ごみを入れて捨てたりしている方がいます。ほとんどの方はルールを守っているとは思いますがそういう方がいるので改めて「街路樹の落ち葉などを入れるため」というアナウンスはしてほしいです。(泉区 20 代女性)
- びんと缶を分けて出している人が多いので、一緒に入れてもよいことを呼びかけてほしい。(泉区 60 代女性)

<その他>

- 町内会・各市民センターなどで館外学習、環境施設見学を実行することで、改めて勉強になったりしますので見学会も良いと思う。間違っておみに出している物もあり年一度の学習会も大切ではと思います。一人一人ごみを少なくして将来の環境、住み良い仙台、緑豊かな街を守ってほしいと思います。一人一人の力が大きな力となりますように。(青葉区 70 代以上女

性)

- たまきさんサロン（見学した事があります）ワケルくんバス等宣伝にも力を入れていただき有難うございます。（宮城野区 70 代以上女性）
- 紙は何にリサイクルされるか、プラは何にリサイクルされるか、もっと幅広い世代に認識してもらえよう写真や絵で大きく回覧なり地下鉄内に貼りつけるなどしたらいいのでは。（若林区 50 代女性）
- 資源物収集に関し、収益化できているのであれば、公表してどの施策へ利用しているのか知りたい。（太白区 40 代男性）
- 他都市とのデータ比較などたまに「市政だより」や「テレビニュース」等で取り上げていただき、市民への意識喚起をはかるような活動は如何でしょうか。（太白区 70 代以上男性）
- ごみの出し方でわからない時は“資源のごみの分け方、出し方”という分別事典が我が家にとっては大いに参考になっています。要望として“ごみを減量する”という大前提で、各家庭でゴミ袋を導入することになったと思います。ゴミ袋導入前と現在ではごみの量がどのようになっているのか全然公表されていないと思います。是非、公表してほしいと思います。（太白区 70 代以上女性）

【分別について】

＜分別がわかりにくい＞

- 今まで何回か引っ越しをしていますが、仙台市はごみの分別が難しいと感じます。早引表の品目を増やしてほしい。もっと簡単に調べられると便利です。「仙台市 ごみ」とネットで検索すると、仙台市の HP が出てきて、早引表に辿り着くまでに何回かクリックしないと辿り着けない。（青葉区 40 代女性）
- 不燃物の出し方解らない。（青葉区 70 代以上男性）
- 分別で不明となる物があり分かりやすく分類してほしい。キーワードでわかるようにお願いしたい。（青葉区 70 代以上女性）
- 「アルミ」と書かれているものをどうしたらいいのかわかりにくい。商品によって「アルミ」「プラ」併記であったり「アルミ」のみであったり。分別の冊子にも明記されておらず、インターネットでも探せなかった。インターネット上で、ごみに関して、「よくある質問」のように常に最新情報に更新されているページがほしい。（宮城野区 40 代女性）
- 「資源とごみの分け方・出し方～家庭から出るごみの分別事典」を見ているのですが、載っていない物があります。載っていない物は家に保管しているのですが、どうしたらいいものか困っています。（宮城野区 70 代以上男性）

＜分別がわかりやすい＞

- 分別が分かりやすくて良い。（青葉区 60 代女性）
- ごみ出しの袋の種類も少ないし別々にするのはプラスチック以外はわかりやすい。（青葉区 60 代女性）

＜その他＞

- 大したものでもなくても調べると粗大ごみになることも多いように感じます。別途料金もかかるし、予約も面倒なので、マンションの住人の中には家庭ごみに入れて捨てる人がいるため、管理員が困っているようです。（青葉区 40 代女性）
- 歯ブラシや洗剤などの詰替えパックのリサイクルもあるみたいなので、やってほしいです。（青葉区 50 代）
- 缶を潰して捨てられるようになってほしい。（青葉区 60 代女性）
- リチウムイオンバッテリーの回収や軟プラと硬プラと一緒に分別できるなど、日常生活におけるごみの処理が非常に楽になり助かっている。欲を言えば、30センチを超えるものでも指定袋に入れば家庭ごみとして出せるようにしてほしい。（若林区 30 代男性）
- 分別が多いと保管場所の確保が大変です（特に紙類）。その為家庭ごみと一緒に出しています。（若林区 60 代女性）
- ごみ焼却場能力が向上している現在、市民に分別排出をきびしく制限すべきではない。（例：プラと家庭ごみ等）（太白区 70 代以上男性）

- ルールを簡素化して経費を節減し、減税してほしい。(太白区 70 代以上男性)
- 制度にしたがいますが、あまり面倒な事は言わないでください。(太白区 70 代以上女性)

【指定袋について】

＜サイズバリエーションが欲しい＞

- プラスチックの指定袋のサイズに特小があると良い。(宮城野区 60 代男性)
- プラスチック資源の指定袋のサイズに家庭ごみと同じ様に特小を作してほしい。(宮城野区 60 代女性)
- 〈家庭ごみの袋のサイズについて〉我が家は毎回特小でも「スカスカ」なのでもう少し小さいサイズ（袋代も安い）があれば利用したいです。(若林区 40 代女性)
- 家庭ごみ用指定袋ですが、基本「特小」を使っています。10 kg 用かと。ですが 1～2 人暮らしだと大きすぎてたまる前に虫とかが出てくるので出さざるを得ません。10 kg の下の 5 kg 用を作って頂くと便利です。以前、他自治体に住んでいましたが一番小さいタイプが 5 kg 用で 1～2 人で暮らす場合 1 週間分をためるにはとても使い勝手が良かったです。高齢者 1 人暮らしの方も袋自体が小さくなりますので重宝されると思います。検討をお願いします。(泉区 50 代男性)

＜強度が低い＞

- 指定ごみ袋がとにかく破れやすく、不便に感じております。鋭利なものを入れていないのに、例えば封筒の角などが袋に当たっているだけで破れたりするので、もっと入りそうなのになくせざるをえなかったりします。ごみ置き場のカラス被害の一因にもなっているように思いますし、収集車の方々も、すぐ破れると業務に支障が出るのではないのでしょうか。色々な市町村に住んでいますが、丈夫な指定袋との差を感じます。値段が上がっても構わないので、できれば丈夫にしてほしいです。(青葉区 30 代女性)
- 仙台市ごみ袋の強度が、弱い。破けやすい。すぐに穴が開く。改良してほしい。(泉区 40 代女性)

＜その他＞

- 家庭ごみ指定袋とプラスチック資源指定袋がリニューアルして更にわかりやすくなったと思いました。(青葉区 50 代女性)
- ごみ袋の素材が扱いやすい。(結んで捨てる時伸びるので結びやすい。思ったよりごみが入る。)(青葉区 60 代女性)
- 子育て世帯に定期的にごみ袋を配布してほしい。乳幼児期にはオムツでごみが沢山出る際非常に助かった。小学生になっても工作等で山のように出る時もあるので補助等があると助かる。(宮城野区 30 代女性)
- ごみ袋の値下げ。(宮城野区 60 代男性)
- 中身が見えるため、色を半透明ではなく違う色にしてほしい。オムツなどを捨てる際、中身が見えるのをごく捨てるのが嫌です。他の自治体のように中身が見えない袋にしてほしいです。(若林区 30 代女性)
- 仙台市の生ごみ袋（プラも←未確認）がリニューアルされました。袋が薄くなりましたがコスト削減になったのでしょうか？物価上昇分に吸収されて終わりなののでしょうか？ごみ袋として使える薄さの追求はいいことだと思います。コスト削減の努力をよろしくお願いいたします。(太白区 60 代女性)
- ごみや資源物の収集については、何ら問題はない。生ごみを出す緑色の袋のことですが、現状の 10 枚綴りではなく、もう少し多めの 12 枚か 15 枚に変えてはいいのかなと思いました。また、表面のデザインやお知らせは表全体にプリントしない方がよいのではと思います。それは時々いろいろなものを混ぜて出しているのを目にしたものですから...外から見て中身がはっきり見える位の最低限必要なプリントだけにしよう。(太白区 70 代以上女性)

【せん定枝・紙類について】

＜回収について＞

- 古紙回収は、出したい時に出せないことが多い。できれば毎週回収日があると助かる。(青葉区 50 代女性)
- 紙類はネット通販等ダンボールが多くなっている為、最低週一の回収にして頂きたい。(青葉区 60 代男性)
- 紙ごみの回収を増やしてほしい (子どもがいる家庭ではダンボールごみも増えるため)。ごみ回収時間も子どもがいるとなかなか時間を合わせるのが難しい。(宮城野区 30 代女性)
- 紙類をひもで十字にしぱり出しています。小さい紙は紙袋に入れて出しています。でも、できたら段ボールに入れて出す方法も検討頂きたいと思います (フタをひもでしめず中身が確認できる方法で)。「紙容器拠点回収」や「せん定枝のリサイクル事業」の件は知りませんでした。できたら、毎週のごみ回収を行う集積所で、容器の方は月 1 回位、せん定枝の方は年 2~3 回位で集めた品を回収して頂ければと思います (車の運転免許返納者が増え、指定の場所に持参する事が困難になってきているため)。(泉区 70 代以上女性)

<せん定枝について>

- 剪定枝のリサイクル事業を全く知りませんでした。もっと宣伝をしてもいいと思います。(青葉区 70 代以上男性)
- せん定枝のリサイクル事業は知らなかった。いい施策だと思います。家庭内だけでなく、造園業の方からも集めてはどうでしょうか。(持ち込みですが)(太白区 70 代以上男性)
- せん定枝リサイクルは人に聞いてたまたま利用 (知らなかった) したので友人にも知らせて利用。知らない人多いかもしれません。宜しくお願いします。(泉区 70 代以上女性)
- せん定枝の出し方がよくわからず、せん定枝とはどこまでがそれになるのかがわかりません。ご近所の方々も燃えるごみに出しています。また、量的に少なすぎる場合は出せないなど詳細が不明なままです。(女性)

<防水加工された紙容器の回収>

- 自分では分別していると思っていたが、先日ごみ処理場の見学に行くまではヨーグルト等の防水加工されている紙について、容器のリサイクル紙マークに従い再生可能だと思っていた。確かに容器には自治体のルールに従って...と記載はあるものの、分かりづらい。日常的に購入する物は、もっと有効的な告知をすればリサイクル率が上がるのではないかと思います。(青葉区 40 代女性)
- ヨーグルトなどの容器の回収がしやすくなると嬉しい。結構ヨーグルトの容器などは出るので、分別して捨てたいと思うものの、近くの拠点回収の場所が家から行きにくいので、あまりちゃんと出せていない。スーパーでの回収とかでもいいので回収場所が増えると嬉しい。(青葉区 40 代女性)
- 豆乳パックのようなアルミがついているパックを回収するところが少ないので増やしてほしい。スーパーで出来れば嬉しいです。アイスクリーム容器とかを区役所とかで回収しているとありますが宮城総合支所を見たことはありません。聞けばやっているのでしょうか。(青葉区 60 代女性)

【その他】

<プラスチックについて>

- プラスチックごみが出しやすくなり、とても助かっています。ありがとうございます。(青葉区 40 代女性)
- プラごみは、水ですすいでいますがどの程度汚れを落として出すのかいつも迷ってしまいます。(若林区 70 代以上女性)
- 地球温暖化などの環境問題を解決するために私達はきちんと行動する事が大切だと思っています。製品プラスチックの分別収集も始まってごみが資源になるのはとても良い事だと思います。(太白区 60 代女性)
- プラスチックの分別は、手間やプラスチックを洗うための水使用量、分別後のリサイクルの過程が見えづらいこともあり、まとめて家庭ごみに出したい家庭も多いと思う。他自治体では分別していない所もあり、再考の余地があるのでは。(泉区 30 代女性)
- スーパーで買い物をすると容器はだいたいプラスチック製品。家で食品を使い切り容器を捨

てる際プラごみ袋が直ぐにいっぱいになる。本当にいつも考えますが、揚物のバラ売り等紙の袋等なども中が薄くコーティングしていたりして、この様な時とても迷ってしまい家庭ごみ袋に入れますが...リサイクルにまわせるではなく、プラスチックを使用しない様、行政は企業に働きかけをしてほしい。自然に還る容器を企業スーパー等お店も使用してほしい。(泉区 70 代以上女性)

<集団資源回収について>

- かつて私が他自治体に住んでいた頃に、資源物等回収への地域協力が大切とされ、缶は缶、ポリびんはポリびん等、他各種資源物も地区で分別収集している地域には市から協力の意味で助成金が出ていた。私の住んでいた地区でも子ども会とも対応しながら、良く分別収集されていました。その為、子ども会も含めてその金額も活用させていただくと同時に、共に資源ごみ等への対応の大切さと協力意識も高まり、市としても分別収集効果が生まれ、回収整備高まりました。仙台市としてもこの様に各地区住民の認識と協力が高まれば非常に助かると思い検討をお願いします。(青葉区 70 代以上男性)
- 子ども会の資源回収を利用しており、収益金で子ども会の活動が豊かになっている。(宮城野区 40 代女性)
- 資源回収については、町内会においても高齢化が進んでおり、現役世代の負担が大きく、更に参加する人も限定的で疲弊しています。町内会の高齢者にはそのことが分かってもらえず(自分達が現役の時はやっていた、今の若い人達はなぜやらないのか等)、資源回収の運営に高齢者から苦情が入る(天候不良による中止への苦情、戸別回収からステーション回収への移行提案の否定)等、世代間の摩擦となっています。資源回収のあり方についても、一定の人だけに負担がかからない方法の再考をお願いします。(泉区 30 代女性)

<小型家電について>

- 小型家電捨てやすくなりました。ありがとうございます。(若林区 30 代女性)
- 小型家電の回収について一定規模(15 cm×30 cm)以上は粗大ごみ扱いになっておりますが、リサイクル活動を更に推進する為にサイズを現行より大きいものまで拡大し無料で更に回収しやすい環境に努めて頂きたい。(泉区 70 代以上男性)

<リサイクルプラザについて>

- まだ着ることができる洋服をリサイクルショップに持っていったところ、あんなに高価だった服も 10~20 円。悲しみが止まらなくなったので以降そのような服は葛岡のリサイクルプラザに持ち込むようになりました。お金にはならなくとも他の誰かが着てくれるならば満足ですし、勝手な思い込みですが役に立っている感があります。でもここを知らない人が多すぎてもったいないです。いい取り組みなのに。(青葉区 60 代女性)
- 現代社会では、実際の必要以上にものが生産・消費され、資源を消費し、または必要以上のごみとなって地球環境を蝕んでいます。そのため、アウトドアやアパレル企業を中心に、なるべく消費をせず(物を買わず)に、今あるものを直して使おう、どうしても手放す場合は必要な人の手に渡ようリユース、それも難しいなら素材としてリサイクルしようという動きがあり、衣類の回収を行っている企業も増えてきています。仙台市におかれては、これらの問題に対してリサイクルプラザという有益な取り組みを行われていますが、どうも認知度がとても低いというように感じています。情報発信が不足しているのも一因と思いますが、立地が悪い(公共交通でのアクセスが難しい)ことも要因だと思われます。そこで、同様の取り組みをこれまでよりも拡大してみても如何でしょうか。まずは都心部で、その後は各区の中心地域に拠点を設けるイメージです。そして大型のものは例えば、粗大ごみ料金より安価で訪問引き取りを実施する、もらう側もインターネット経由でものを確認し、送料を支払えば配達してもらえ等はどうでしょうか。必要としている方が市内に居るにも関わらず、ごみとして捨てられているものはきっと多くあります。これから地球環境問題がより深刻になっていくなかで、本当の意味で環境に配慮した都市へと進化するためには、このような取り組みは欠かせないと思います。(泉区 20 代男性)

<ごみの減量について>

- 生ごみを乾燥して、においを減らしたり、燃料費を減らせたらいいと思う。コンポストの助成や生ごみの肥料化について広報紙で特集を定期的にやったり、補助金申請をもっと手厚くしたりなど、もっと取り組めることがあったらいいと思う。(若林区 40 代女性)
- 子ども会に入会している時は資源回収をよく利用し児童館に不要な物を寄付していましたが、息子が大きくなり仕事の勤務時間も長くなりごみに対する意識まで回らなくなりました。忙しい中でもごみを減らし毎日の生活を変えたいと思います。(泉区 40 代女性)

<リユースについて>

- 子どもの学校用品(制服、体そう服、裁縫セット、絵の具、鍵盤ハーモニカ...)などはリユース、リサイクルしてくれたらいいのにと考えていました。まだ、使える物を捨てるのはごみ増加にもなりもったいないなど。バザーなどでほしい人に販売したり必要な人に無償で提供したり。処分せずに集める場所を卒業した学校または代表校などで回収ボランティアさんの手でなんとか活用してはどうでしょうか。転勤族でしたので何枚も体操服を買い、やりくりしてまいりました。(青葉区 50 代女性)
- 粗大ごみの回収方法について、不要になった、まだ使えそうな家具等が「ごみ収集車」と同じ車に回収されバキバキと音を立てて壊されていくのが残念です。(若林区 70 代以上女性)

<ごみ出し支援について>

- 障害者でごみ出しが大変です。速やかに対応施策を考えて下さい。お願いします。(宮城野区 60 代男性)

<自己搬入について>

- 粗大ごみを自分で施設に持ち込むとき、100kg 単位ではなく 10kg 単位での値段設定だと、こまめに持ち込むことができ利用しやすいと思いました。(宮城野区 30 代女性)

<紙おむつの収集について>

- 実家のある市でもごみは有料化されているが、紙おむつのごみに関しては無料で廃棄が可能となっている。(指定の有料のごみ袋ではなく自分で用意したごみ袋でも紙おむつとわかる状態で廃棄すればそのまま回収してくれる。)現在仙台市では出産後申請してごみ袋の配布を行う形で子育て支援をしていると思うが、そもそも紙おむつのごみは無料でも回収してくれるという方法には変えられないのか。紙おむつは工夫して廃棄量を減らすことができるものでもなく、出産後 3 年間ほど出続けるごみで、ごみ袋内のかなりの割合が紙おむつで占められてしまっているの、子育て支援の一環として検討頂けないかと思っている。(青葉区 30 代女性)

<市で収集しないものについて>

- 対象外としているものは無くし全てのものを回収してほしい。(太白区 60 代男性)

<まち美化について>

- 駅周辺やコンビニなどごみが散乱していることがありますが、公園などの公共の場所にゴミ箱等を設置していただくともっときれいになるのでは。(太白区 60 代男性)

第2章 市民アンケート

1. 実施概要

1.1 調査の概要

仙台市では、令和7年度に仙台市一般廃棄物処理基本計画の中間の見直しを行うこととしており、近年のごみの排出状況や市民の意見・要望等について、アンケートによる調査を実施した。

前々回調査を平成26年度、前回調査を令和元年度に実施しており、一部集計結果においては前々回調査及び前回調査との比較を行った。

(1) 調査の目的

仙台市では、一般廃棄物処理に係る基本的な方向性を定める「仙台市一般廃棄物処理基本計画」を令和3年3月に策定した。本調査では、同計画の策定から5年を経過した時点で行われる中間の見直しに向けた情報の収集を目的とし、ごみ・資源物の排出状況、ごみの減量・リサイクルにおける現状での課題及び市民の意向等を把握するため実施した。

(2) 調査項目

「回答者の属性について」、「ごみと資源物の出し方などについて」、「ごみの減量・3R・循環経済の取り組み等について」、「食品ロス・生ごみについて」、「プラスチックについて」、「紙類について」、「衣類・布類について」、「更なるごみ減量・3Rの推進について」、「自由回答」の計9項目を調査した。

(3) 調査対象及び調査期間

調査対象、発送日、締切日、調査方法については以下の通り。

- ・ 調査対象：無作為に抽出された仙台市内の3,000世帯
- ・ 発送日：令和6年11月8日（金）
- ・ 締切日：令和6年11月29日（金）
- ・ 調査方法：郵送による発送、郵送回収・WEB併用回収

(4) 調査結果の留意点

調査結果の留意点は以下の通り。

- ・ 端数処理の関係から、割合の合計が100%とならないことがある。
- ・ 複数の選択肢を選択する問の割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者で除したものとなっている。
- ・ 自由回答については、主なものを掲載している。原則、回答通りに記載しているが、誤字・脱字等に関して、原文の表現を一部加工している。

1.2 回答率

3,000件の送付に対し、総回答数は1,116件（郵送回収：955件、WEB回収：161件）で、回答率は37.2%だった。

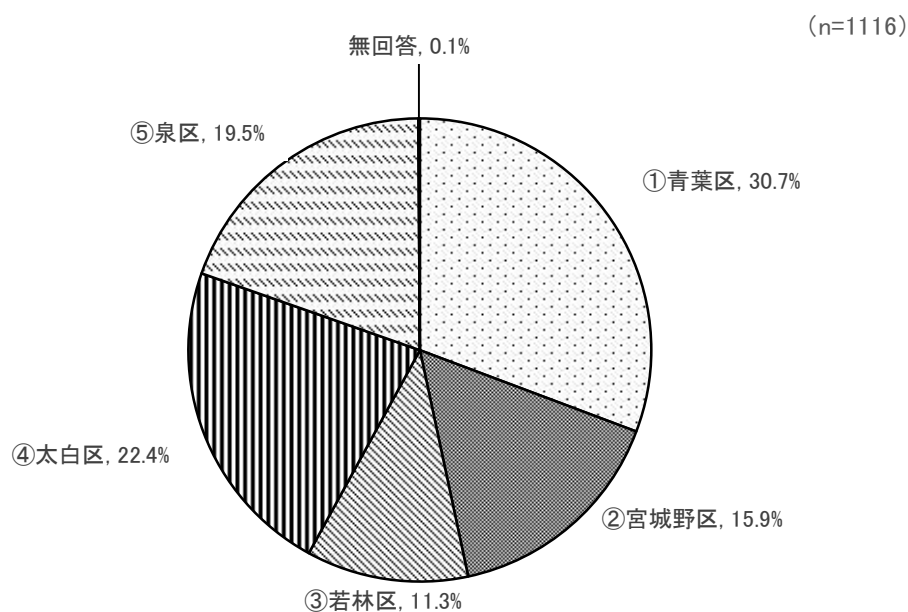
2. 調査結果

2.1 回答者の属性

2.1.1 居住区

「①青葉区」の割合が最も高く 30.7%となっている。次いで、「④太白区 (22.4%)」、「⑤泉区 (19.5%)」となっている。

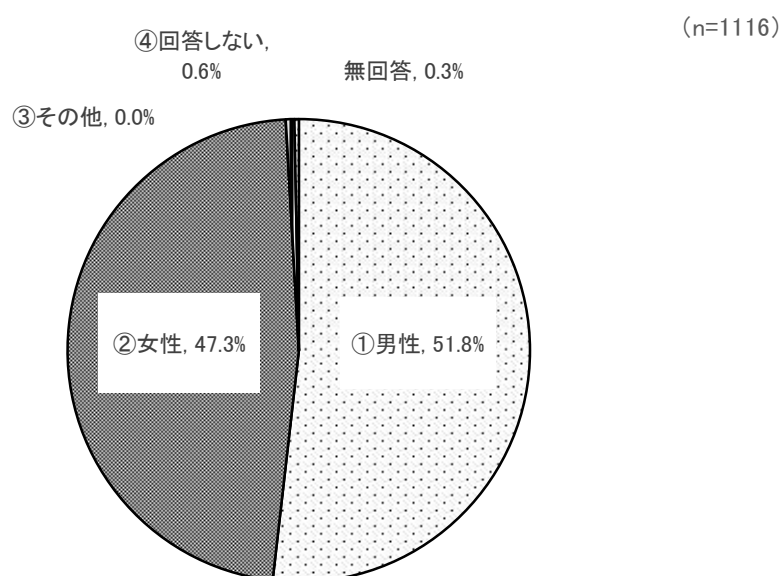
図表 50 居住区



2.1.2 性別

「①男性」の割合が最も高く 51.8%となっている。次いで、「②女性 (47.3%)」、「④回答しない (0.6%)」となっている。

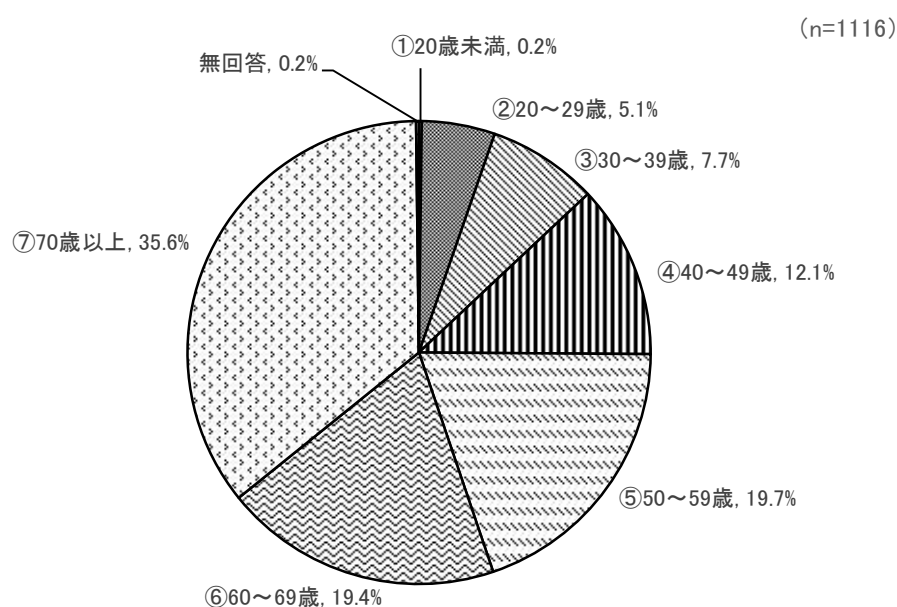
図表 51 性別



2.1.3 年齢

「⑦70歳以上」の割合が最も高く 35.6%となっている。次いで、「⑤50～59歳（19.7%）」、「⑥60～69歳（19.4%）」となっている。

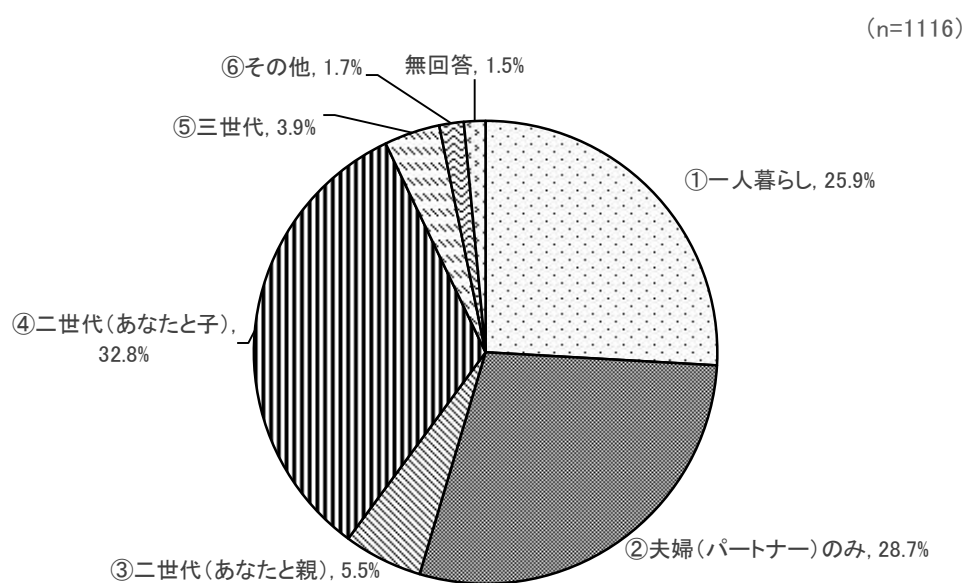
図表 52 年齢



2.1.4 世帯構成

「④二世帯（あなたと子）」の割合が最も高く 32.8%となっている。次いで、「②夫婦（パートナー）のみ（28.7%）」、「①一人暮らし（25.9%）」となっている。

図表 53 世帯構成

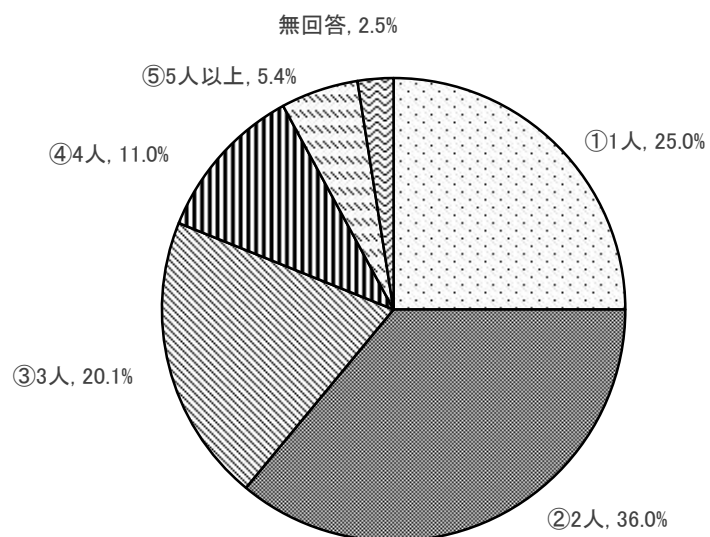


2.1.5 家族等同居人数（回答者を含む）

「②2人」の割合が最も高く 36.0%となっている。次いで、「①1人 (25.0%)」、「③3人 (20.1%)」となっている。

図表 54 家族等同居人数(回答者を含む)

(n=1116)

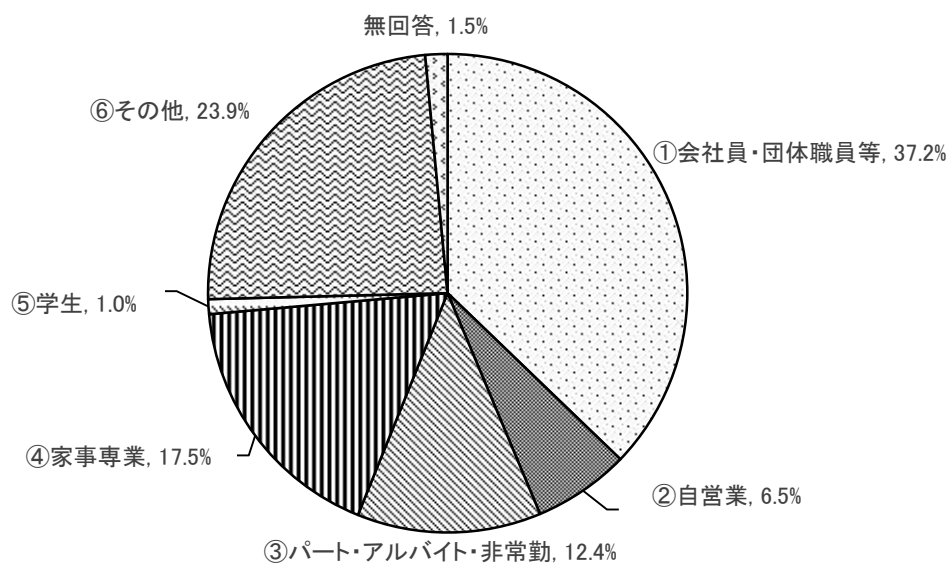


2.1.6 職業

「①会社員・団体職員等」の割合が最も高く 37.2%となっている。次いで、「⑥その他 (23.9%)」、「④家事専業 (17.5%)」となっている。

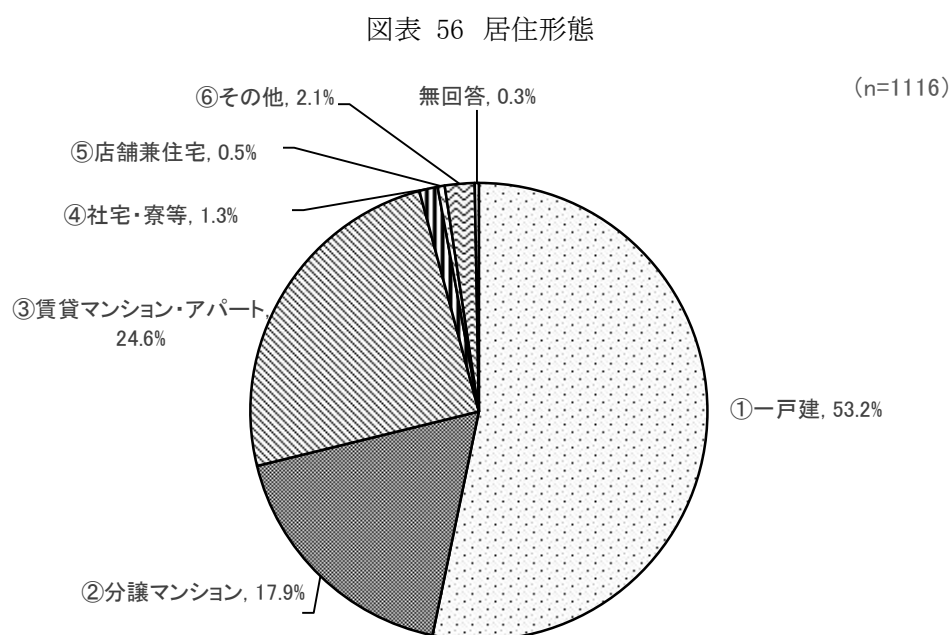
図表 55 職業

(n=1116)



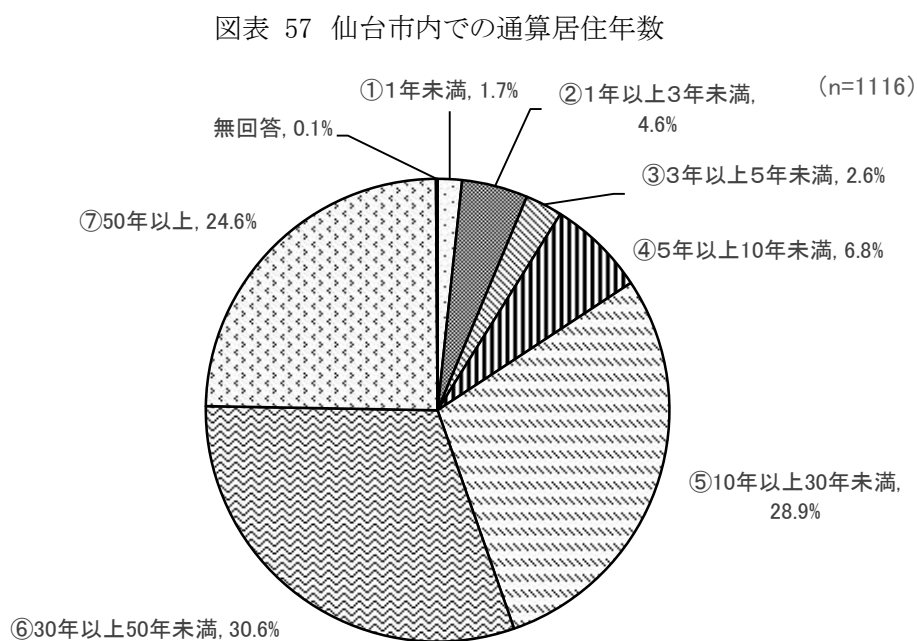
2.1.7 居住形態

「①一戸建」の割合が最も高く 53.2%となっている。次いで、「③賃貸マンション・アパート (24.6%)」、「②分譲マンション (17.9%)」となっている。



2.1.8 仙台市内での通算居住年数

「⑥30年以上50年未満」の割合が最も高く 30.6%となっている。次いで、「⑤10年以上30年未満 (28.9%)」、「⑦50年以上 (24.6%)」となっている。

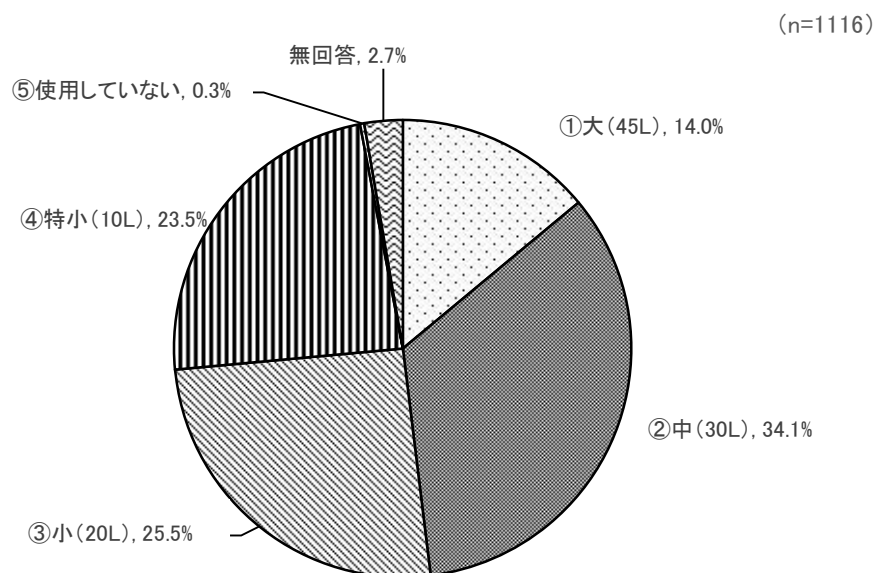


2.2 ごみと資源物の出し方などについて

2.2.1 家庭ごみ（緑の指定袋）を出すときの袋の大きさ

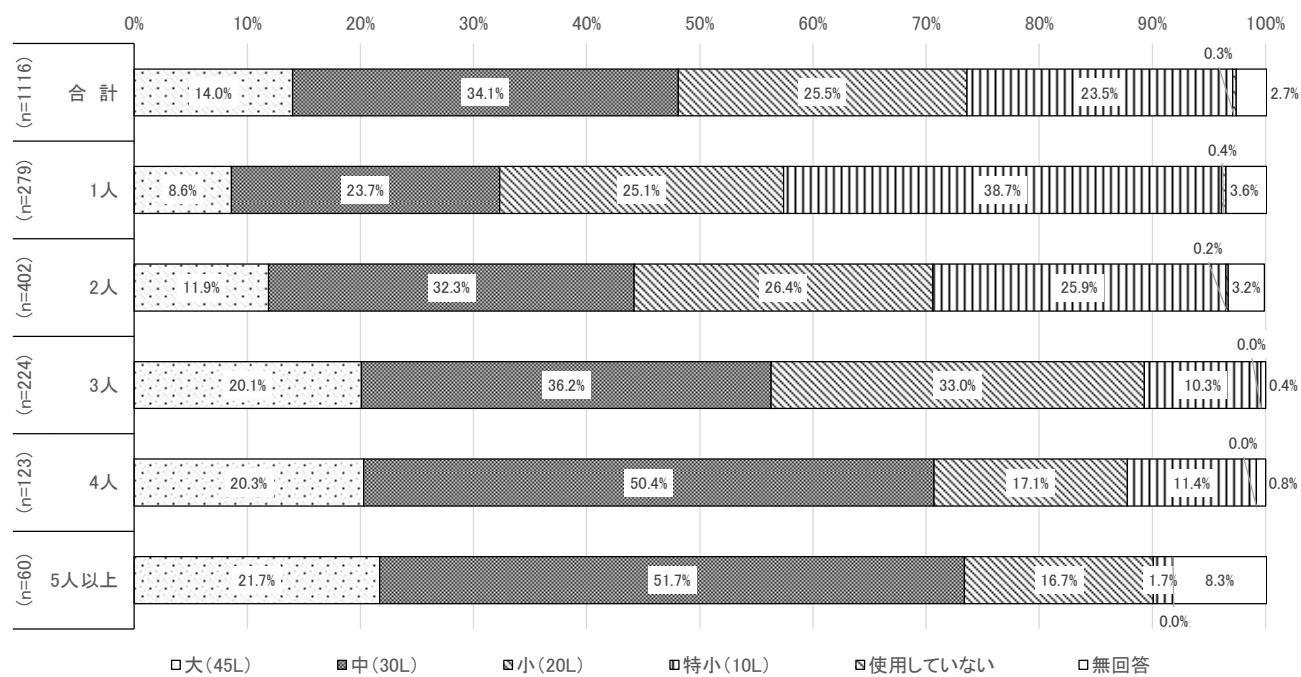
「②中（30L）」の割合が最も高く 34.1%となっている。次いで、「③小（20L）（25.5%）」、「④特小（10L）（23.5%）」となっている。

図表 58 家庭ごみ（緑の指定袋）を出すときの袋の大きさ



同居人数別に見ると、「大（45L）」の割合は「1人」では8.6%と最も低く、同居人数が多いほどその割合が高い傾向にある。「中（30L）」も同様の傾向を示している。「特小（10L）」の使用は、「1人」では38.7%と最も高く、同居人数が多いほどその割合が低い傾向にある。

図表 59 家庭ごみ(緑の指定袋)を出すときの袋の大きさ(同居人数別)

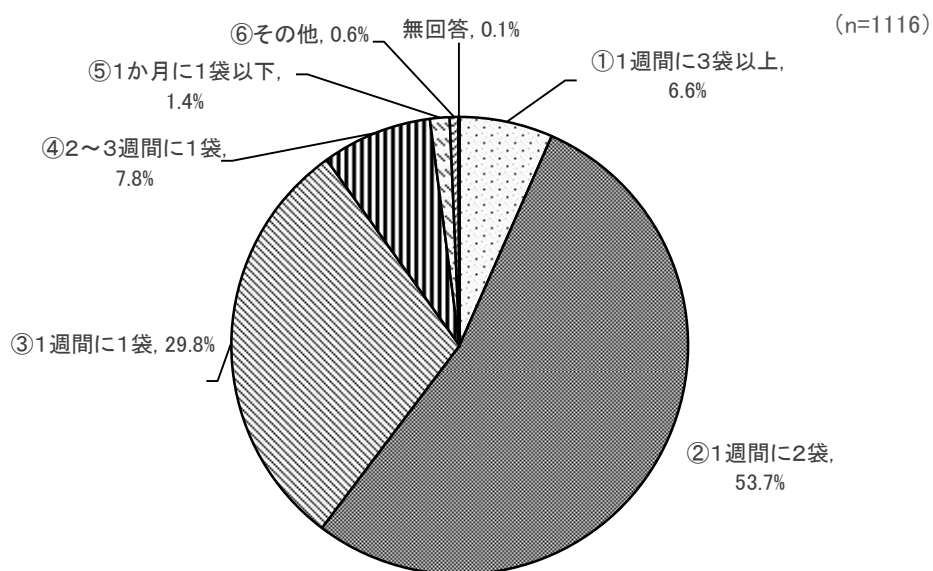


	合 計	大(45L)	中(30L)	小(20L)	特小(10L)	使用していない	無回答
合 計	1116	156	380	285	262	3	30
	100.0%	14.0%	34.1%	25.5%	23.5%	0.3%	2.7%
1人	279	24	66	70	108	1	10
	100.0%	8.6%	23.7%	25.1%	38.7%	0.4%	3.6%
2人	402	48	130	106	104	1	13
	100.0%	11.9%	32.3%	26.4%	25.9%	0.2%	3.2%
3人	224	45	81	74	23	0	1
	100.0%	20.1%	36.2%	33.0%	10.3%	0.0%	0.4%
4人	123	25	62	21	14	0	1
	100.0%	20.3%	50.4%	17.1%	11.4%	0.0%	0.8%
5人以上	60	13	31	10	1	0	5
	100.0%	21.7%	51.7%	16.7%	1.7%	0.0%	8.3%

2.2.2 家庭ごみ（緑の指定袋）の排出量

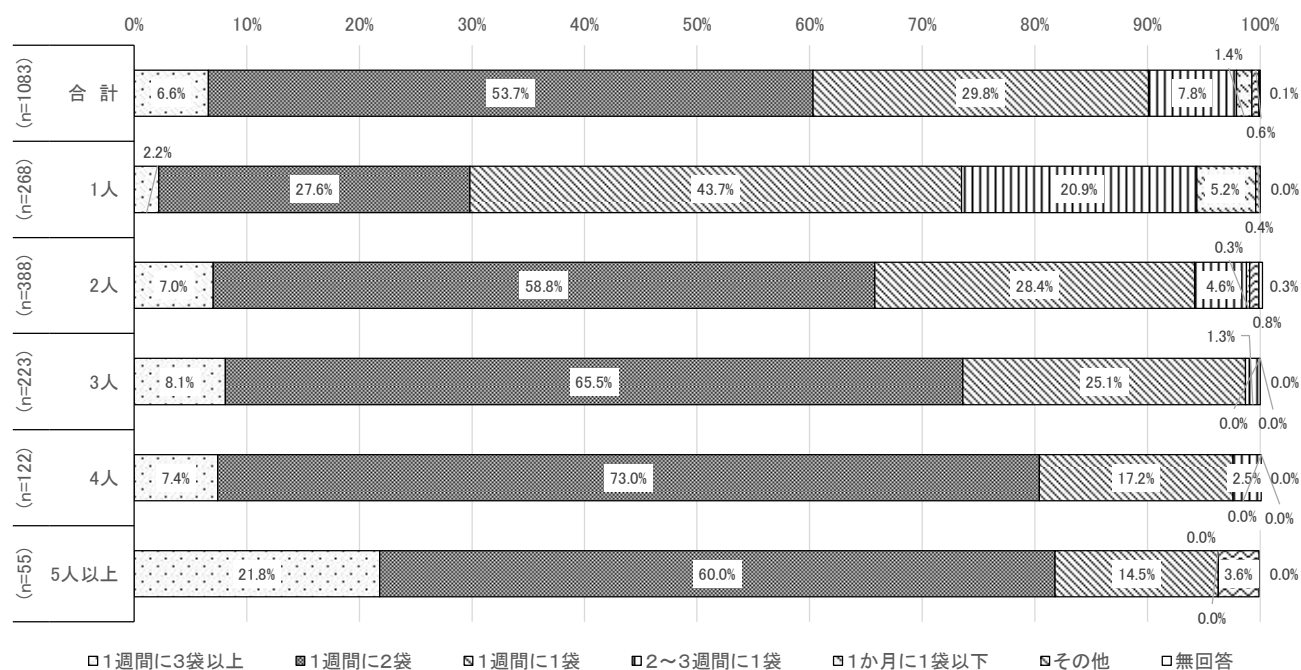
「② 1週間に2袋」の割合が最も高く 53.7%となっている。次いで、「③ 1週間に1袋(29.8%)」、「④ 2～3週間に1袋 (7.8%)」となっている。

図表 60 家庭ごみ（緑の指定袋）の排出量



同居人数別に見ると、「1週間に1袋」の割合は「1人」では43.7%と最も高く、同居人数が多いほどその割合が低い傾向にある。一方で、「1週間に2袋」は「1人」では27.6%となっているが、2人以上の割合では過半数を占めている。

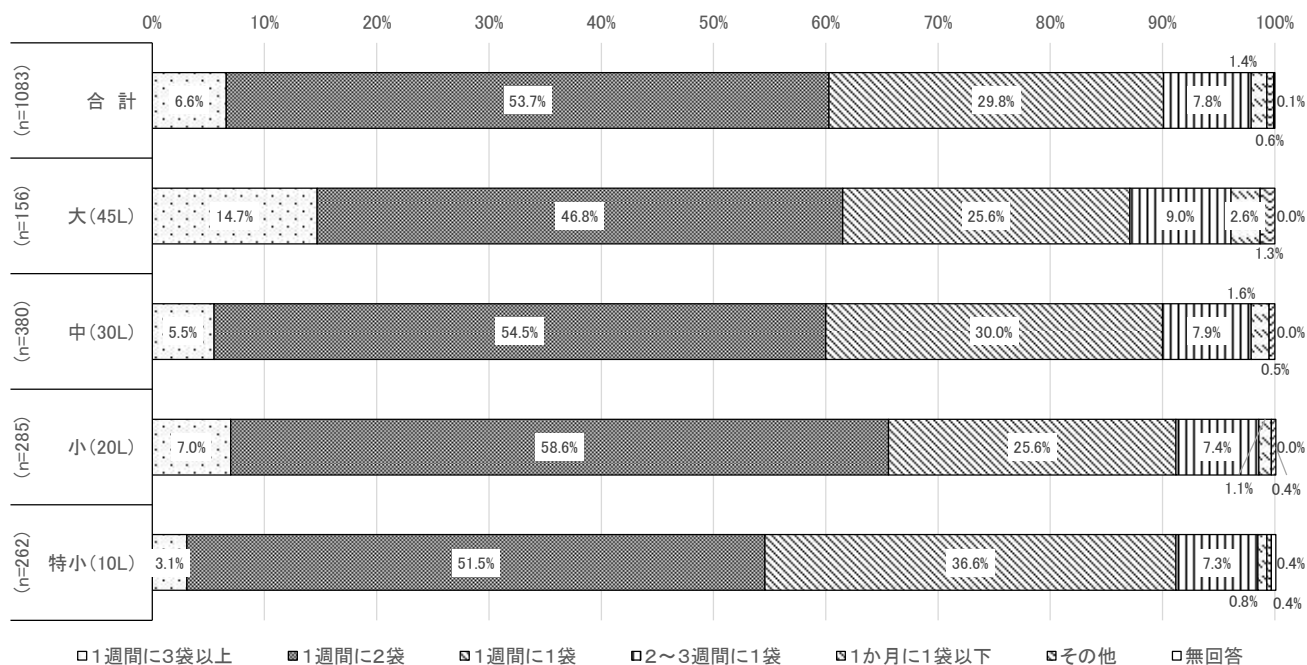
図表 61 家庭ごみ(緑の指定袋)の排出量(同居人数別)



	合 計	1週間に 3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に 1袋	1か月に 1袋以下	その他	無回答
合 計	1083	72	582	323	84	15	6	1
	100.0%	6.6%	53.7%	29.8%	7.8%	1.4%	0.6%	0.1%
1人	268	6	74	117	56	14	1	0
	100.0%	2.2%	27.6%	43.7%	20.9%	5.2%	0.4%	0.0%
2人	388	27	228	110	18	1	3	1
	100.0%	7.0%	58.8%	28.4%	4.6%	0.3%	0.8%	0.3%
3人	223	18	146	56	3	0	0	0
	100.0%	8.1%	65.5%	25.1%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4人	122	9	89	21	3	0	0	0
	100.0%	7.4%	73.0%	17.2%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
5人以上	55	12	33	8	0	0	2	0
	100.0%	21.8%	60.0%	14.5%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%

家庭ごみ袋（緑の指定袋）のサイズ別に見ると、「1週間に3袋以上」は「大（45L）」で14.7%と最も高い。

図表 62 家庭ごみ（緑の指定袋）の排出量（袋の大きさ別）

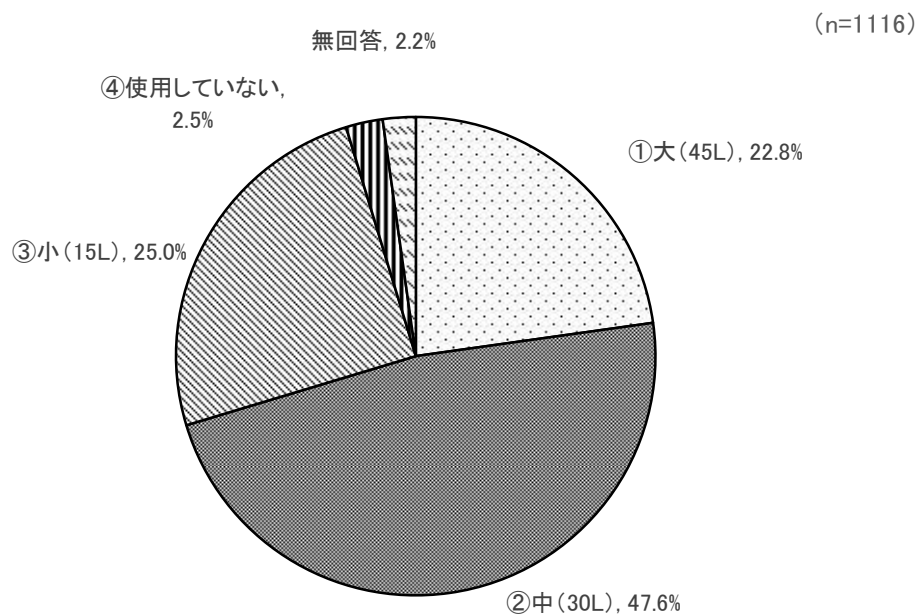


	合 計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に1袋	1か月に1袋以下	その他	無回答
合 計	1083	72	582	323	84	15	6	1
	100.0%	6.6%	53.7%	29.8%	7.8%	1.4%	0.6%	0.1%
大(45L)	156	23	73	40	14	4	2	0
	100.0%	14.7%	46.8%	25.6%	9.0%	2.6%	1.3%	0.0%
中(30L)	380	21	207	114	30	6	2	0
	100.0%	5.5%	54.5%	30.0%	7.9%	1.6%	0.5%	0.0%
小(20L)	285	20	167	73	21	3	1	0
	100.0%	7.0%	58.6%	25.6%	7.4%	1.1%	0.4%	0.0%
特小(10L)	262	8	135	96	19	2	1	1
	100.0%	3.1%	51.5%	36.6%	7.3%	0.8%	0.4%	0.4%

2.2.3 プラスチック資源（赤の指定袋）を出すときの袋の大きさ

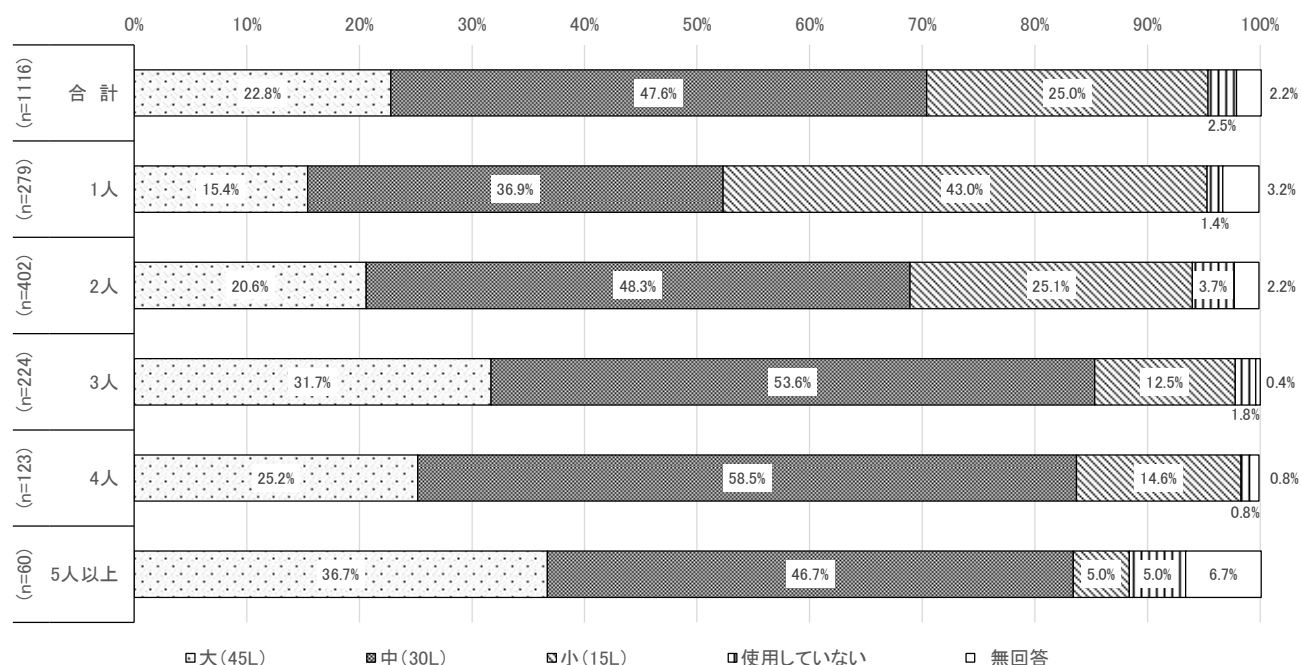
「②中（30L）」の割合が最も高く 47.6%となっている。次いで、「③小（15L）（25.0%）」、「①大（45L）（22.8%）」となっている。

図表 63 プラスチック資源(赤の指定袋)を出すときの袋の大きさ



同居人数別に見ると、「大（45L）」の割合は「1人」では15.4%と最も低く、同居人数が多いほどその割合が高い傾向にある。「小（15L）」の割合は、「1人」では43.0%と最も高く、同居人数が多いほどその割合が低い傾向にある。

図表 64 プラスチック資源(赤の指定袋)を出すときの袋の大きさ(同居人数別)

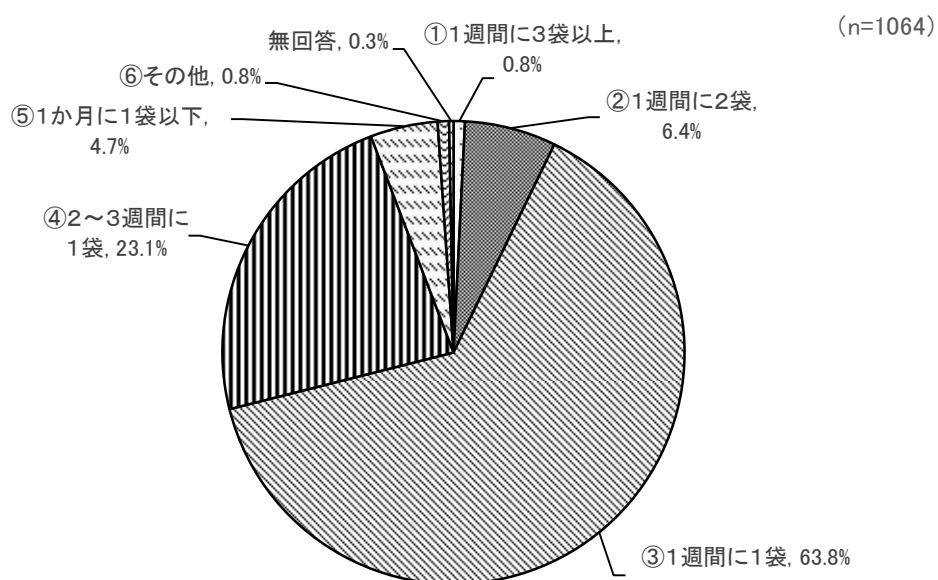


	合 計	大(45L)	中(30L)	小(15L)	使用していない	無回答
合 計	1116	254	531	279	28	24
	100.0%	22.8%	47.6%	25.0%	2.5%	2.2%
1人	279	43	103	120	4	9
	100.0%	15.4%	36.9%	43.0%	1.4%	3.2%
2人	402	83	194	101	15	9
	100.0%	20.6%	48.3%	25.1%	3.7%	2.2%
3人	224	71	120	28	4	1
	100.0%	31.7%	53.6%	12.5%	1.8%	0.4%
4人	123	31	72	18	1	1
	100.0%	25.2%	58.5%	14.6%	0.8%	0.8%
5人以上	60	22	28	3	3	4
	100.0%	36.7%	46.7%	5.0%	5.0%	6.7%

2.2.4 プラスチック資源（赤の指定袋）の排出量

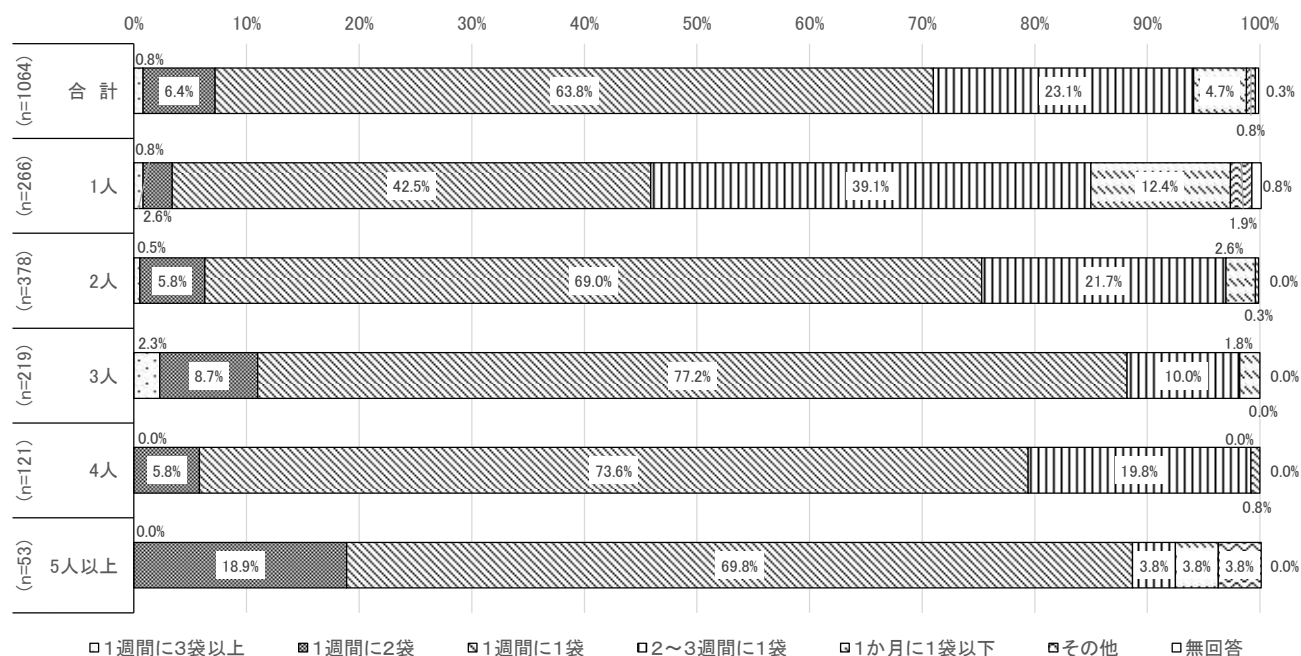
「③ 1週間に1袋」の割合が最も高く 63.8%となっている。次いで、「④ 2～3週間に1袋 (23.1%)」、「② 1週間に2袋 (6.4%)」となっている。

図表 65 プラスチック資源(赤の指定袋)の排出量



同居人数別に見ると、「1週間に2袋」は「5人以上」では18.9%と最も高く、同居人数が多いほどその割合は高い傾向にある。「1週間に1袋」は2人以上では約7割を占めている。

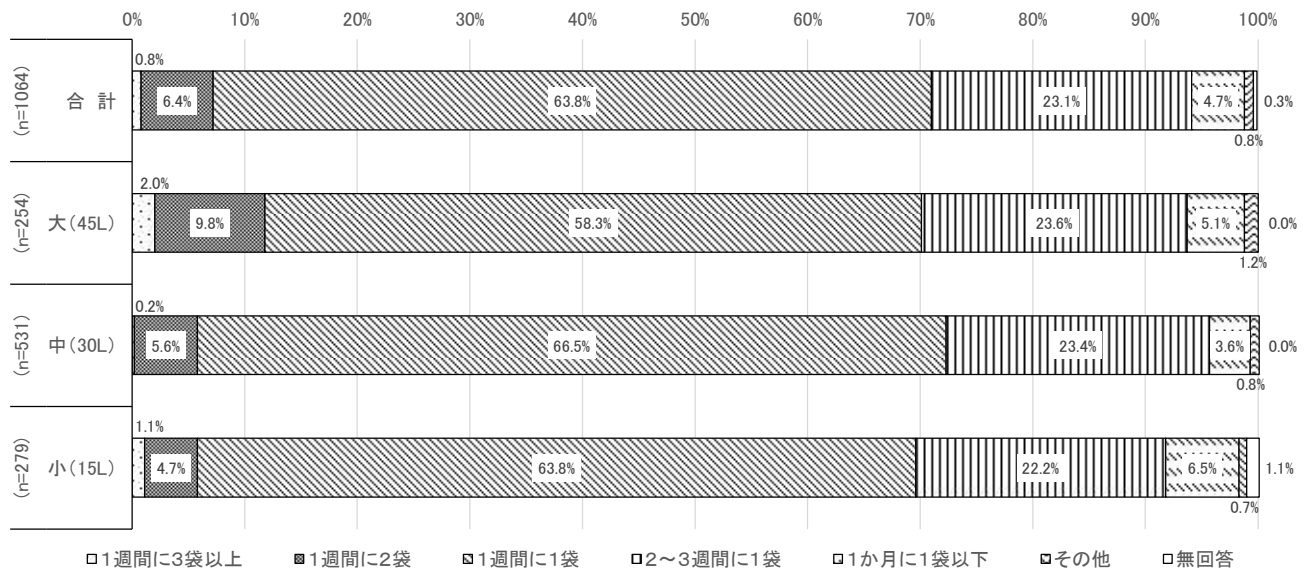
図表 66 プラスチック資源(赤の指定袋)の排出量(同居人数別)



	合 計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に1袋	1か月に1袋以下	その他	無回答
合 計	1064	9	68	679	246	50	9	3
	100.0%	0.8%	6.4%	63.8%	23.1%	4.7%	0.8%	0.3%
1人	266	2	7	113	104	33	5	2
	100.0%	0.8%	2.6%	42.5%	39.1%	12.4%	1.9%	0.8%
2人	378	2	22	261	82	10	1	0
	100.0%	0.5%	5.8%	69.0%	21.7%	2.6%	0.3%	0.0%
3人	219	5	19	169	22	4	0	0
	100.0%	2.3%	8.7%	77.2%	10.0%	1.8%	0.0%	0.0%
4人	121	0	7	89	24	0	1	0
	100.0%	0.0%	5.8%	73.6%	19.8%	0.0%	0.8%	0.0%
5人以上	53	0	10	37	2	2	2	0
	100.0%	0.0%	18.9%	69.8%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%

プラスチック資源（赤の指定袋）のサイズ別に見ると、「1週間に2袋」は「大（45L）」では9.8%と最も高く、サイズが大きいほどその割合は高い傾向にある。

図表 67 プラスチック資源（赤の指定袋）の排出量（袋の大きさ別）

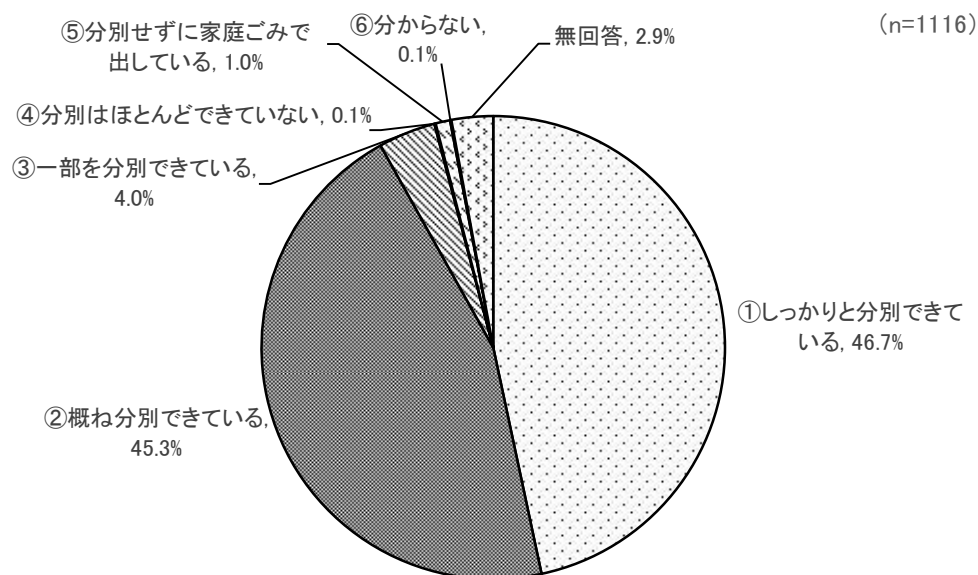


	合 計	1週間に 3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に 1袋	1か月に 1袋以下	その他	無回答
合 計	1064	9	68	679	246	50	9	3
	100.0%	0.8%	6.4%	63.8%	23.1%	4.7%	0.8%	0.3%
大(45L)	254	5	25	148	60	13	3	0
	100.0%	2.0%	9.8%	58.3%	23.6%	5.1%	1.2%	0.0%
中(30L)	531	1	30	353	124	19	4	0
	100.0%	0.2%	5.6%	66.5%	23.4%	3.6%	0.8%	0.0%
小(15L)	279	3	13	178	62	18	2	3
	100.0%	1.1%	4.7%	63.8%	22.2%	6.5%	0.7%	1.1%

2.2.5 プラスチック資源（赤の指定袋）を出すときの分別状況

「①しっかりと分別できている」の割合が最も高く 46.7%となっている。次いで、「②概ね分別できている（45.3%）」、「③一部を分別できている（4.0%）」となっている。

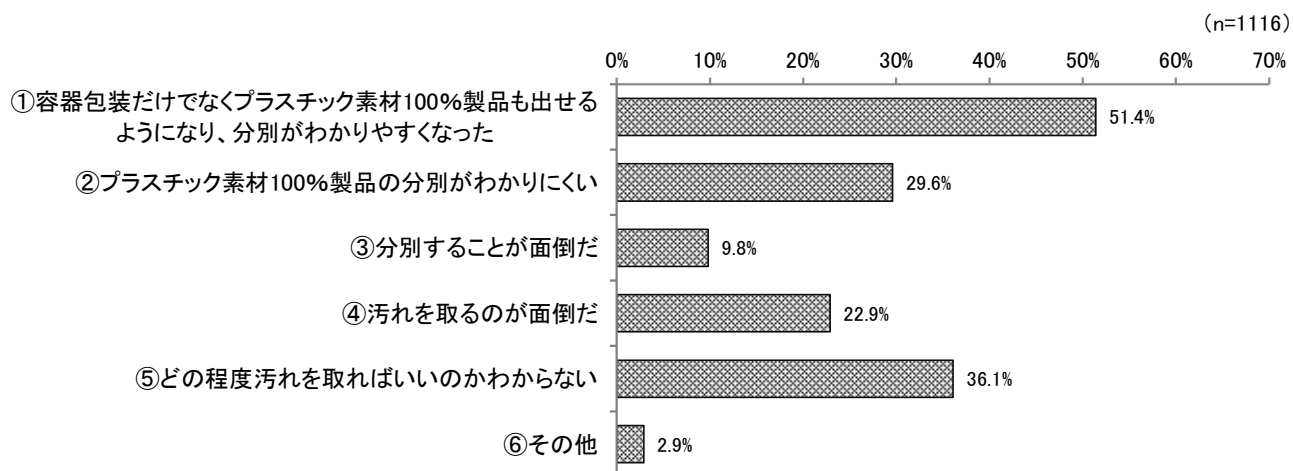
図表 68 プラスチック資源（赤の指定袋）を出すときの分別状況



2.2.6 プラスチック資源を出すときに感じていること

「①容器包装だけでなくプラスチック素材 100%製品も出せるようになり、分別がわかりやすくなった」の割合が最も高く 51.4%となっている。次いで、「⑤どの程度汚れを取ればいいのか分からない（36.1%）」、「②プラスチック素材 100%製品の分別がわかりにくい（29.6%）」となっている。

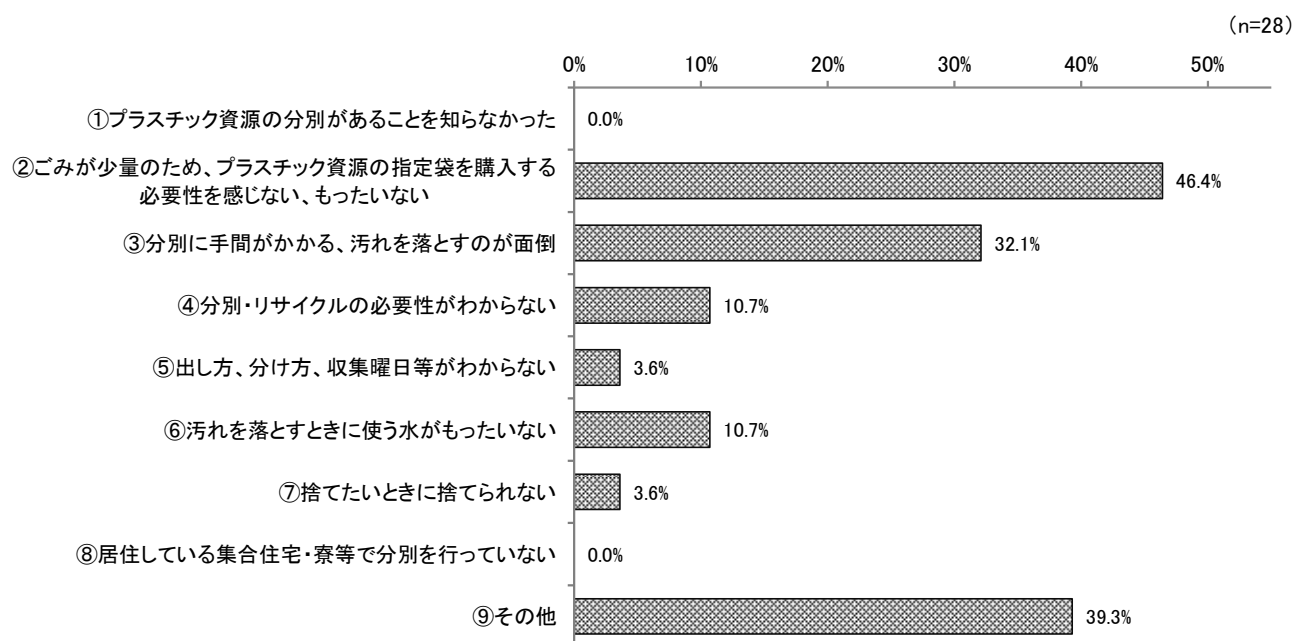
図表 69 プラスチック資源を出すときに感じていること ※該当するものすべてを回答



2.2.7 プラスチック資源の指定袋を使用していない理由

「②ごみが少量のため、プラスチック資源の指定袋を購入する必要性を感じない、もったいない」の割合が最も高く 46.4%となっている。次いで、「⑨その他 (39.3%)」、「③分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒 (32.1%)」となっている。

図表 70 プラスチック資源の指定袋を使用していない理由 ※該当するものすべてを回答

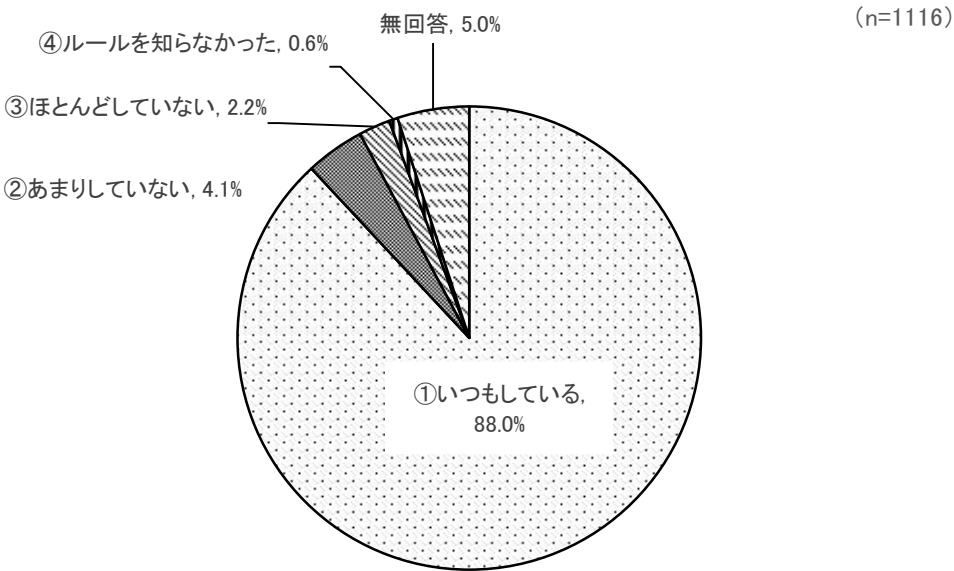


2.2.8 びん・ペットボトルを出すときのルール

(1) びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況

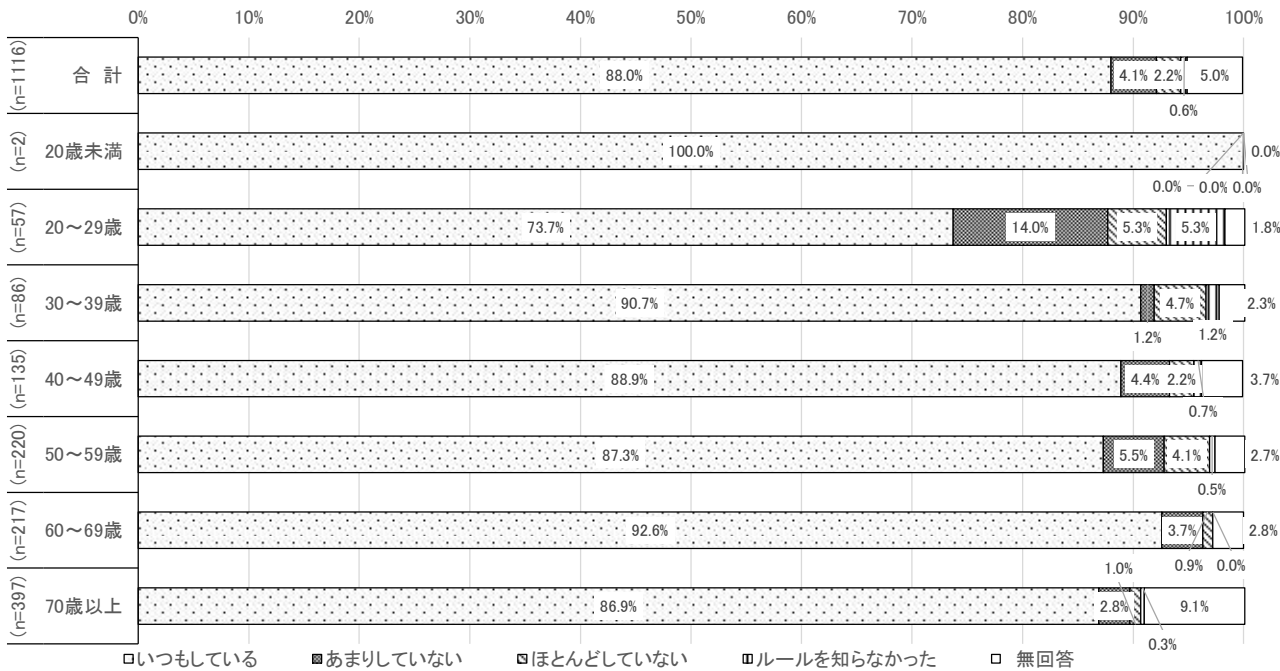
「①いつもしている」の割合が最も高く 88.0%となっている。次いで、無回答を除き、「②あまりしていない (4.1%)」、「③ほとんどしていない (2.2%)」となっている。

図表 71 びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況



年齢別に見ると、「20～29 歳」の「いつもしている」の割合が 73.7%と最も低く、30 歳以上は「いつもしている」の割合が 9 割前後を占めている。

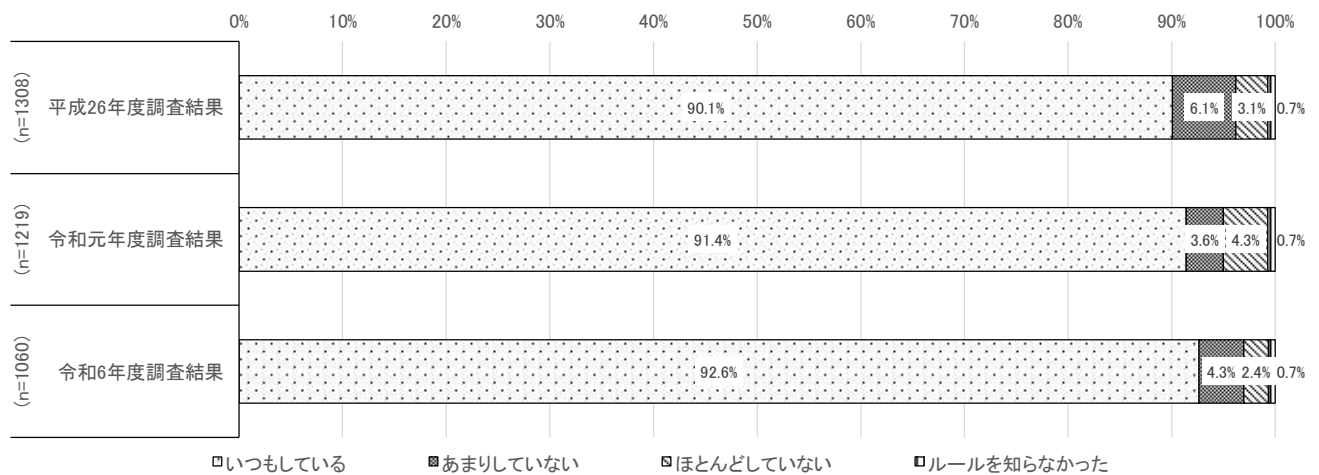
図表 72 びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況 (年齢別)



	合 計	いつもしている	あまりしていない	ほとんどしていない	ルールを知らなかった	無回答
合 計	1116 100.0%	982 88.0%	46 4.1%	25 2.2%	7 0.6%	56 5.0%
20歳未満	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	57 100.0%	42 73.7%	8 14.0%	3 5.3%	3 5.3%	1 1.8%
30～39歳	86 100.0%	78 90.7%	1 1.2%	4 4.7%	1 1.2%	2 2.3%
40～49歳	135 100.0%	120 88.9%	6 4.4%	3 2.2%	1 0.7%	5 3.7%
50～59歳	220 100.0%	192 87.3%	12 5.5%	9 4.1%	1 0.5%	6 2.7%
60～69歳	217 100.0%	201 92.6%	8 3.7%	2 0.9%	0 0.0%	6 2.8%
70歳以上	397 100.0%	345 86.9%	11 2.8%	4 1.0%	1 0.3%	36 9.1%

平成26年度調査及び令和元年度、令和6年度調査結果ともに「いつもしている」が90%を超えており、びん・ペットボトルのフタを外すことは高い認知度を維持し続けている。

図表 73 平成26年度及び令和元年度調査結果との比較

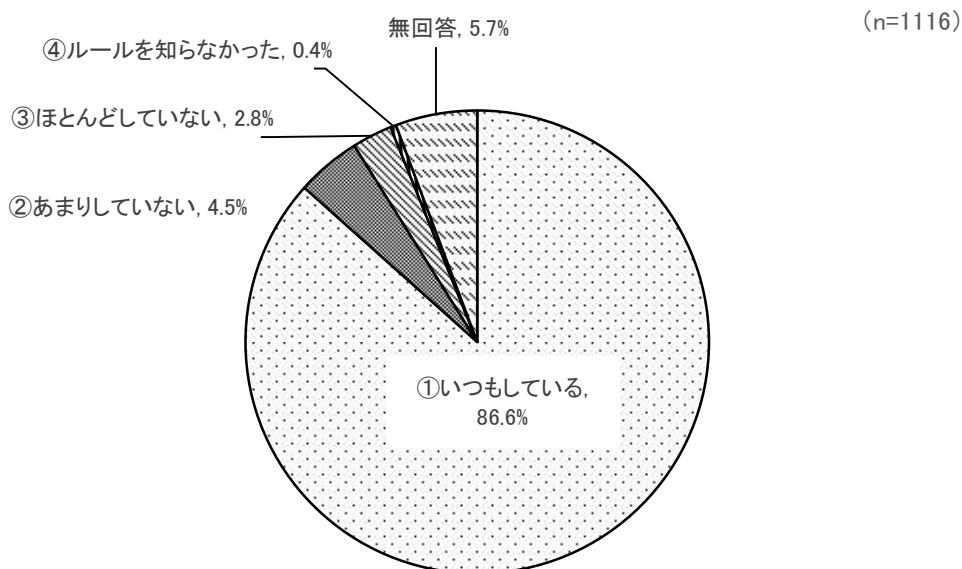


※無回答を除いて集計

(2) ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況

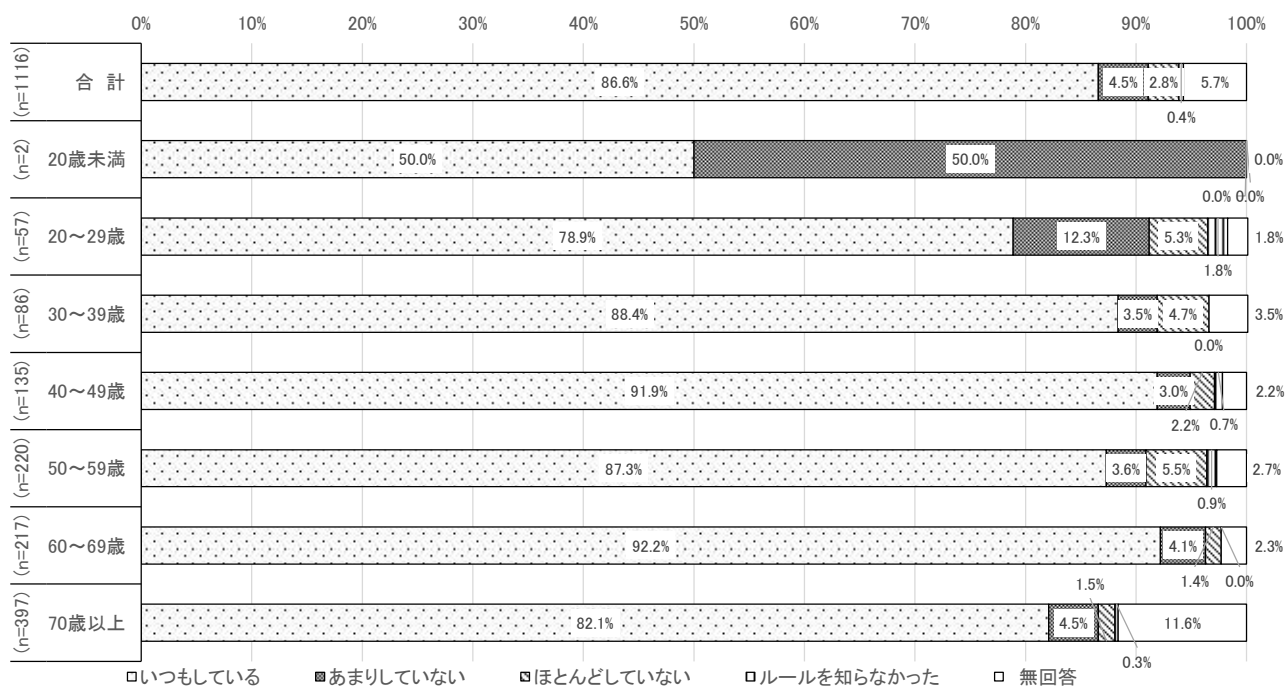
「①いつもしている」の割合が最も高く 86.6%となっている。次いで、無回答を除き「②あまりしていない (4.5%)」、「③ほとんどしていない (2.8%)」となっている。

図表 74 ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況



年齢別に見ると、「40～49 歳」の「いつもしている」の割合が 91.9%と最も高く、30 歳未満及び 70 歳以上になると「いつもしている」の割合が低い傾向にある。

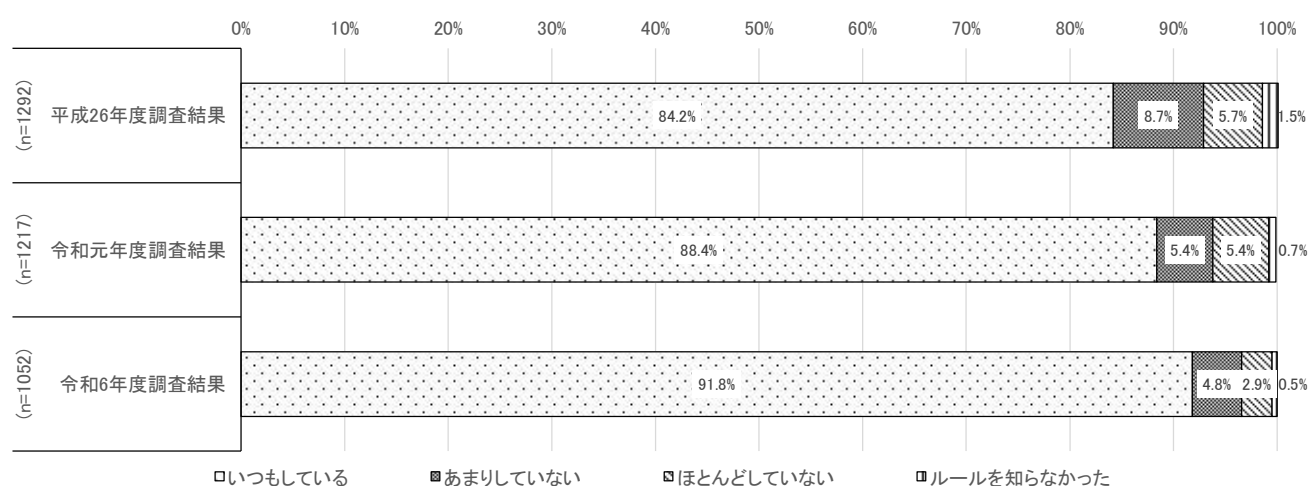
図表 75 ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況(年齢別)



	合 計	いつもしている	あまり していない	ほとんど していない	ルールを 知らなかった	無回答
合 計	1116 100.0%	966 86.6%	50 4.5%	31 2.8%	5 0.4%	64 5.7%
20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	57 100.0%	45 78.9%	7 12.3%	3 5.3%	1 1.8%	1 1.8%
30～39歳	86 100.0%	76 88.4%	3 3.5%	4 4.7%	0 0.0%	3 3.5%
40～49歳	135 100.0%	124 91.9%	4 3.0%	3 2.2%	1 0.7%	3 2.2%
50～59歳	220 100.0%	192 87.3%	8 3.6%	12 5.5%	2 0.9%	6 2.7%
60～69歳	217 100.0%	200 92.2%	9 4.1%	3 1.4%	0 0.0%	5 2.3%
70歳以上	397 100.0%	326 82.1%	18 4.5%	6 1.5%	1 0.3%	46 11.6%

「いつもしている」の割合が、平成 26 年度調査では 84.2%、令和元年度調査では 88.4%、令和 6 年度調査では 91.8%と年々高くなっていることから、ペットボトルのラベルを外すことの認知度が上がったことがうかがえる。

図表 76 平成 26 年度及び令和元年度調査結果との比較



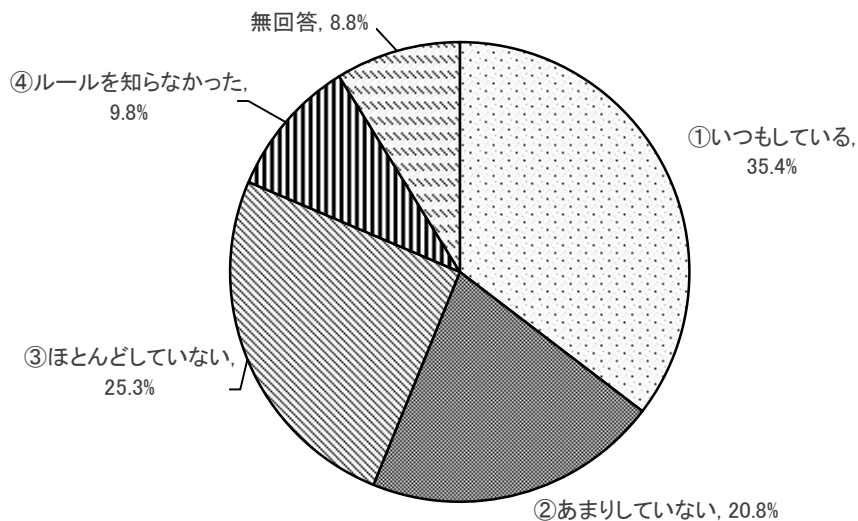
※無回答を除いて集計

(3) ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況

「①いつもしている」の割合が最も高く 35.4%となっている。次いで、「③ほとんどしていない (25.3%)」、「②あまりしていない (20.8%)」となっている。

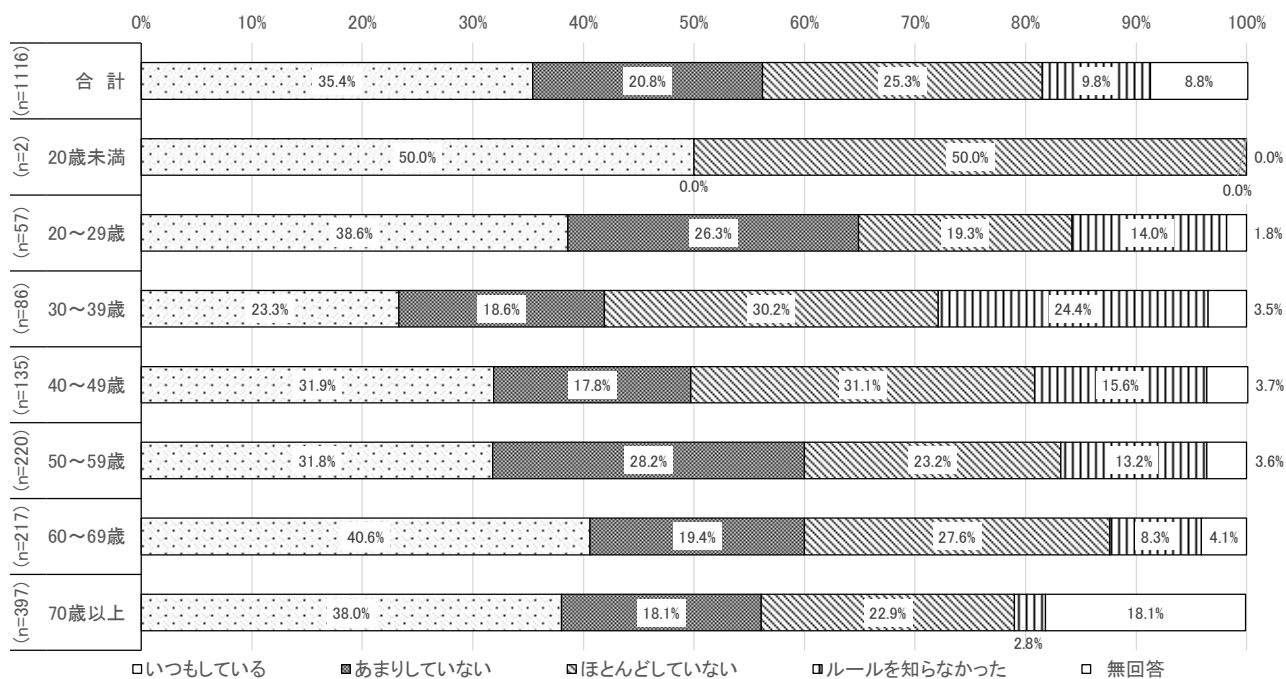
図表 77 ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況

(n=1116)



年齢別に見ると、30代以降については、年齢が高いほど「ルールを知らなかった」の割合が低い傾向にある。

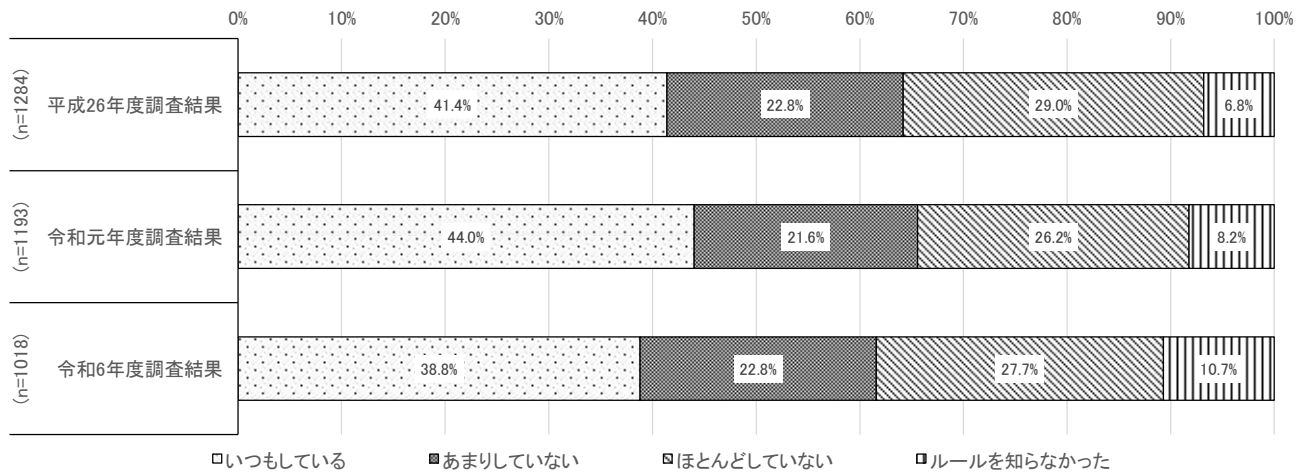
図表 78 ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況(年齢別)



	合 計	いつもしている	あまりしていない	ほとんどしていない	ルールを知らなかった	無回答
合 計	1116 100.0%	395 35.4%	232 20.8%	282 25.3%	109 9.8%	98 8.8%
20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
20～29歳	57 100.0%	22 38.6%	15 26.3%	11 19.3%	8 14.0%	1 1.8%
30～39歳	86 100.0%	20 23.3%	16 18.6%	26 30.2%	21 24.4%	3 3.5%
40～49歳	135 100.0%	43 31.9%	24 17.8%	42 31.1%	21 15.6%	5 3.7%
50～59歳	220 100.0%	70 31.8%	62 28.2%	51 23.2%	29 13.2%	8 3.6%
60～69歳	217 100.0%	88 40.6%	42 19.4%	60 27.6%	18 8.3%	9 4.1%
70歳以上	397 100.0%	151 38.0%	72 18.1%	91 22.9%	11 2.8%	72 18.1%

「ルールを知らなかった」の割合が、平成 26 年度調査では 6.8%、令和元年度調査では 8.2%、令和 6 年度調査では 10.7%と年々高くなっていることから、ペットボトルをつぶすことの認知度が低くなっていることがうかがえる。

図表 79 平成 26 年度及び令和元年度調査結果との比較



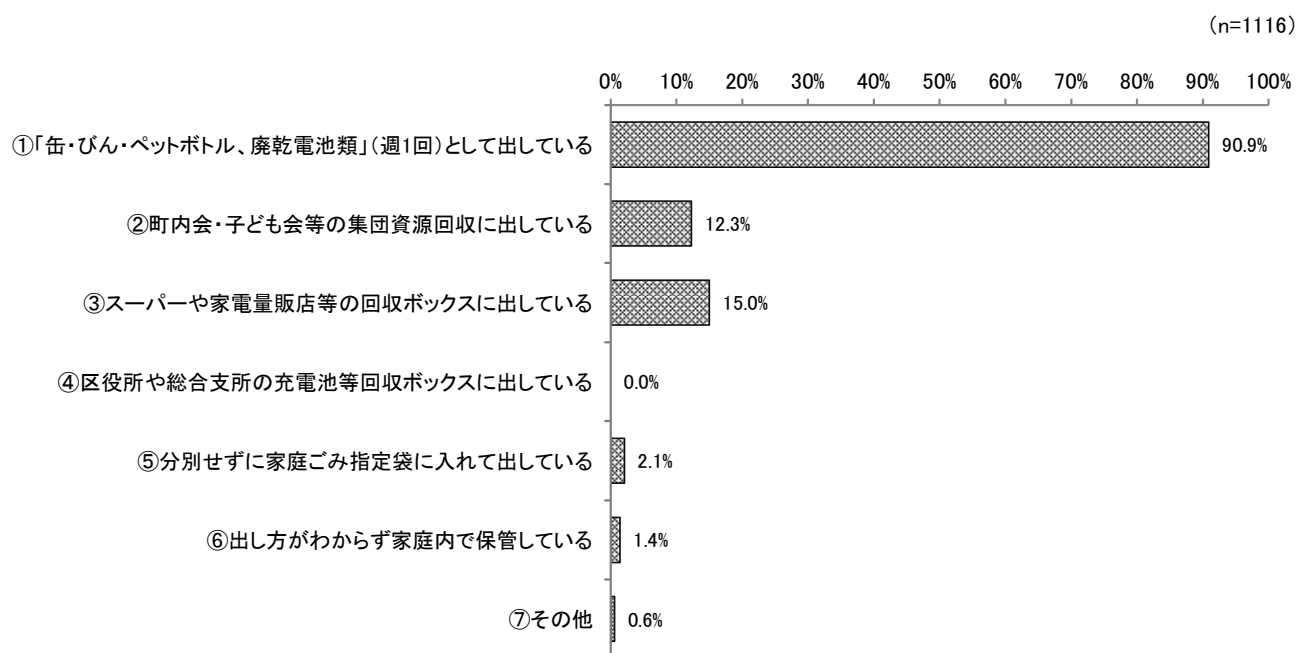
※無回答を除いて集計

2.2.9 缶・びん・ペットボトル、小型充電式電池の排出ルート

(1) 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート

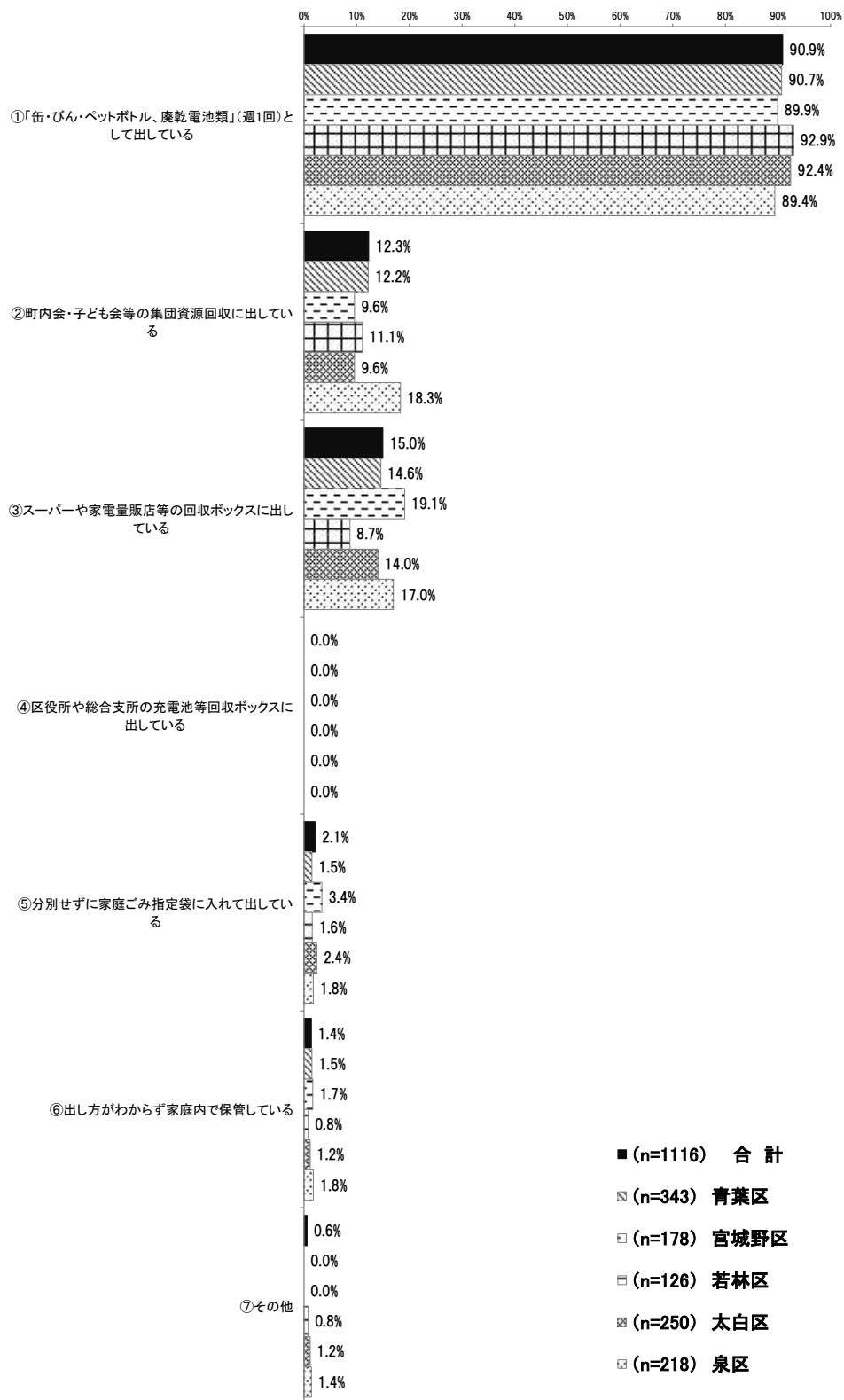
「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高く90.9%となっている。次いで、「③スーパーや家電量販店等の回収ボックスに出している(15.0%)」、「②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している(12.3%)」となっている。

図表 80 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート ※該当するものすべてを回答



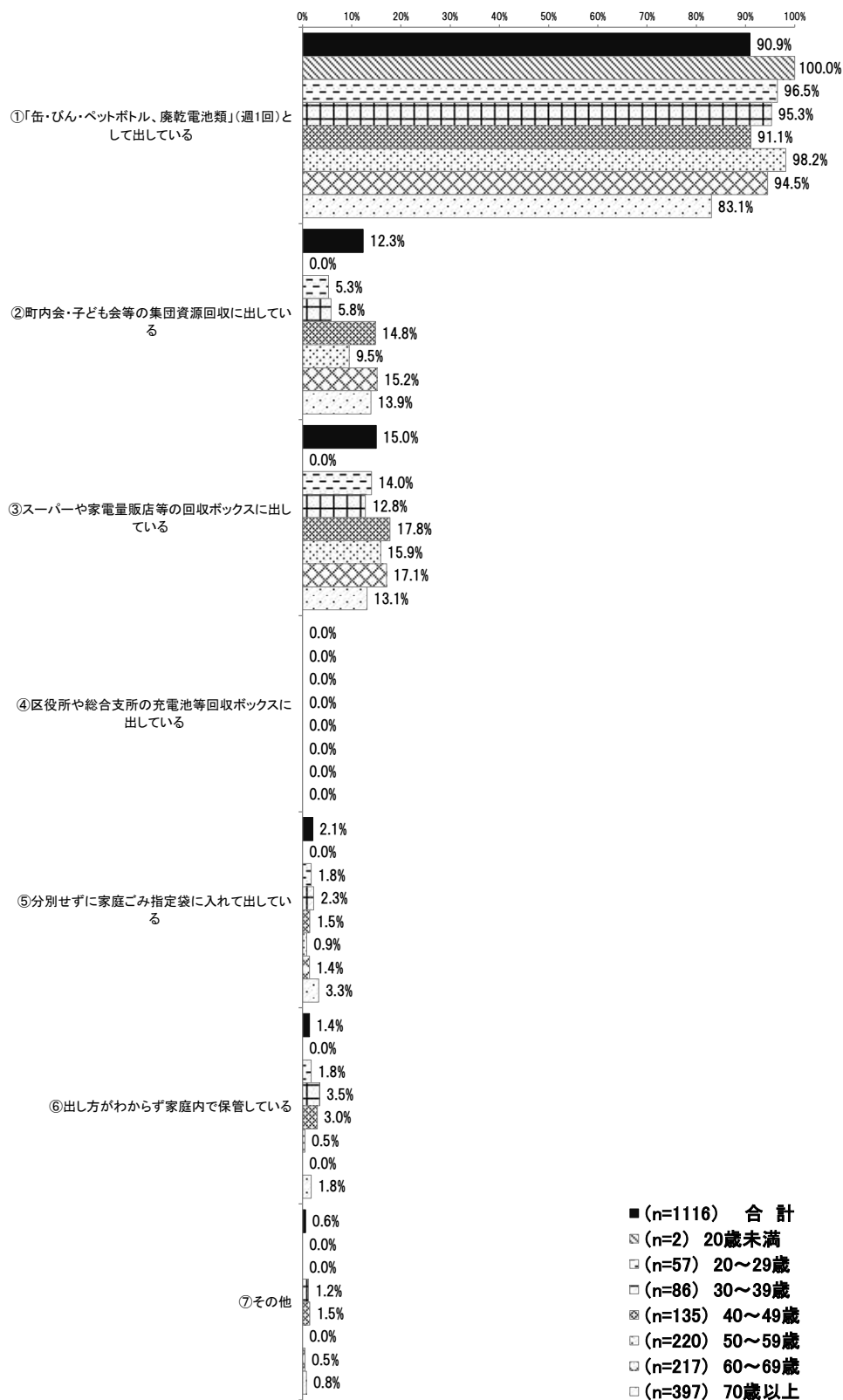
居住区別に見ると、いずれも「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高い。泉区は、他の居住区と比べると、「②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している」割合が高い。

図表 81 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート（居住区別）



年齢別に見ると、いずれも「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高い。

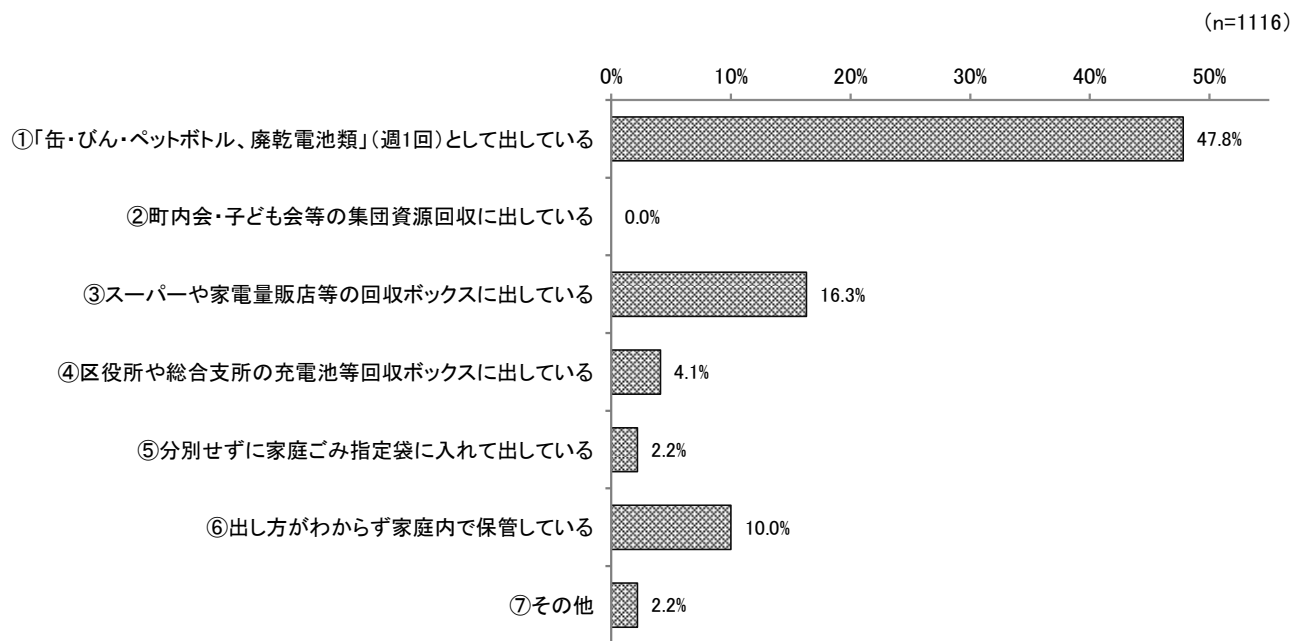
図表 82 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート(年齢別)



(2) 小型充電式電池の市の収集以外の排出ルート

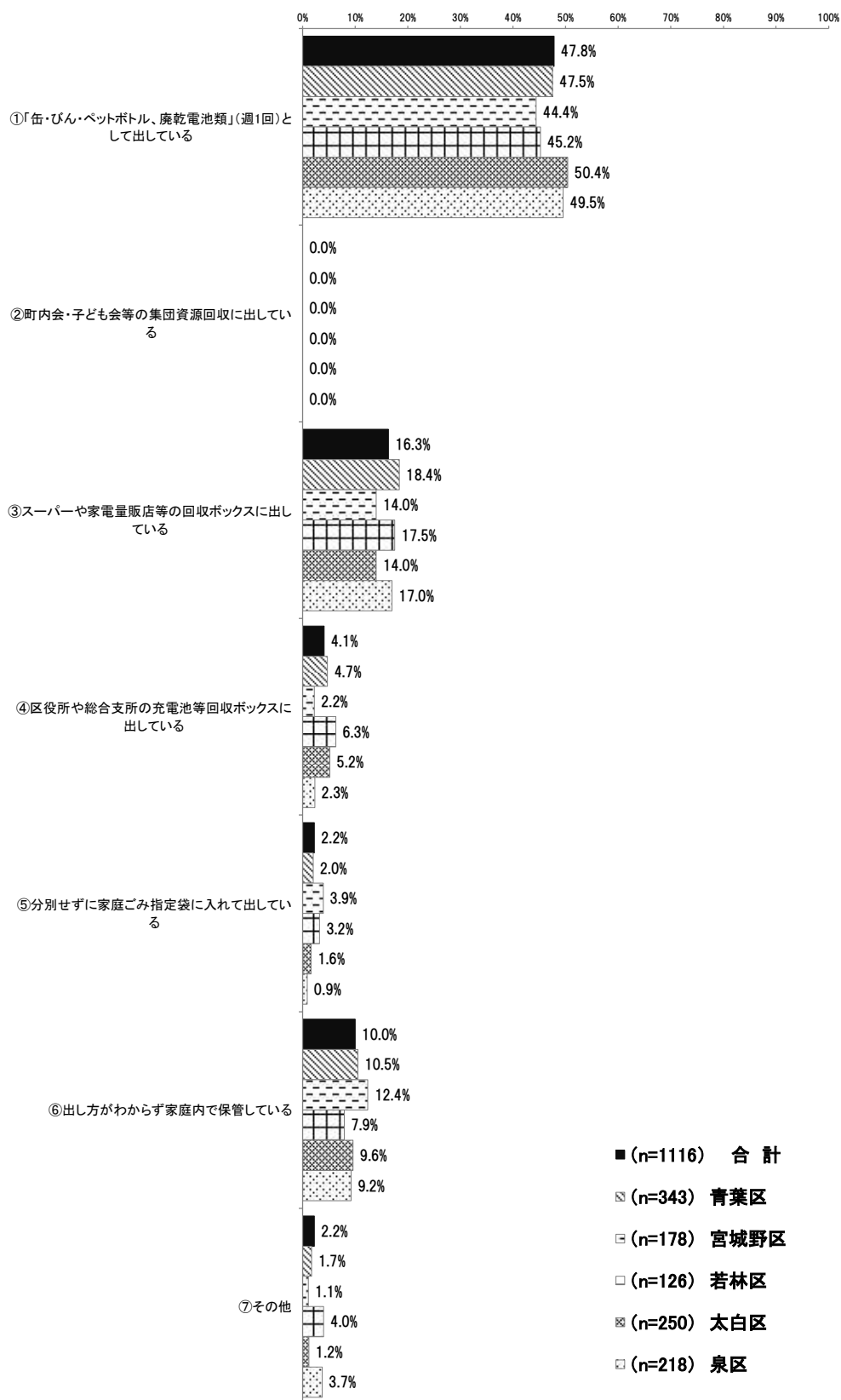
「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高く47.8%となっている。次いで、「③スーパーや家電量販店等の回収ボックスに出している(16.3%)」、「⑥出し方がわからず家庭内で保管している(10.0%)」となっている。

図表 83 小型充電式電池の排出ルート



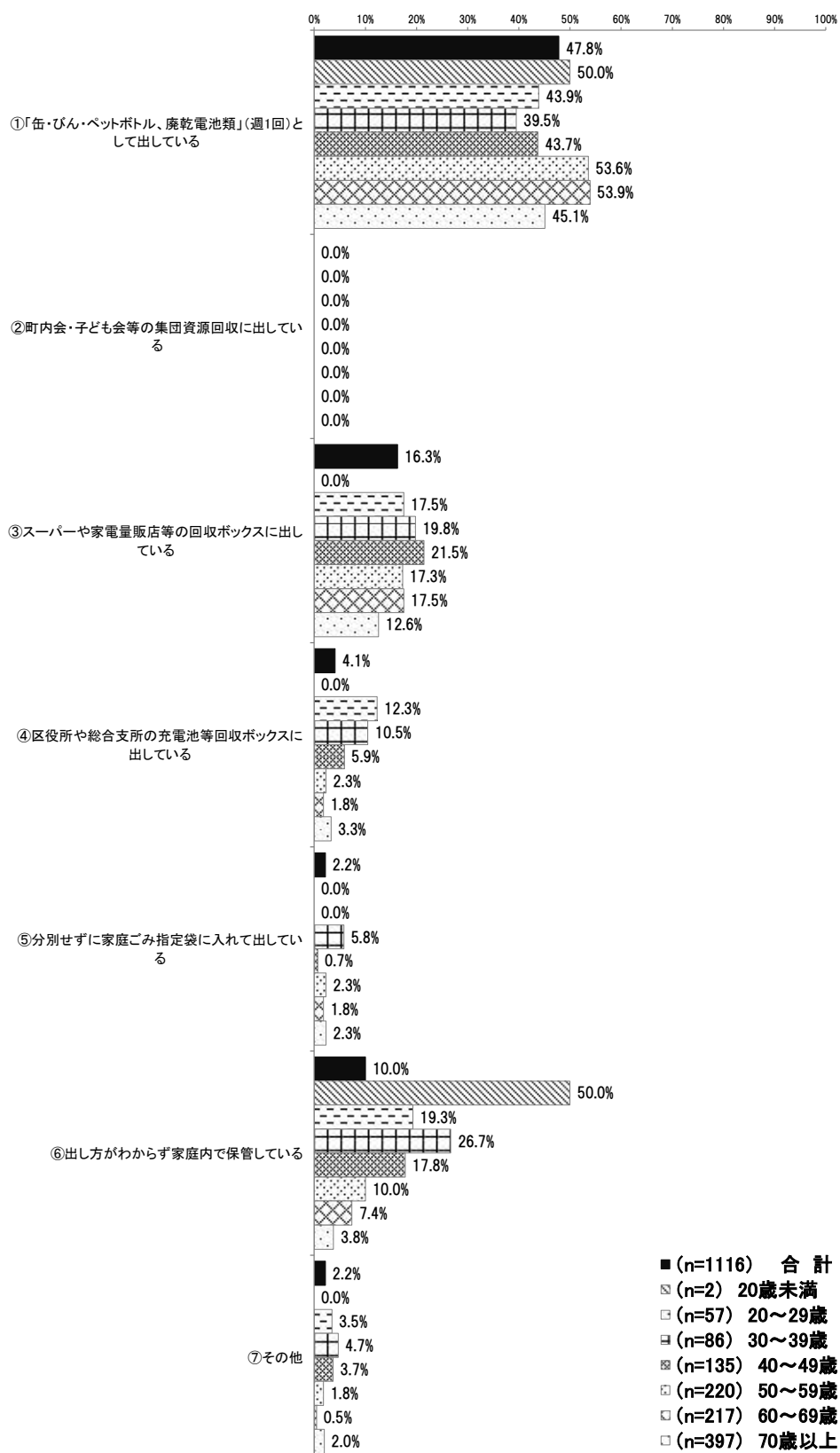
居住区別に見ると、いずれも「①「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」(週1回)として出している」の割合が最も高い。

図表 84 小型充電式電池の排出ルート(居住区別)



年齢別に見ると、「⑥出し方がわからず家庭内で保管している」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 85 小型充電式電池の排出ルート(年齢別)



2.2.10 収集・処理工程の安全確保のための排出行動

「知っている」の割合が高いごみの出し方は、「③食用油などの液体は、布に染み込ませるか市販の処理剤で固めてから、家庭ごみ指定袋に入れて出す（85.5%）」、「②割れたガラスや陶器、刃物などは、厚手の紙などに包んでから、家庭ごみ指定袋に入れて出す。また、指定袋には「危険」とペンで書く（84.8%）」となっている。

「知らない」の割合が高いごみの出し方は、「⑥在宅医療で使用した点滴パック、チューブなど、感染の恐れがある在宅医療廃棄物は、プラスチック製であっても家庭ごみ指定袋に入れて出す（64.6%）」、「①ライターは使い切ってから、水にしっかり浸して、家庭ごみ指定袋に入れて出す（54.7%）」となっている。

図表 86 収集・処理工程の安全確保のための排出行動

